

## 第2回越前市総合計画審議会

日時：令和4年8月17日（水）  
15時30分～17時30分  
会場：越前市役所 3階  
大会議室

### 次 第

#### 〔開 会〕

1 市長あいさつ

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 越前市が抱える課題の集約と分析について . . . 資料①

- ・人口の構造
- ・まちの構造
- ・産業の構造
- ・人流の構造
- ・行財政の構造

(2) 基本構想におけるテーマについて . . . 資料②

- ・定住・移住・少子化対策
- ・高齢化・健康
- ・子ども・教育
- ・ブランド発信・観光誘客
- ・都市構造・都市インフラ・環境・防災・公共交通
- ・産業
- ・自治振興・市民活動

(3) 基本構想における将来像について . . . 資料③

①ウェルビーイングとの関連性について

②将来像の考え方について

4 その他

#### 〔閉 会〕

## 越前市が抱える課題の集約と分析について

本市では、概ね20年後の2040年の目指すべき将来像を描き、そこを見据えた市総合計画の改定を行います。

今改定では、地域ミーティングや、市民意識調査、ワークショップなどを通して、市民の皆さんが抱える課題をお聞きし、その課題解決のための施策を積み上げる「課題解決型」の市総合計画にしていきたいと考えています。

4月下旬から5月にかけて、満18歳以上の市民4,000人を対象に、「市民意識調査」を実施しました。この調査では、本市での居住の意向、現在の施策の満足度や重要度、本市の将来像、さらにウェルビーイングの観点から、自分らしく居られる居場所と自分の可能性を引き出し表現できる舞台の活用について、調査しました。

市内高校に通う高校生や子育て世代の方々と、「みんなで考えよう！越前市の未来」をテーマにワークショップを開催し、参加者の皆さんが考える本市の課題などについて話し合いました。冒頭、本市の人口減少と少子高齢化の動向や高速交通網の整備などについて提起し、ワークショップでは本市の強みと弱み、将来像について意見交換し、グループごとに発表していただきました。

また、5月から開催している地域ミーティングの参加者の皆さんや仁愛大学の学生からも、本市の課題や将来像などについてご意見をいただくとともに、アンケート調査を実施しました。

引き続き、各種団体の皆さんともミーティングを開催し、団体が抱える課題をお聞きし、市総合計画に施策として反映させてまいります。

併せて、現在の市総合計画のもと、これまでに取り組んできたまちづくりの課題を再度整理し、国や県で対応している課題なども取りまとめ、5つの区分に分けて本市が抱える課題を集約しました。

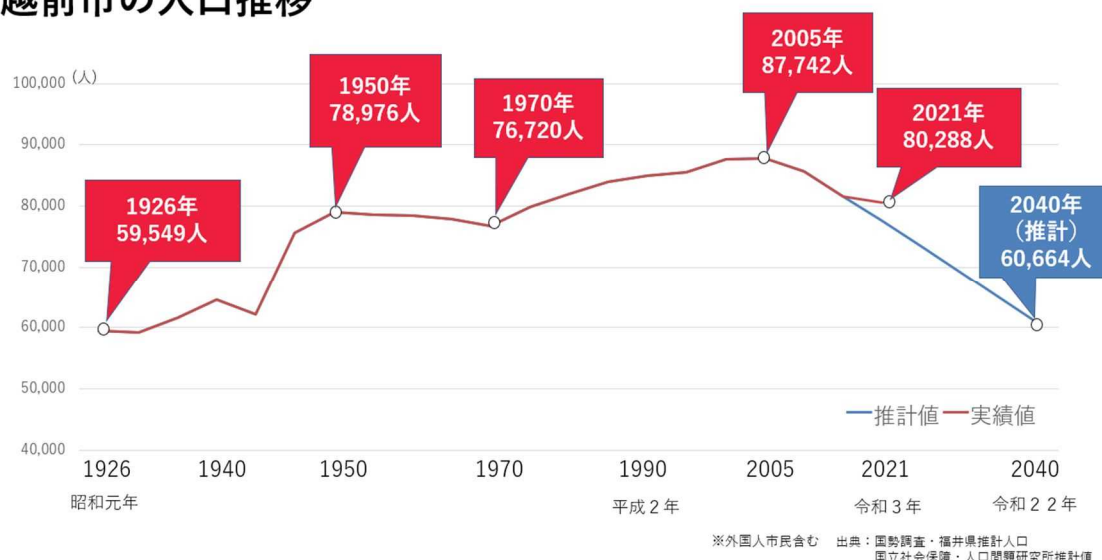


# 1 人口の構造

## (1) 人口の推移

- ・本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年（令和22年）には60,664人と予測されている。この人数は、1926年（昭和元年）に近い人口である。

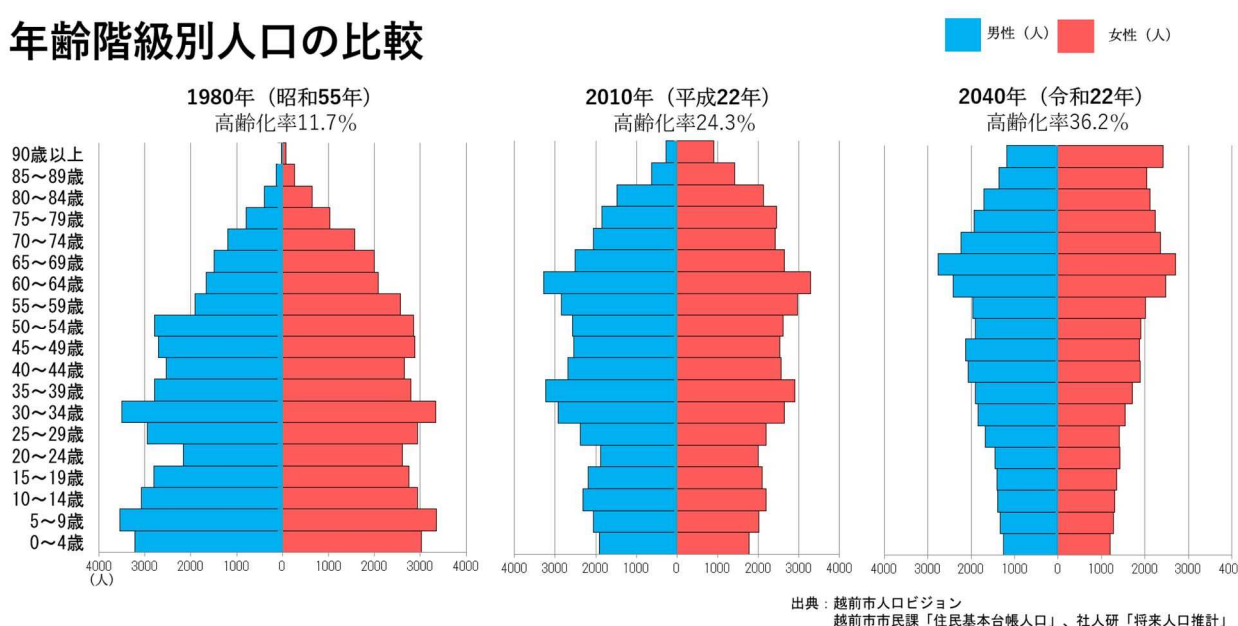
### 越前市の人口推移



## (2) 人口ピラミッドでの比較

- ・人口ピラミッドでは、少子高齢化が進み、富士山型から、釣鐘型、つぼ型へと変化すると予測されている。

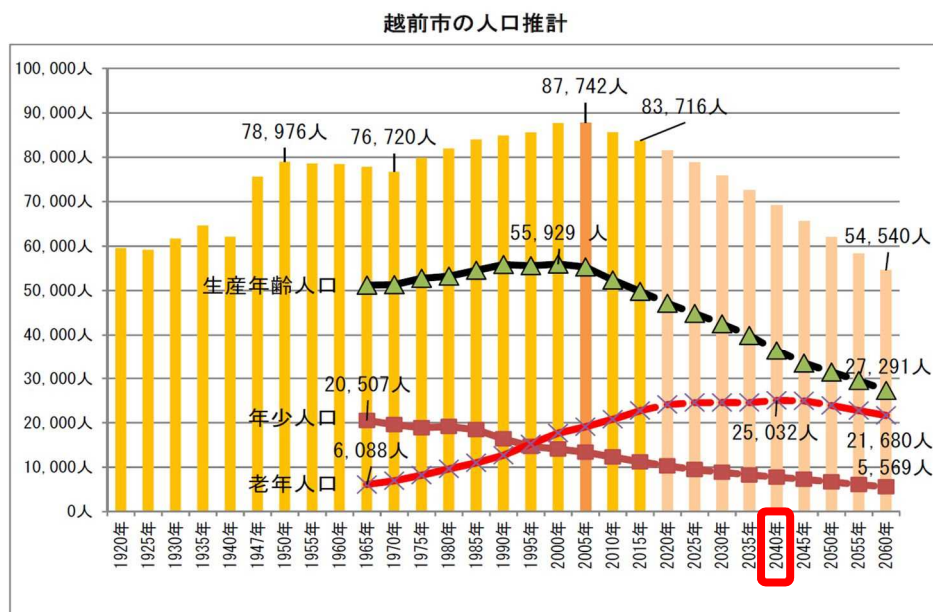
### 年齢階級別人口の比較





### (3) 人口構成の推移

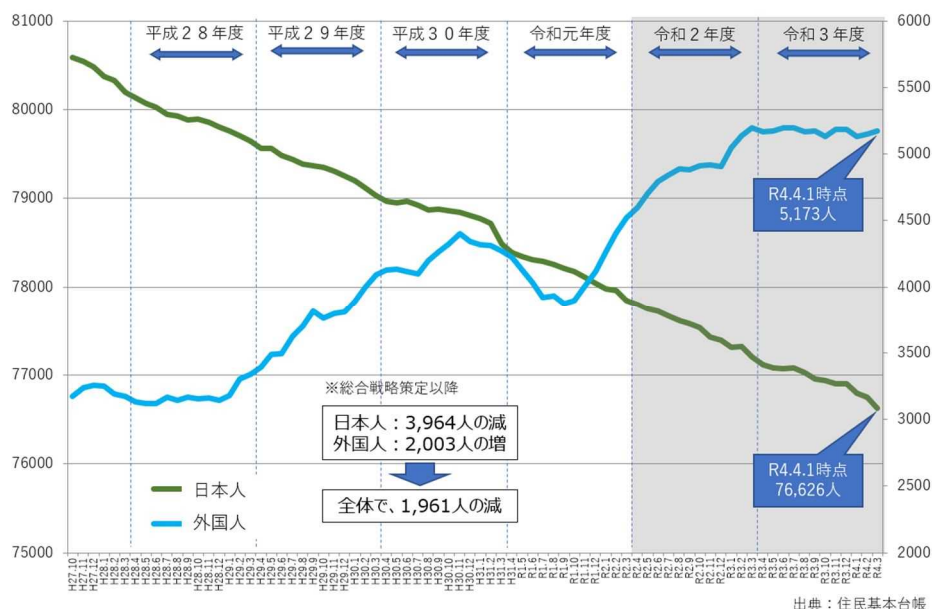
- ・生産年齢人口（15～64才）は、2000年をピークに減り続ける。老年人口は、2040年にピークを迎えることが予測されている。



資料：「国勢調査」、越前市市民課「住民基本台帳人口」、社人研「将来人口推計」（2013.3公表）  
 年少人口＝0～14歳、生産年齢人口＝15～64歳、老年人口＝65歳以上  
 社人研＝国立社会保障・人口問題研究所

### (4) 外国人の受け入れ

- ・生産年齢人口の減少については、外国人人材の増加によりカバーしている。



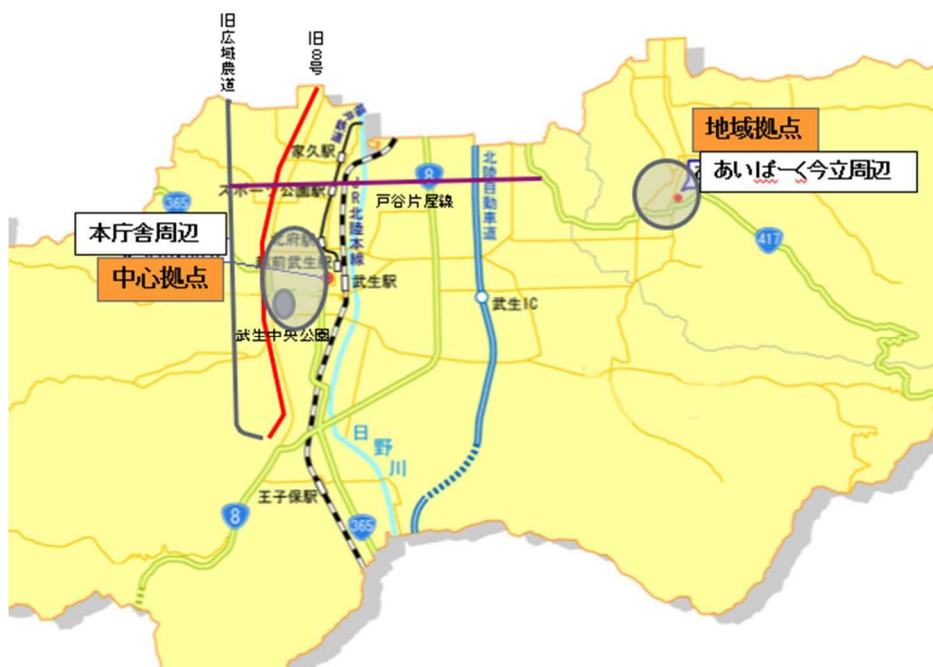
出典：住民基本台帳

- ・人口減少や人口構造の変化は、高齢化率の上昇による年金、医療費の増大、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、税収の減少、社会保障制度の持続可能性のリスク、社会の活力の低下など様々な課題が出てくる。

## 2 まちの構造

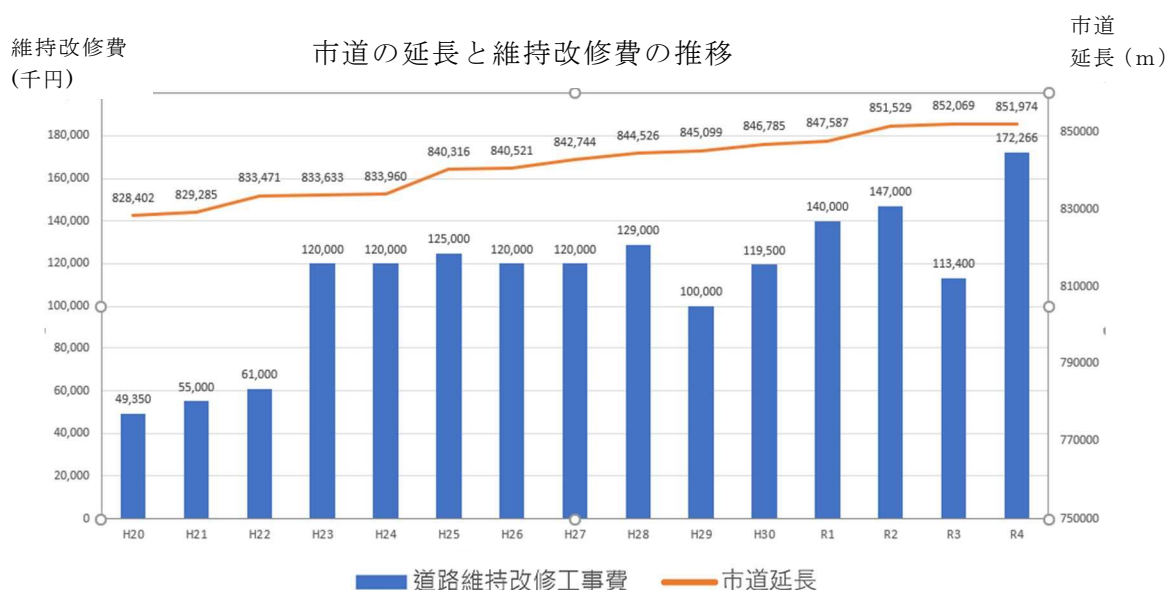
### (1) 都市構造

- ・武生地区の川西と今立地区を含む川東を戸谷片屋線で接続し、東西の連携軸を形成するとともに、旧丹南広域農道と戸谷片屋線を接続し、市街地における道路環状網を形成した。
- ・武生中央公園を再整備し、中心市街地の玄関口を創出した。
- ・2024年春に北陸新幹線越前たけふ駅が開業し、広域交通の結節点となる新たなエリアが形成される。



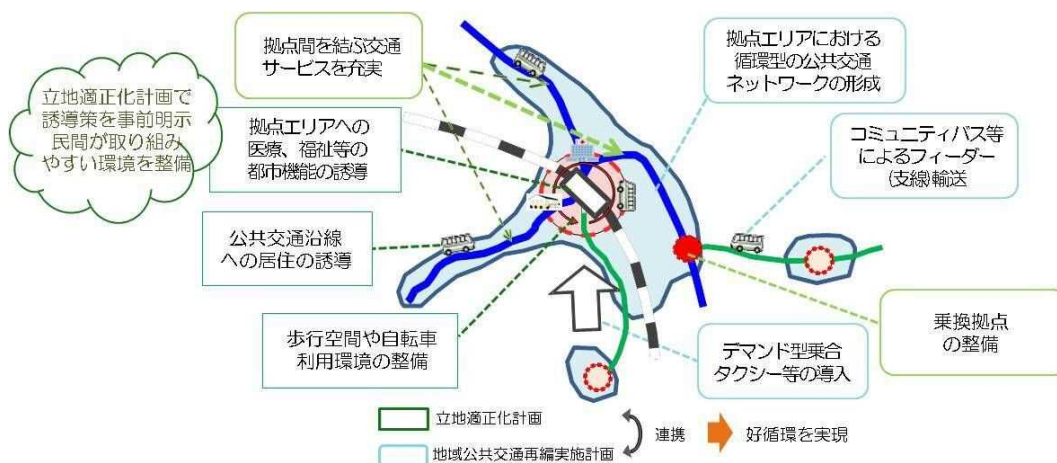
### (2) 都市インフラ

- ・道路交通網の整備により市道延長が増加するとともに、インフラで整備した道路施設の老朽化により、維持管理費が増加している。



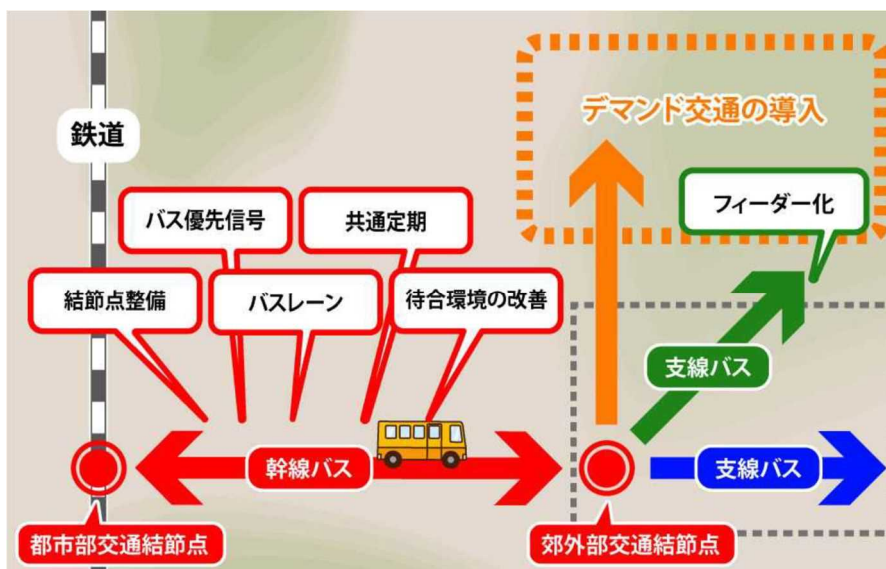
### (3) 公共交通

- ・ 1世帯当たりの自動車保有台数で、福井県は全国1位であり、車への依存が高いといえる。地球温暖化の進行や公共交通機関の衰退を防ぐため、公共交通機関と車の適切な使い分けが必要である。
- ・ 交通不便地域に住む高齢者や高校生などに向けて、通院や買い物、通学のための移動支援が、喫緊の課題となっている。
- ・ 多様な交通手段の組み合わせにより、持続可能な公共交通ネットワークの整備・充実が望まれている。



#### まちづくりと一体となった公共交通の再編

(改正地域公共交通活性化再生法(平成26年5月成立)の概要 国土交通省ホームページ)



#### 地域公共交通網形成計画のイメージ

(地域公共交通の現状と課題 平成28年度地域公共交通スタートアップセミナー)

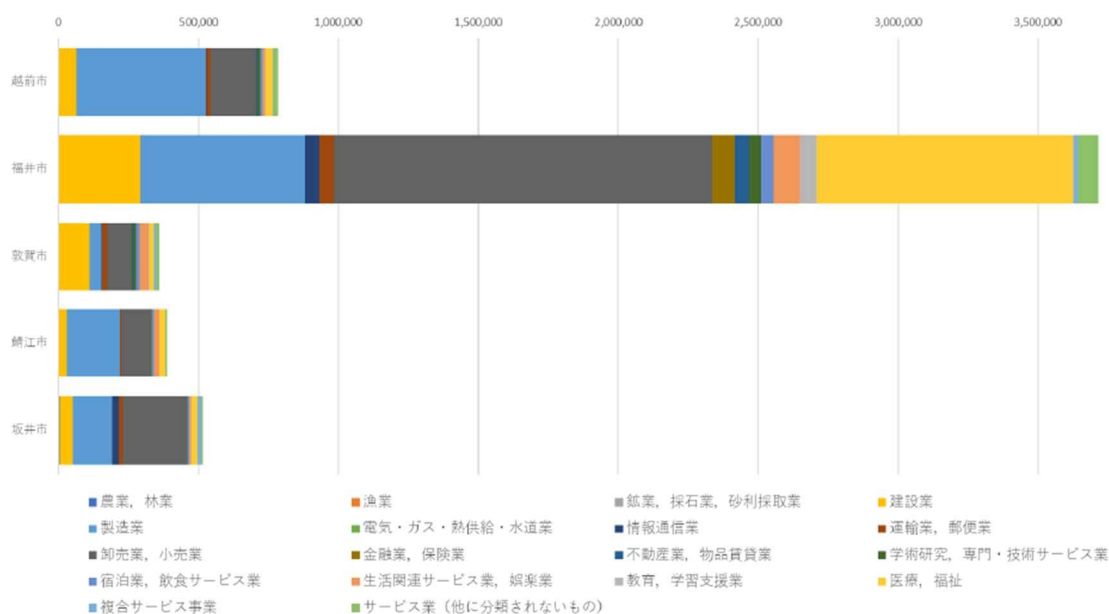
国土交通省北陸信越運輸局交通政策部交通企画課)

### 3 産業の構造

#### (1) 商工業

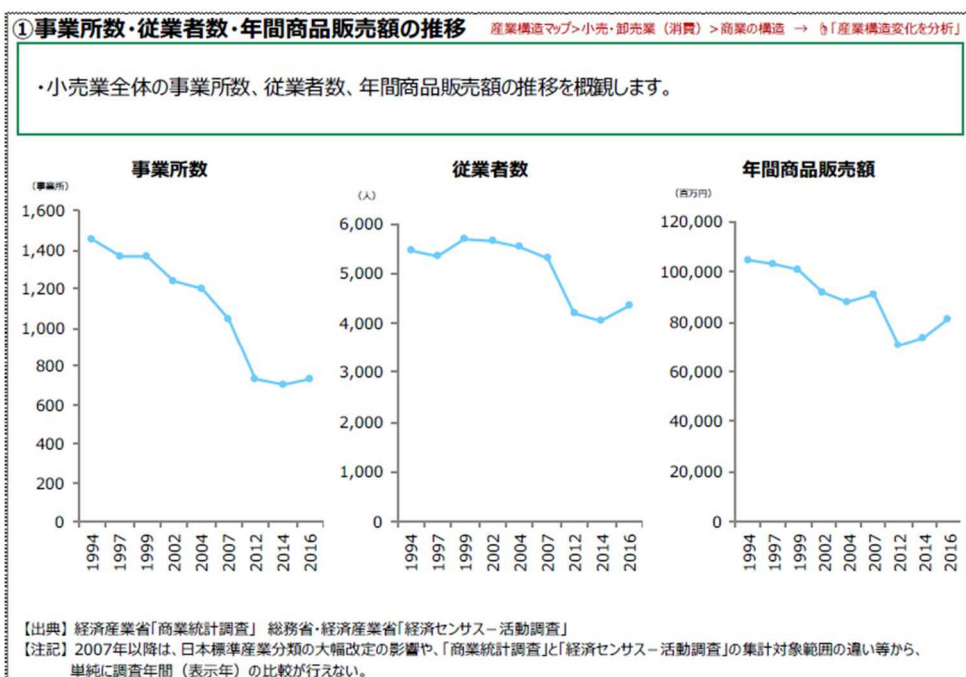
- ・ 製造品出荷額等は、県内の約30%を占め、北陸でも富山市に次ぐ第2位である。
- ・ 卸売・小売業の売上高は、近隣の鯖江市や敦賀市よりも高い状況にあるものの、市外で買い物や観光などで消費される額が多いことから、市内で生み出される所得を市内で消費するように促す必要がある。

(2) 産業大分類別に見た売上高（企業単位）の構成



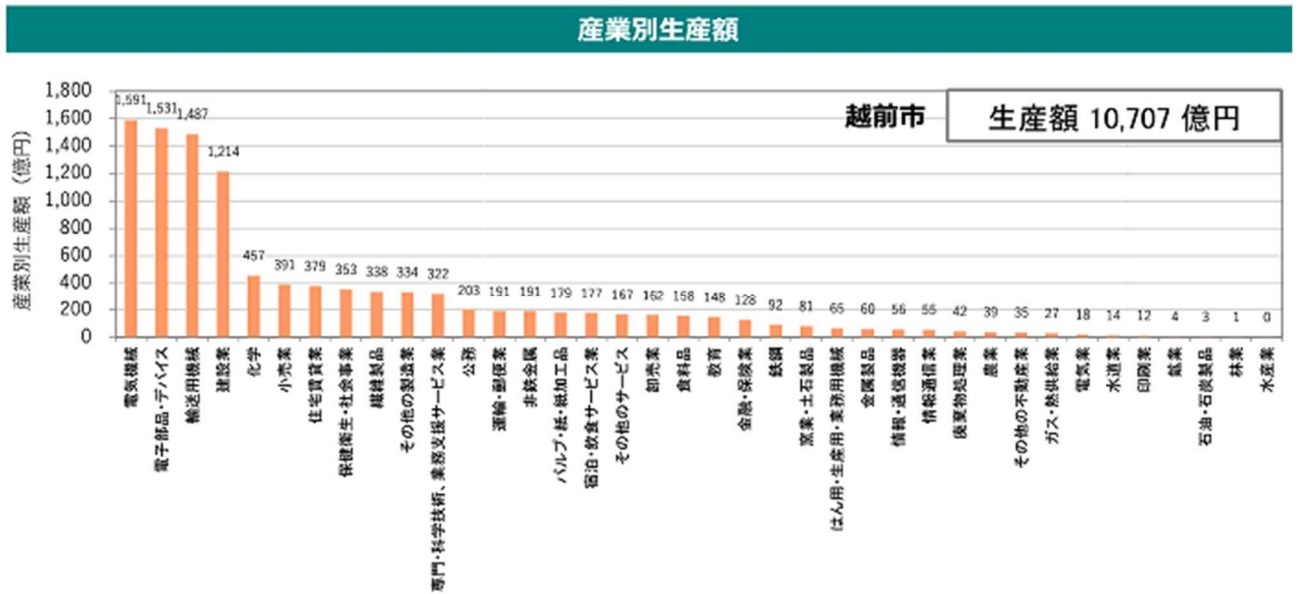
出典：平成28年度 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

- ・ 小売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額は持ち直しているが、経営者の高齢化が進み、事業承継が課題となっている。



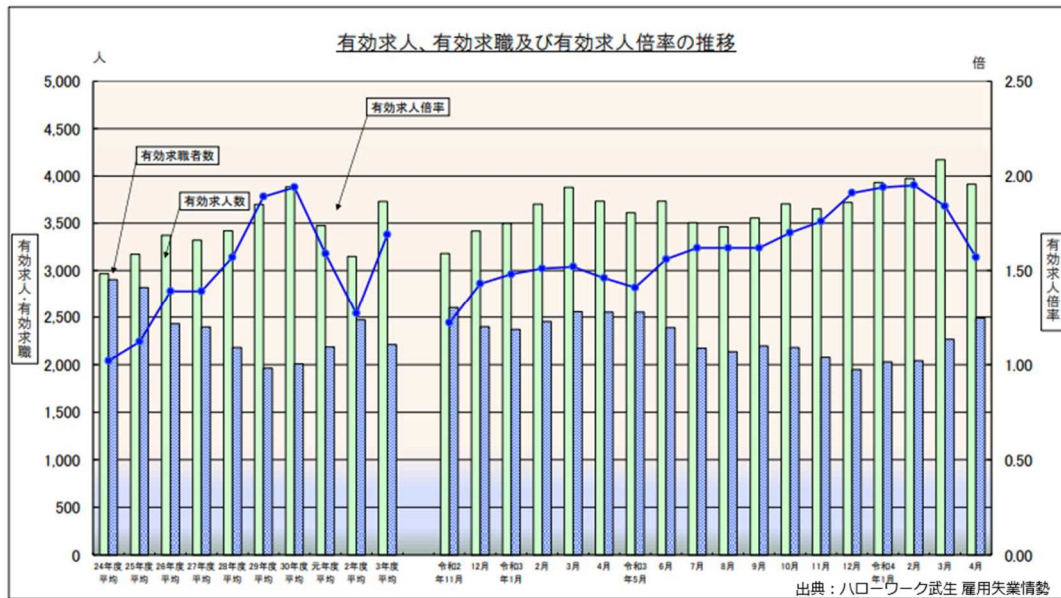


- ・産業別生産額において、電気機械、電子部品・デバイス、輸送用機械、建設業が突出して高くなっている。

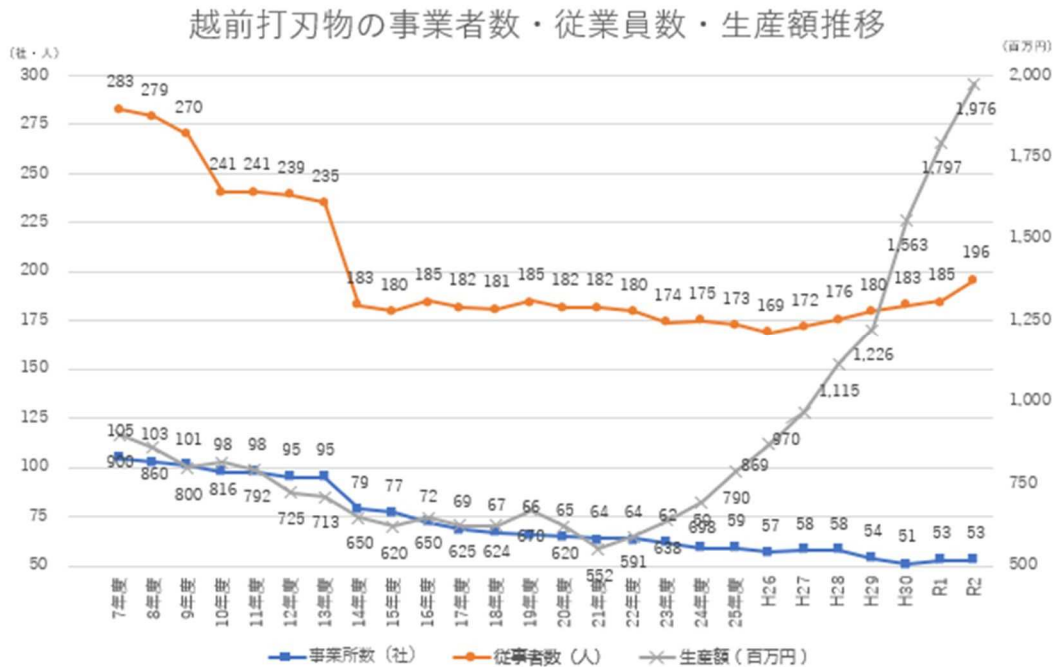
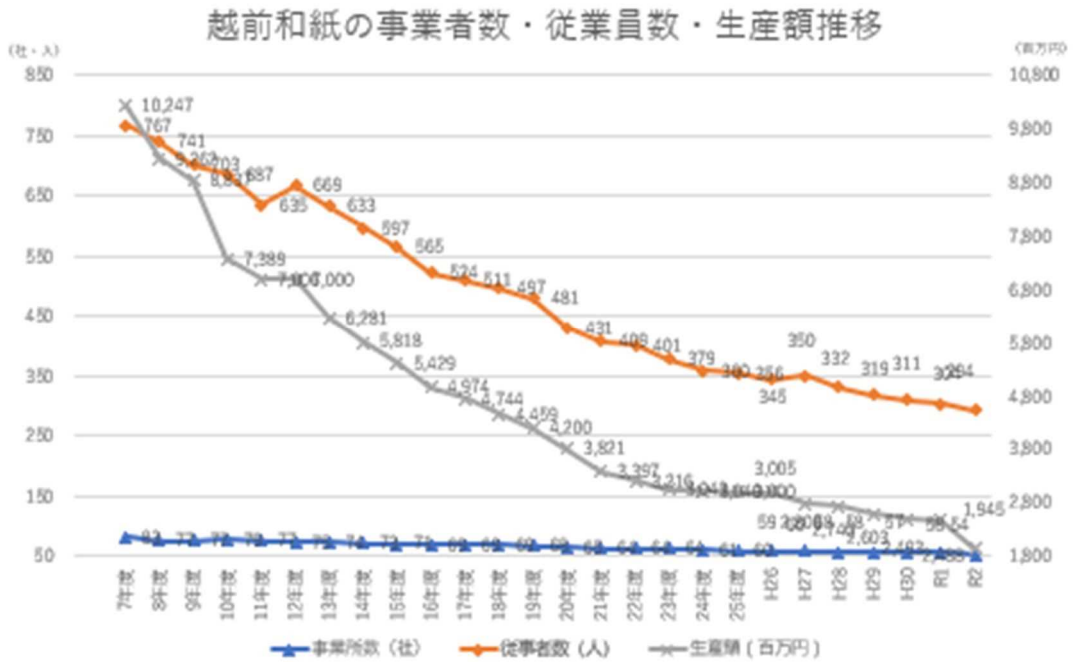


出典：平成28年度 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

- ・製造業が盛んなことから、有効求人倍率が高い傾向にあり、市内事業所では人出不足が顕在化している。

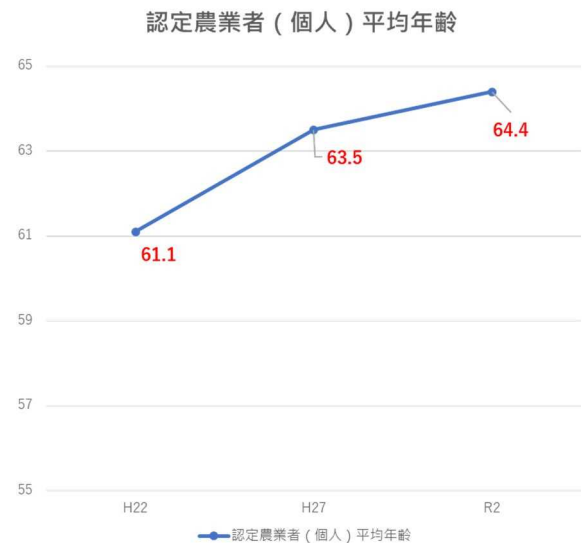


- ・越前和紙では、事業所数、従業者数、生産額において、減少傾向が続いている。
- ・越前打刃物では、事業所数は減少しているものの、海外の有名シェフから高い評価を受け、需要が拡大している。



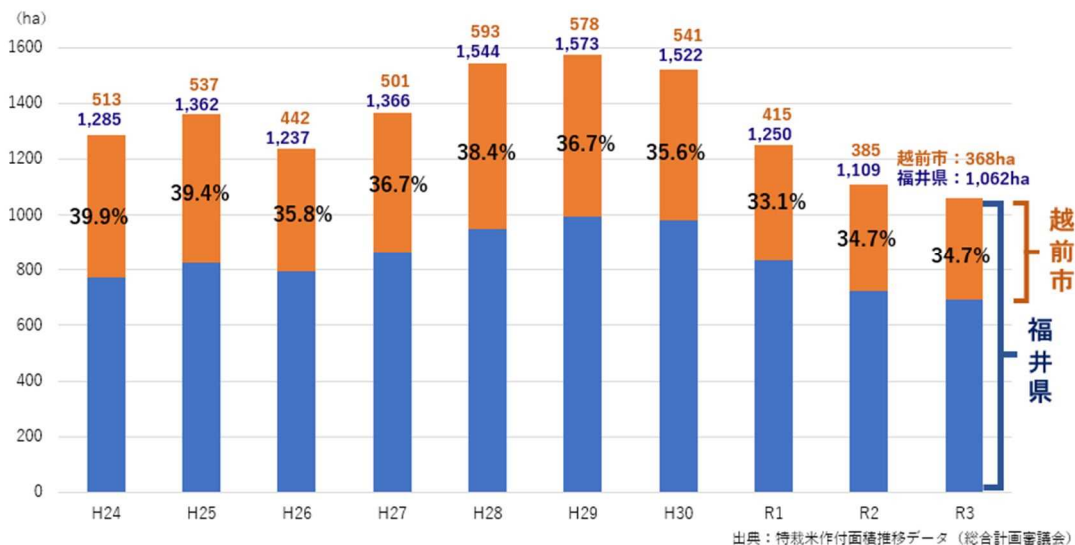
## (2) 農林業

- ・担い手農家への農地集積率が70%に達し、大規模経営化が進んでいるが、集積化が進まない中山間地の農地へ対応が課題である。
- ・担い手農家である認定農業者の高齢化が進んでいる。
- ・農業や林業において、ビッグデータの解析による栽培管理の適正化、AIによる熟練者のノウハウの伝承、作業機械やロボットなどによる無人化・省力化による生産性向上と、経営規模の拡大が求められている。
- ・本市の農業は稲作が中心であり、園芸や畜産は減少傾向にある。



- ・農業経営を安定させるために、地域ブランド化や有機栽培米などの健康・安全志向の付加価値の高い農産物の生産に取り組む必要がある。
- ・有機農業においては、生産性が低く、収益性が上がらない。

## 特別栽培米の作付面積



## 4 人流の構造

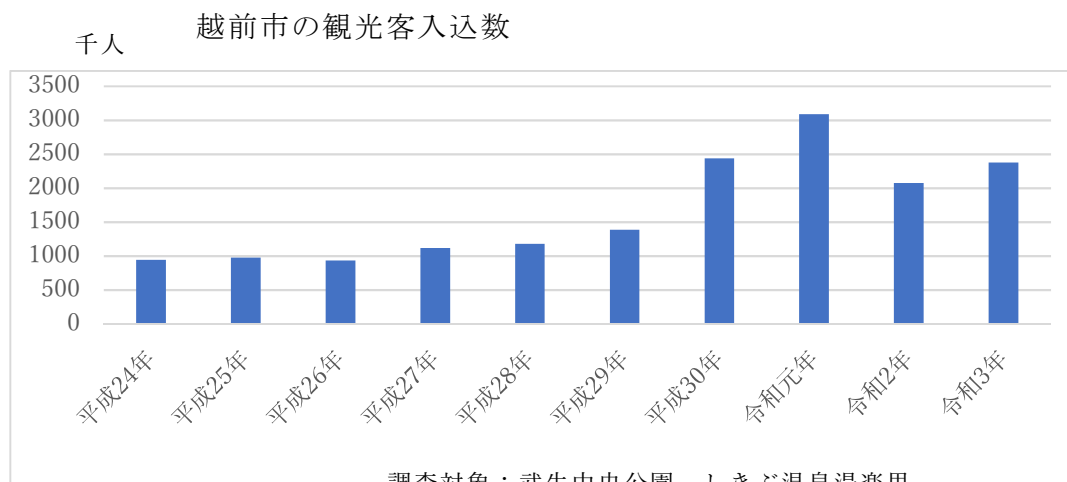
### (1) 高速交通網

- 本市を取り巻く高速交通網は、2024年春の北陸新幹線の県内開業、2023年の国道417号冠山峠道路の開通、2026年の中部自動車道の全線開通が予定され、首都圏を中心に様々な方面からの新たなアクセスによる誘客が見込まれる。



### (2) 観光客入込客数

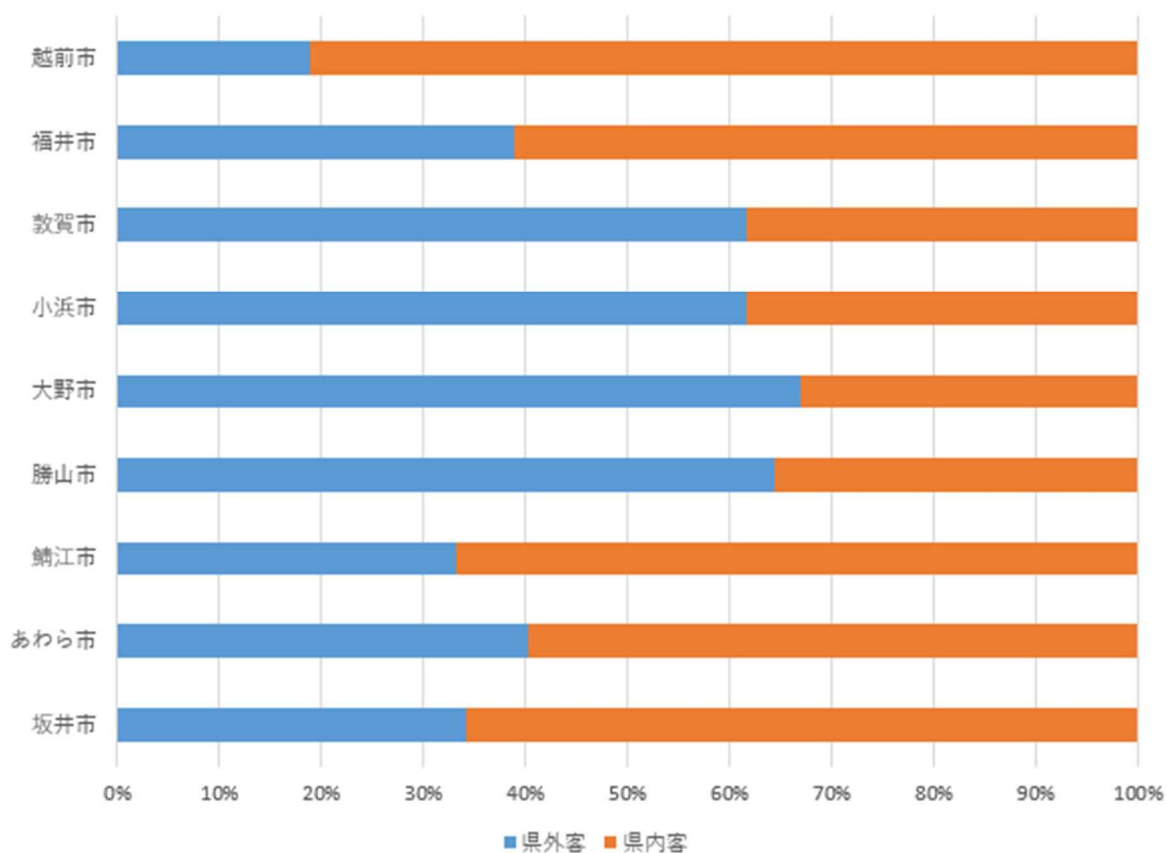
- 本市の観光入込客数は、武生中央公園だるまちゃん広場がオープンした2018年以降、大きく増加しているが、広場以外は微増傾向である。
- 越前たけふ駅開業に伴い、丹南エリアの玄関口として、観光コンテンツの充実、宿泊先や二次交通の充実、コロナ禍での対応などが求められている。



調査対象：武生中央公園、しきぶ温泉湯楽里、越前そばの里、越前和紙の里、万葉の里ほか  
出典：福井県観光客入込数  
※観光客入込数については、県内客も含む



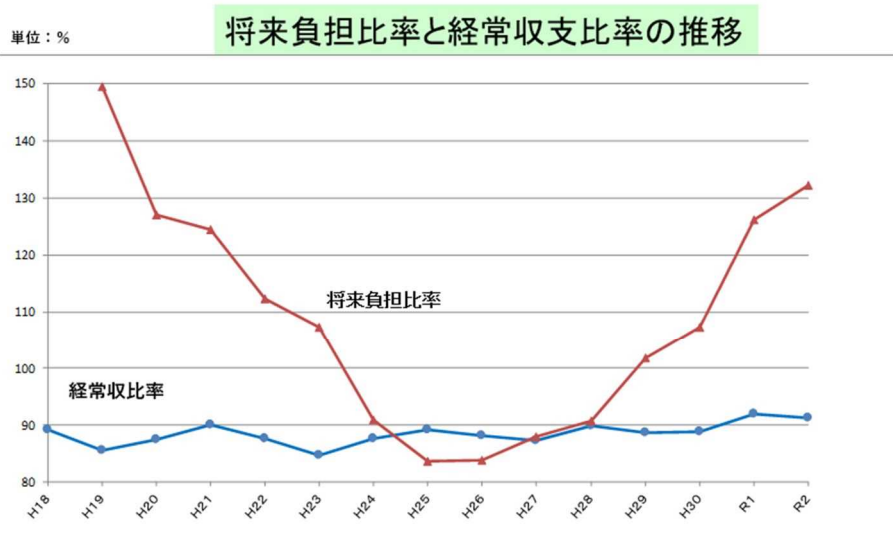
- ・主要観光地入込数における、県外客、県内客の比率でみると、本市は県内9市のなかで、最も低く、県外客の取り込みが課題である。



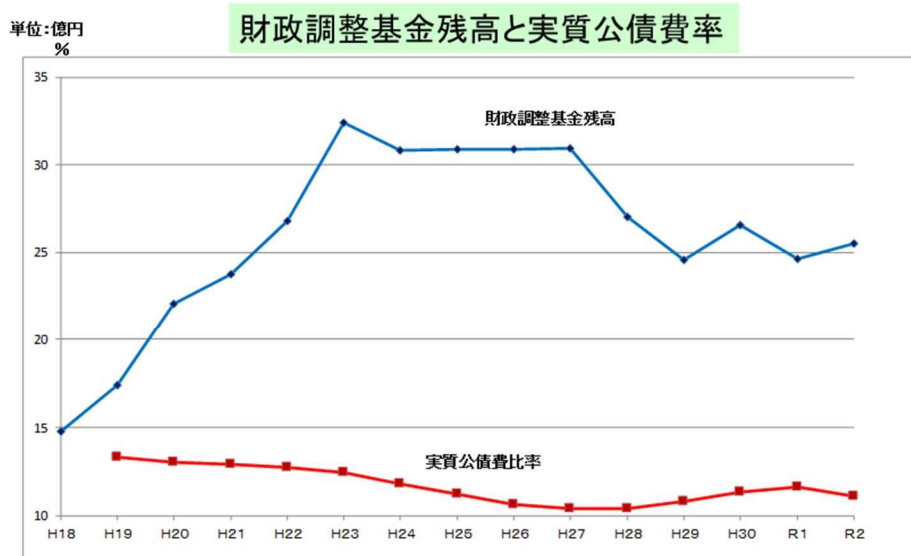
調査対象：武生中央公園、市民プラザたけふ（てんぐちゃん広場）しきぶ温泉湯楽里、越前そばの里、越前和紙の里、紫式部公園、万葉の里  
 出典：福井県観光客入込数

## 5 行財政の構造

- ・ 2040年には、人口が今より2万1千人（約25%）減る見込みである。そのため、個人市民税の大幅な減少が見込まれるほか、地方交付税や地方消費税交付金の減少、新築家屋が減ることにより固定資産税が減少するなど、多くの税目で減収が見込まれる。
- ・ 今後の人口減少を見据え、財政指標の経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率、財政調整基金残高の動向に注視し、引き続き行財政構造改革プログラムの中で財政状況を管理していく必要がある。



- 将来負担比率・・・地方公共団体の標準的な財政規模に対し、その地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債が占める割合。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなる。
- 経常収支比率・・・地方税や普通交付税などの毎年の経常的な収入に対し、人件費や扶助費など決まった経常的な支出が占める割合。財政構造の弾力性を測定する指標。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示している。



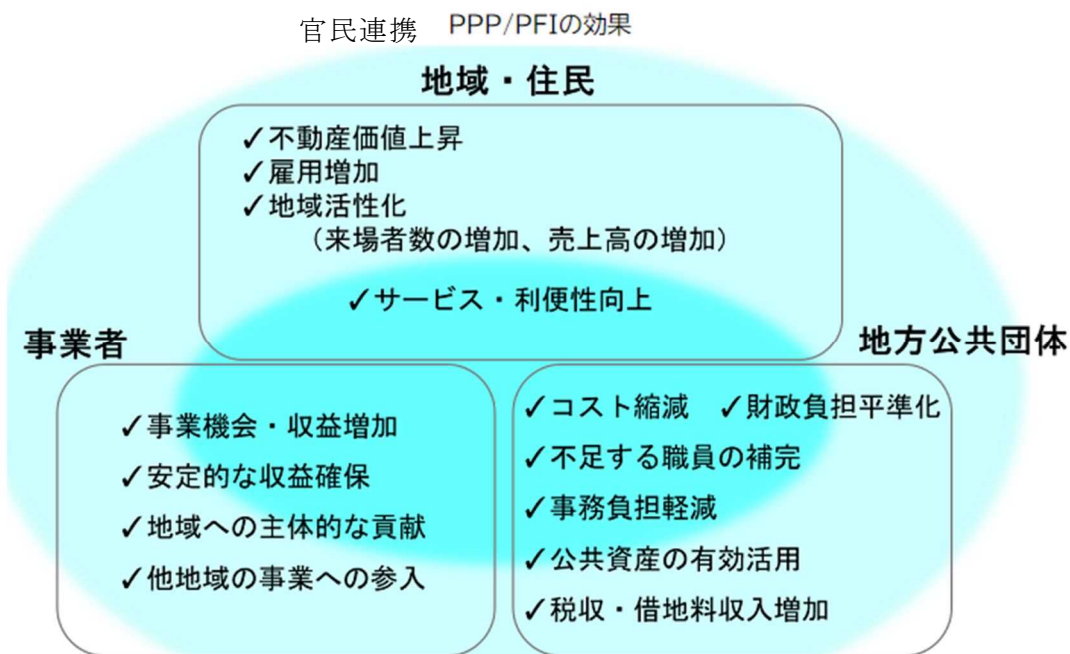
- 財政調整基金残高・・・年度間の財源不足に備え、決算剰余金等を積み立てて財源不足となる年度に備える目的の基金。
- 実質公債費比率・・・地方公共団体の標準的な財政規模に対し、その地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)が占める割合。通常、3年間の平均値を使用。

- ・スムーズな窓口対応や市民の利便性の向上を図るため、国のデジタル田園都市国家構想に基づき、自治体DX化を積極的に進めていく必要がある。

## DXへの考え方

	自治体DX推進		地域社会のデジタル化
主体	情報管理部門	庁内各課	住民
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織横断的に必要なデジタル共通基盤の整備</li> <li>・各部署のDX事業への伴走支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術やデータを活用した市民サービス向上</li> <li>・各課業務での課題解決と業務効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な団体と連携して、新たなサービスを提供</li> </ul>
事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請、施設予約システムの導入</li> <li>・LINE窓口の導入</li> <li>・テレワークツールの導入</li> <li>・業務自動化ツール導入</li> <li>・内部の相談窓口設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のライフスタイルの多様化への対応 例) ・閉庁時でのオンライン申請による受付 ・来庁なしでの受付サービス</li> <li>・チャットによる住民サービス向上と業務効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治振興会や市民団体などが連携して、地域課題解決に向けた取組み 例) ・地域安全マップ ・備蓄ナビ ・デジタルツインえちぜん</li> </ul>

- ・行政と民間が連携（PPP/PFI）して、それぞれがお互いの強みを生かすことによって最適な公共サービスを提供し、地域の価値や住民満足度の最大化を図ることも必要である。



出典：国土交通省HPのPPP/PFIより

## 基本構想におけるテーマについて

### 取り組むべきテーマ① 定住・移住・少子化対策

#### (1) 定住とU I Jターン

- ・住んでいる人が誇りを持ち、住み続けたい帰ってきたいと思えるふるさとづくりを進める。
- ・U I Jターンの促進と関係人口の拡大を図るために、ブランド戦略を進め、本市の魅力を底上げする中で、多様な皆さんに広く働き掛ける必要がある。
- ・生産年齢人口の減少の要因としては、県外への進学者が、卒業後に県内にUターンする割合が低いことが挙げられる。県の推計によると、県外に進学した若者は、2割から3割しか戻ってこない。毎年、県全体で2,000人、本市では200人の若者が県外に出て行って、帰ってこないと推計される。



出典：平成27年 国勢調査を基に福井県が推計

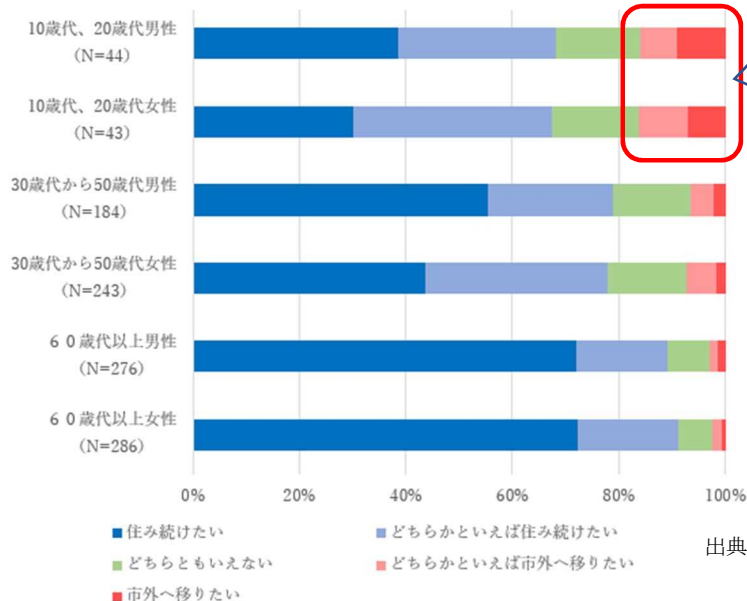
#### 【越前市】

H22(2010)：18歳人口745人 ⇒ 5年後▲122人 ⇒ 10年後▲74人  
 H27(2015)：18歳人口750人 ⇒ 5年後▲132人

#### (2) 若者の定住意向

- ・市民意識調査の若者の定住意向で、10代から20代の2割弱が市外への転出意向があることが分かった。

#### < 市民意識調査 問4：定住意向について >



市外へ移りたい、  
 どちらかといえば市外へ移りたい  
 という意向が2割弱ある。

出典：令和4年 市民意識調査

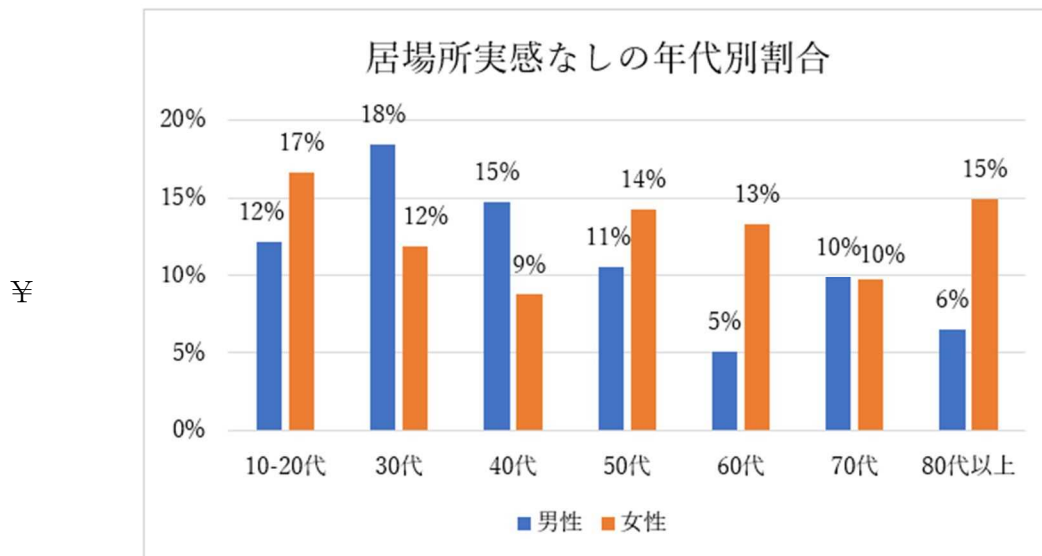
(3) 居場所と舞台の実感度（ウェルビーイングからの視点）

・市民意識調査のウェルビーイングに関する設問において、10代から30代の若者では、居場所実感と舞台実感が無いと感じており、若者ほど市外へ移住したいという意向との相関性があると考えられる。

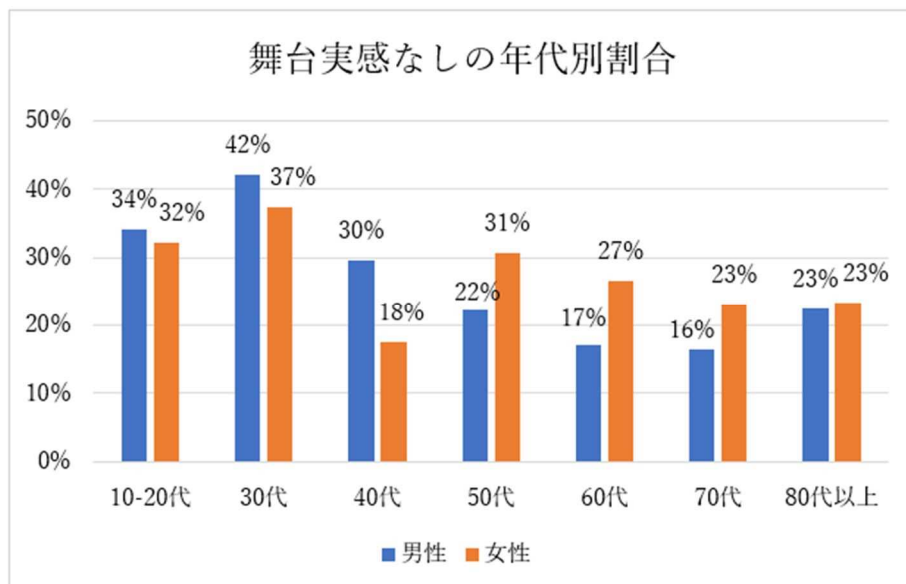
※ウェルビーイングの観点からの「居場所」と「舞台」について

- ・「居場所」 自分らしく居られる場所
- ・「舞台」 自分の可能性を引き出し表現できる場所

①居場所実感なしの男女別及び年代別



②舞台実感なしの男女別及び年代別



出典：令和4年 市民意識調査

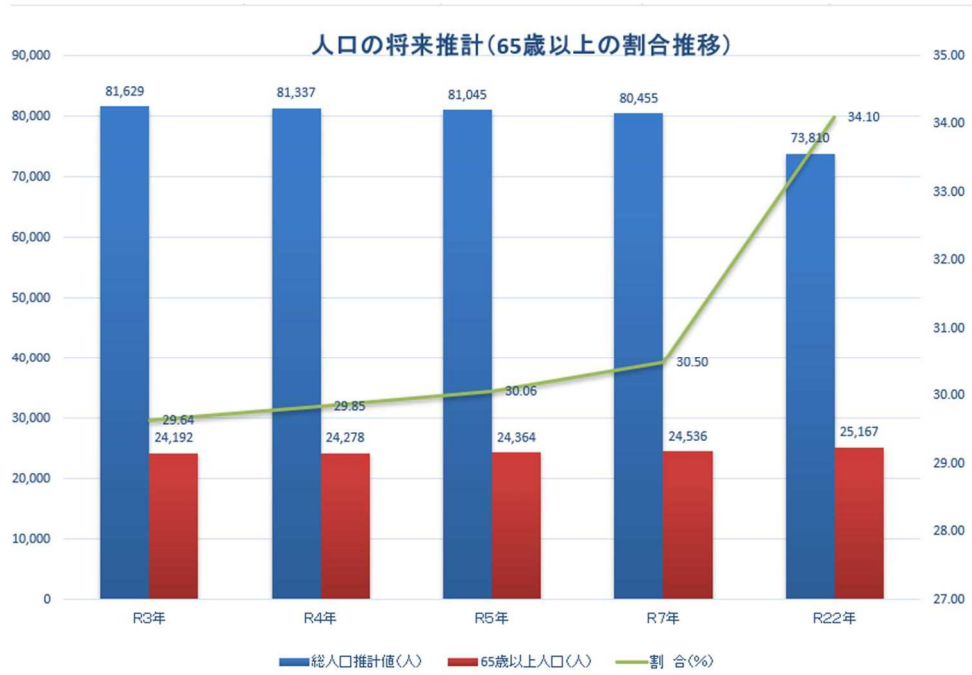




## 取り組むべきテーマ② 高齢化・健康

### (1) 高齢社会の到来

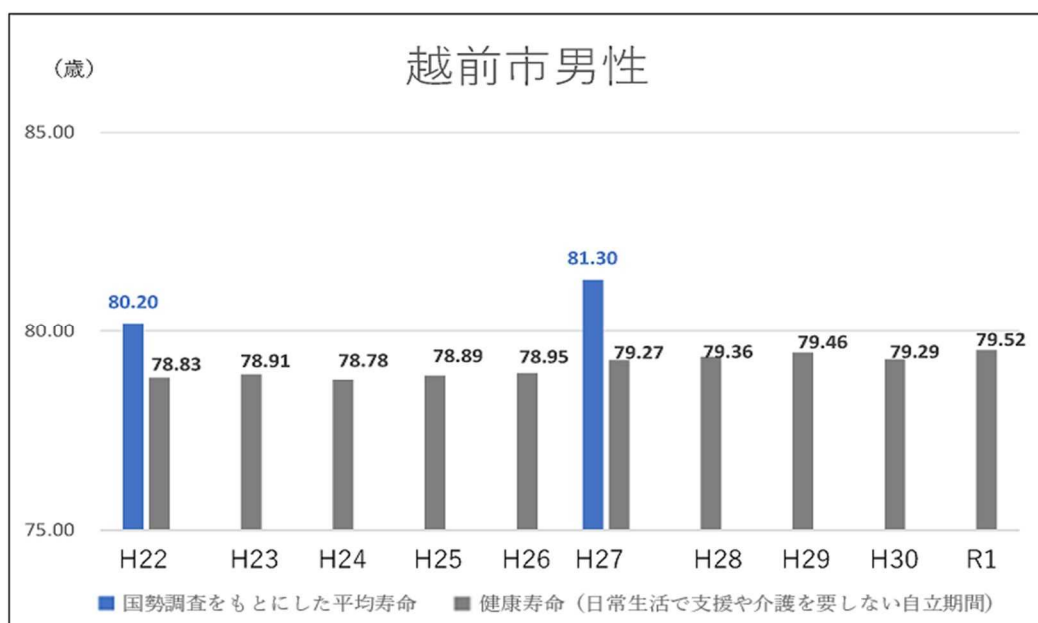
- ・合成特殊出生率はやや回復傾向にあるが、自然増を目指すまでには至っていない。
- ・第2次ベビーブームの団塊の世代ジュニアが、2040年には65歳以上となり、高齢者人口がピークを迎える。本市の2040年の高齢化率は34.1%と予測する。

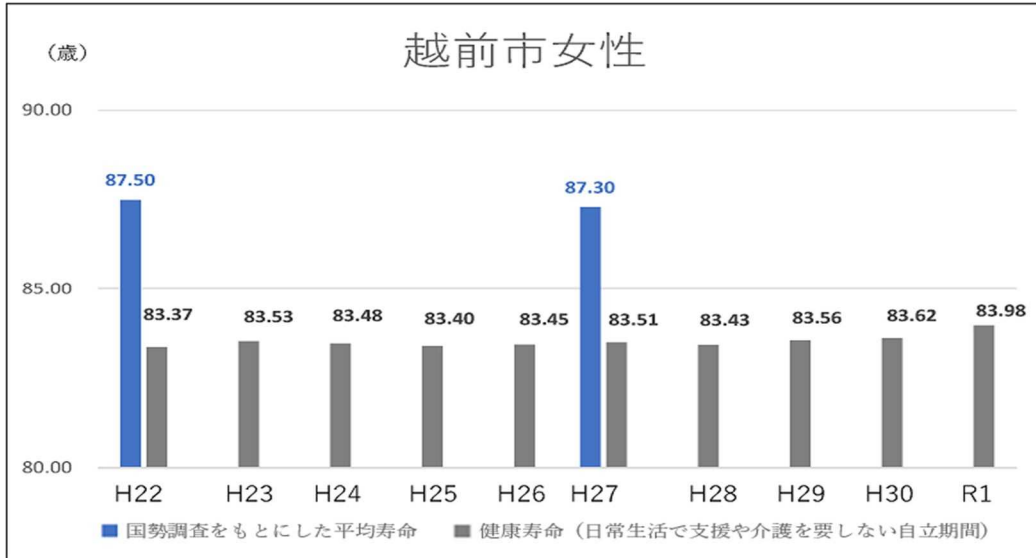


出典：「第8高齢者福祉保健計画・介護保険事業計画」（資料：越前市人口ビジョン 将来人口の目標値：各年10月1日）

### (2) 平均寿命と健康寿命

- ・平均寿命と健康寿命には、男性で2歳ほど、女性で4歳ほどの差がある。健康寿命を平均寿命に近づけることができれば、健康で充実した生活を送ることができ、社会保障費の削減も期待できる。



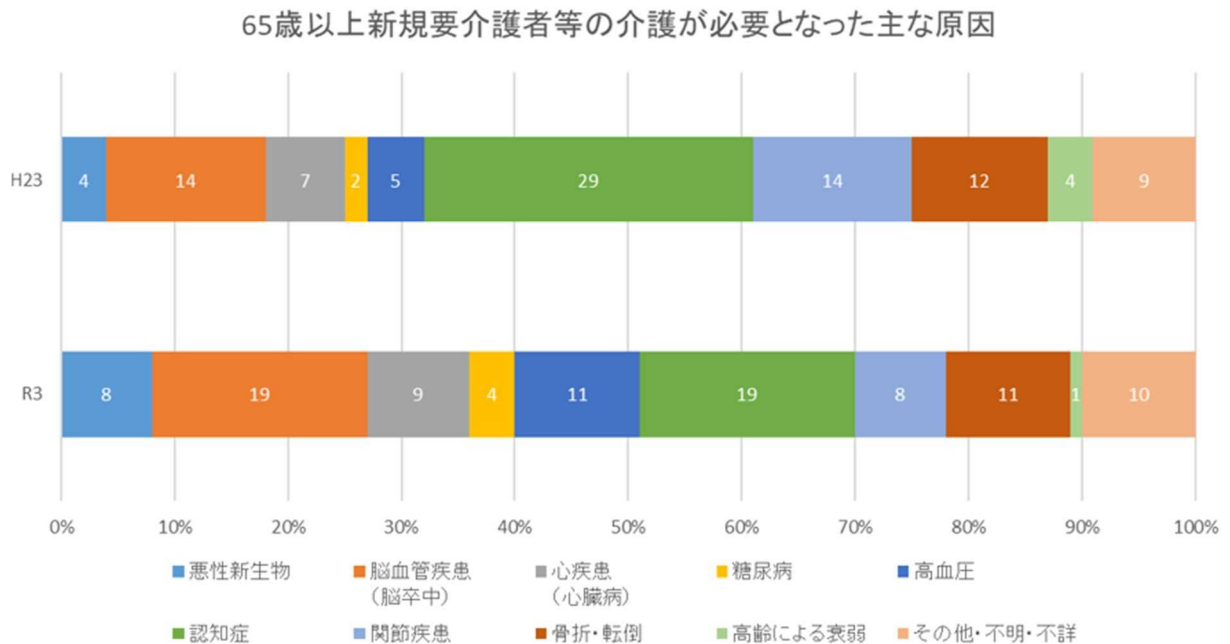


出典：平均寿命：厚生労働省、健康寿命：福井県健康政策課

### (3) 健康管理

- ・ 65歳以上の要介護者の介護が必要となった主な原因は、脳血管疾患、心疾患など生活習慣病が原因となっている割合も高く、若い頃からの健康保持、フレイル予防、介護予防が重要である。

## 65歳以上の要介護者等の性別にみた 介護が必要となった主な原因



※越前市の各年度の新規申請者を申請順に100人抽出



#### (4) 社会保障費の負担

- ・ 高齢化の進展に伴い、医療費などの社会保障費が増加するという課題もある。
- ・ 若い頃から健康的な生活習慣を維持することは、市民のウェルビーイングや市財政の健全化の観点からも重要である。

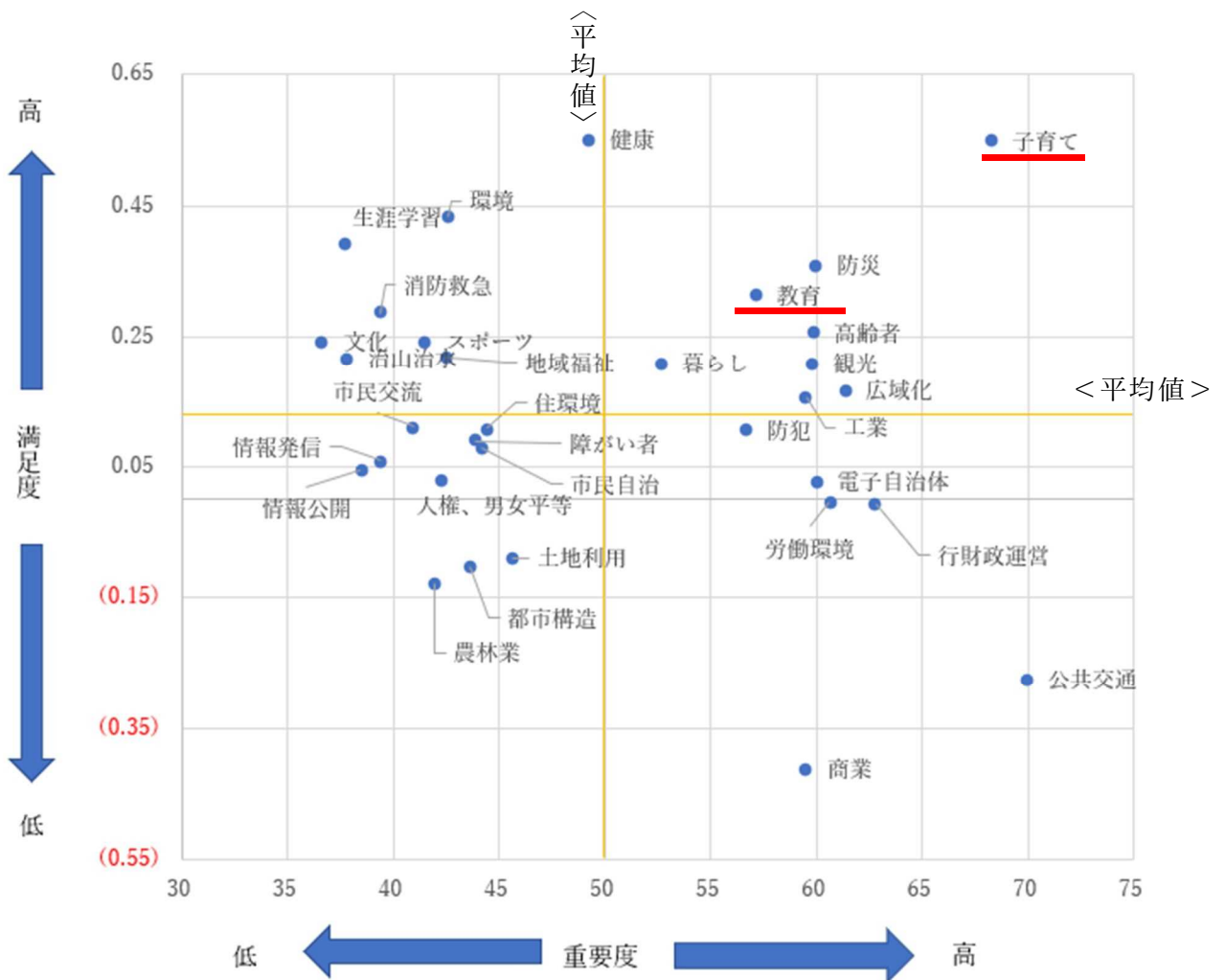
### 介護保険給付費の推移



資料：市決算資料（令和3年まで）  
厚生労働省 見える化システム（令和7年以降）

### 取り組むべきテーマ③ 子ども・教育

- ・ 市民意識調査の中で政策の重要度と満足度を調査したところ、子育てについての満足度と重要度は高くなっている。
- ・ 「子育て」の満足度は50%であるが、政策の更なる拡充を図ることで、安心して出産し、子育てがしやすい環境づくりを進める必要がある。
- ・ 本市の未来を担う子どもへの取り組みである教育についても、重要度と満足度は高い。
- ・ 子育て・教育への支援の拡充により、人口増に転じた自治体もあり、効果的な人口減少対策ともなりえる。



出典：令和4年市民意識調査

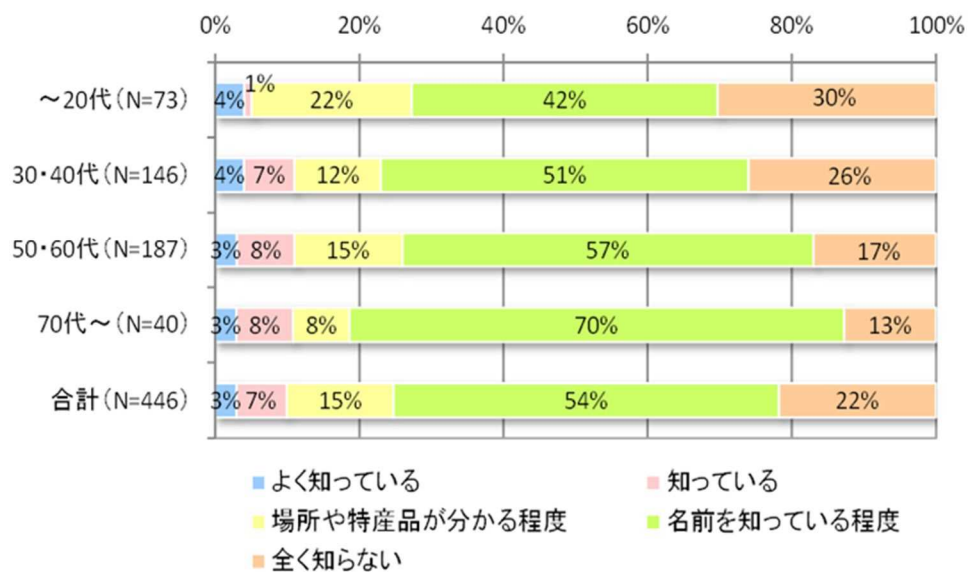
## 取り組むべきテーマ④ ブランド発信・観光誘客

- ・本市は、奈良時代に地方政治の拠点として国府が置かれ、その歴史や文化、匠の技は今に受け継がれているが、県内外で認知度が低い状況にある。
- ・市民が、本市の歴史、文化、自然などの宝を再認識し、本市を誇りに思ってもらい、併せて、SNSやメタバースを活用し、本市の宝を世界に発信してもらい。
- ・本市に住み続けたい、訪れたい、戻ってきたいと思われるようシティプロモーションに取り組むとともに、観光誘客、ふるさと納税、クラウドファンディングなどを通して、関係人口の拡大を図る。



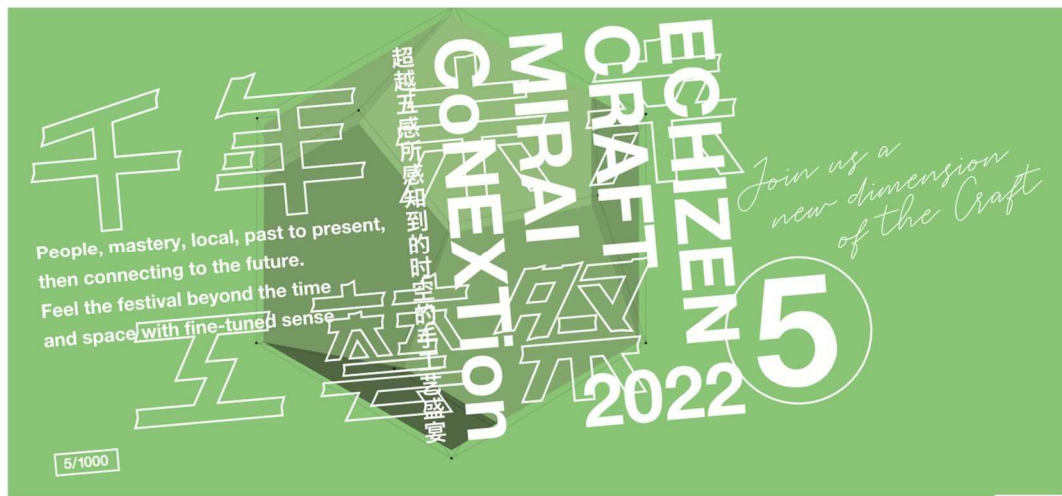
- ・首都圏での本市の認知度は10%とかなり低く、北陸新幹線開業を契機とした観光誘客につなげるためには、効果的なプロモーションを実施し、認知度の向上を図る必要がある。

首都圏における越前市の認知度



出典：令和4年 誘客促進基礎調査

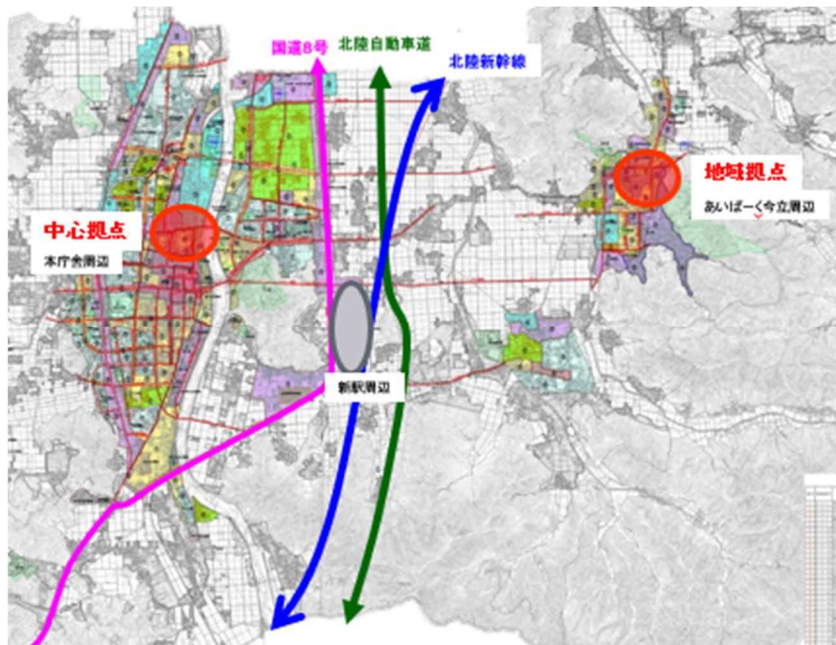
- ・本市には、東尋坊や恐竜博物館のような知名度の高い観光地がなく、一般観光客をターゲットにしても、観光消費額の拡大にはつながりにくい。
- ・伝統的工芸品などのものづくり技術・製品と、歴史に裏付けされた地域資源を活かし、それらを著名なクリエイター、デザイナー、シェフなどをターゲットに情報発信することで、様々な層に情報が波及することで、本市への来訪者を増加させ、観光消費額の拡大にもつながる。
- ・伝統産業や地場産業のイベントである「千年未来工芸祭」や「RENEW」において、丹南地域全体での連携を深め、各産地を周遊する仕組み作りが必要である。



## 取り組むべきテーマ⑤ 都市構造、都市インフラ、環境、防災、公共交通

### (1) 都市構造

- ・歴史的に見て、本市の中心は「本庁舎周辺の中心拠点」であり、今立地区の中心は「あいぱーく今立周辺の地域拠点」である。
- ・越前たけふ駅周辺では、高速・広域交通網の結節点として、幅広い交通手段の利用者が訪問しやすい立地特性を活かし、県域を越える多様な利用者も対象に、広域交流及び連携の拠点としての活用が必要である。
- ・越前たけふ駅周辺の土地利用を踏まえて、本庁舎周辺の中心拠点、あいぱーく今立周辺の地域拠点、越前たけふ駅周辺エリアの3カ所の関係性を整理する必要がある。
- ・今後の人口減少を見据える中で、都市と自然の調和のもと、安全安心に暮らすことのできる都市を目指し、本市の将来都市像に基づく土地利用方針を再検討していく。



### (2) 都市インフラ

- ・今後の人口減少を見据え、都市インフラのあり方を検討する必要がある。
- ・道路や橋梁、消雪施設などの都市インフラの老朽化が進行するため、施設更新や長寿命化を図る必要がある。
- ・施設更新や維持補修の時期が集中するため、計画的に費用の平準化を図り、都市インフラを維持する必要がある。

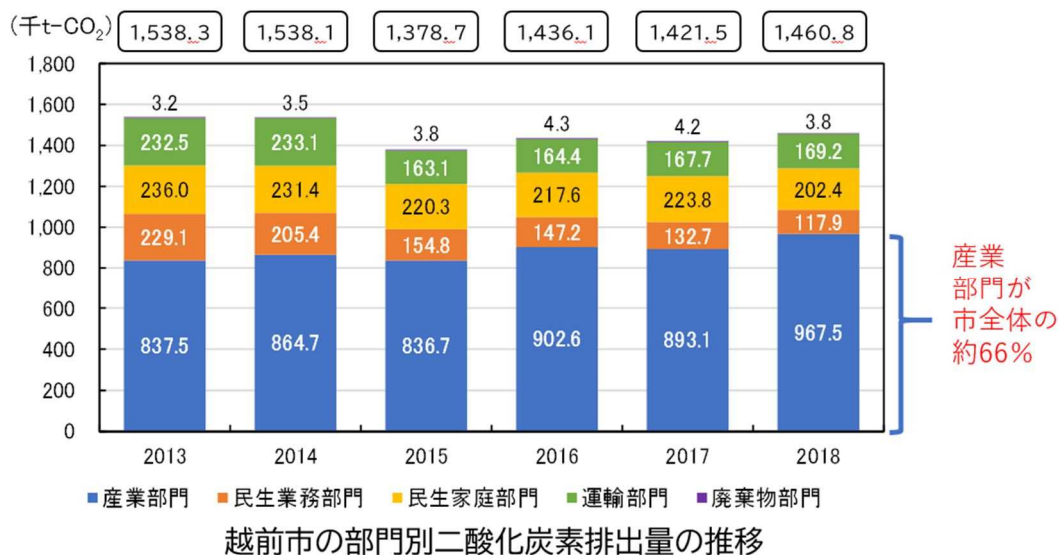
橋梁の実用耐用年数



出典元：越前市道路橋個別施設計画

### (3) 環境

- ・国は地球温暖化対策として、2050年でのカーボンニュートラルの実現を目指している。
- ・地青く可能な地球環境を保全するために、市民、事業所、行政が一体となって、脱炭素社会に向けた取組みを着実に進めていく必要がある。
- ・次世代エネルギーとして、水素エネルギーの活用を検討する。



### (4) 防災・減災

- ・8月4日、5日の大雨では、市内の観測地点にて24時間降水量が210.5mmと観測史上最大となり、市内の各所で避難指示が出される事態となった。
- ・過去にも、平成16年の福井豪雨、平成24年の東部集中豪雨などで水害が発生している。
- ・平成30年には、積雪130cmを記録するなど雪災害なども発生している。

### < 市民意識調査 問4 >

今後、越前市はどんなところに力を入れたまちづくりをするべきか？



#### < 市民意識調査 問4 >

「今後、越前市はどんなところに力を入れたまちづくりをするべきか？」という設問に対し、「治安が良く、災害に強い、安心して暮らせるまち」を選択した人は2番目に多く、安全安心についての市民の期待は大きい。

#### (5) 空き家対策

- ・人口減少等により空き家が増加し家屋の老朽化が進行すると、周辺環境に悪影響を及ぼし危険な状態になる。
- ・利活用が可能な空き家は、積極的に有効活用を図るとともに、所有者の適正管理を促し、危険空き家にさせないことが重要である。
- ・特に、中心市街地を含む東・西・南の3地区の空き家率が、全体の約40%を占めているため、重点的に取り組む必要がある。

#### (6) 公共交通について

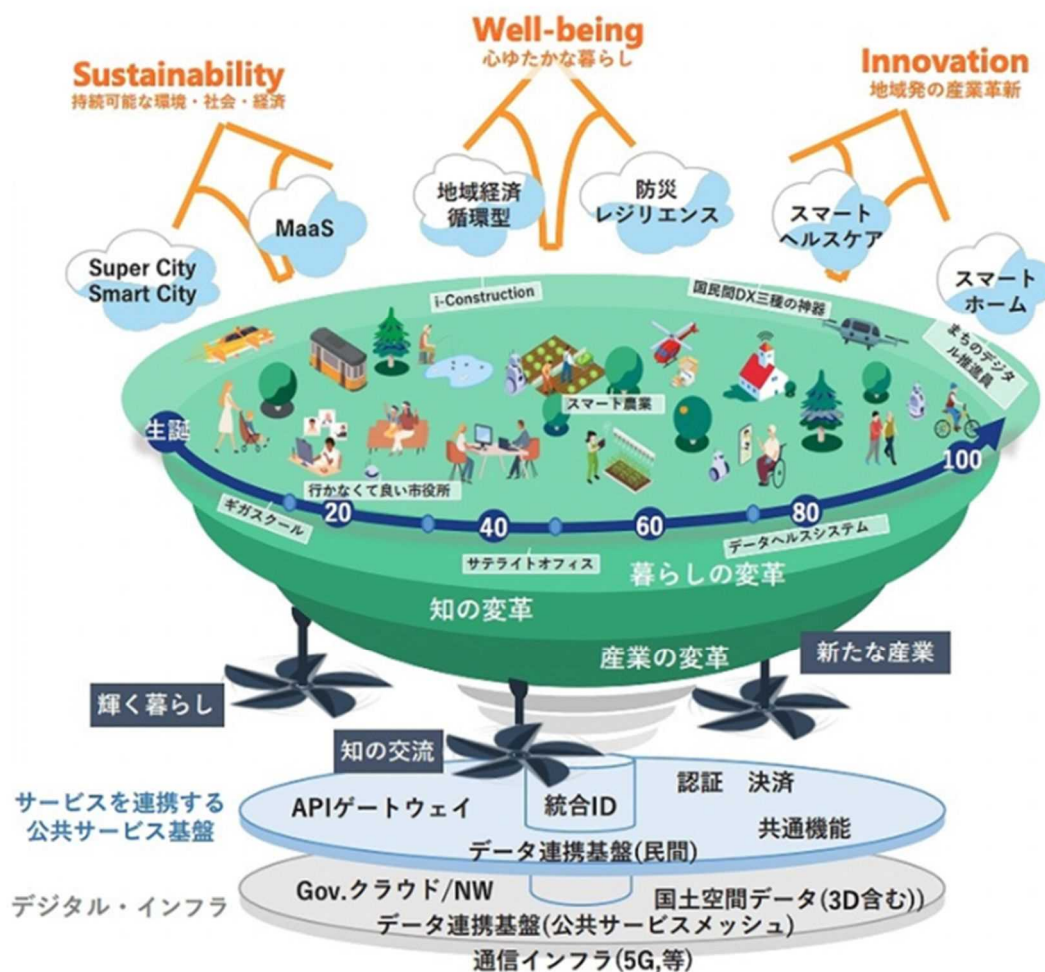
- ・高齢化の急速な進展に伴い、手軽で乗りやすいデマンド交通の需要がある。
- ・新幹線で来訪する人の多くはビジネス客である。
- ・市内に知名度の高い観光地がなく、訪問場所は多様であり、来訪時間もばらつくことが想定される。
- ・新幹線開業や人生100年時代を迎えることから、観光や日常生活の基盤である地域公共交通をトータルで再編し、整備する必要がある。
- ・高齢者向けに中山間地と量販店、病院などを結ぶデマンド交通の運行とともに、小学生のスクールバスや高校生の通学バスとの連携も検討する。
- ・越前たけふ駅と武生駅などを結ぶ2次交通を検討する。



## 取り組むべきテーマ⑥ 産業

- ・ 今後、あらゆる事業や情報がデータ化され、ネットワークでつながる「I o T」、コンピューターが自ら学習し高度な判断を行う「A I」、多様な作業を自動化する「ロボット」などの技術革新が、従来にないスピードとインパクトで進むことから、先端テクノロジーを活用した生産性の向上が可能となる。
- ・ A I やロボット、ビッグデータによって様々な分野での自動化が進むことで、新しい働き方を促進し、人材育成（リスキリング）も支援する必要がある。
- ・ 地域の産学官金が連携する中でのオープンイノベーションの推進が必要となる。このことで、地方企業による高付加価値の商品開発や地方発のイノベーションの可能性も出てくる。
- ・ 第1次から第3次産業までが、バランスよく生産活動に取り組めるよう支援する。
- ・ 今後の商圏人口の減少に伴い、大型商業施設の再編やネット通販などの電子商取引の拡大が見込まれるが、地方の小売業では持続可能な事業モデルが必要となる。
- ・ 多様な人材の就業支援や働きやすい職場環境づくりなどにより労働力人口を確保する。

### デジタル田園都市国家構想のイメージ



出展：デジタル田園都市国家が目指す将来像について（デジタル庁）



- ・持続可能な農林業を推進していくためには、担い手の確保と育成が急務である。
- ・担い手農家が農業経営を維持できるよう、農産物の収益性の向上と農作業の省力化、合理化への支援が必要である。
- ・ビッグデータ、AI、ロボットなどを活用したスマート農業の推進が必要である。
- ・環境調和型農業の推進、特に付加価値の高い有機農業の一層の取組みが必要である。
- ・農林業が持つ食料の供給や水源の涵養、国土保全などの多面的機能の維持、鳥獣害対策に取り組むことが必要である。

## スマート農業について

### 「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

➔ 「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0※の実現」

※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿



出典：スマート農業の展開について（農林水産省）

## 取り組むべきテーマ⑦ 自治振興、市民活動

- ・各町内においては、人口減少、核家族化による世帯数の増加、高齢者世帯の増加、外国人市民の増加などにより、区長や役員の負担が増加している。
- ・町内会や自治振興会役員の担い手が不足しており、組織の持続化に不安が出ている。
- ・市民と行政の協働によるまちづくりの推進と、持続可能な自治活動を推進するために、区長が担う業務や自治振興会が実施する事業の再整理を検討する必要がある。
- ・市民のウェルビーイングの観点から、自分らしくいられる「居場所」と自分の可能性を引き出し表現できる「舞台」について、特に若年層をターゲットに生涯学習やスポーツ交流、まちづくりにおいても検討する必要がある。



## 基本構想における将来像について

### ① ウェルビーイングとの関連性について

#### 1 ウェルビーイングとは

ウェルビーイングとは、人の幸福、健康、福祉などを広範に包含する概念であります。この概念は、WHO（世界保健機関）の憲章において、「健康とは、身体的・精神的・社会的にウェルビーイングな状態」と定義され、広く認知されました。その後、人々や国などのウェルビーイングについての数値化が進み、国連では2年毎に「世界幸福度報告」を行っており、2022年の結果発表で日本は、146国中54位となっている。

#### 2 背景

ウェルビーイングを国や地域づくりの政策に取り入れる動きは、1970年代のブータンにおける人々の幸せを重視する開発指針（GNH）に始まり、最近ではニュージーランドの「幸福予算」や、イギリスにおける国民の幸福度測定の取組みなど、各国で広まっています。

日本でも、2021年6月に公表された「経済財政運営と改革の基本方針2021（骨太の方針）」において、政府の各種基本計画等に、ウェルビーイングに関するKPI（重要業績評価指標）を設定することが示されました。さらに、地方のデジタル化を進めることで地域課題を解決し、地方と都市の双方を豊かにすることを目指す「デジタル田園都市国家構想」においても、ウェルビーイングの向上を通じて、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すとしています。

#### 3 本市におけるウェルビーイングの重要性

4・5月に実施した市民意識調査の結果において、ウェルビーイングの観点から、自分らしくいられる「居場所」と自分の可能性を引き出し表現できる「舞台」について、それぞれの実感度合いと定住意思を分析したところ、「居場所」と「舞台」に関する実感度が高いほど、「住み続けたい」と回答する割合が高くなっていることを確認することができました。

本市では、改定における基本的な視点として示した、「住んでいる人が誇りを持ち、住み続けたい、帰ってきたいと思えるふるさとづくり」において、人口減少対策を進める上で、特に重要な「住み続けたい」と思えるふるさとづくりを進めていく必要があります。

そこで、将来のまちづくりの規範となる市総合計画の改定を進める中で、市の将来目標と、それを達成するための基本的方向として、「市民1人ひとりが幸せを実感できるふるさとづくり」、「市民のウェルビーイング」を総合計画の基本的な理念に据えていきたいと考えています。

## ②将来像の考え方について

将来像は、本市が目指す姿を市内外に示すものであり、今後のまちづくりの象徴となるものです。人口減少、少子高齢化が進展する中で、2040年までの概ね20年間に社会・経済情勢や人々のライフスタイルも大きく変化することが推測されます。

そこで、本市が抱える多種多様な課題を総合的に勘案するとともに、前総合計画のもと、計画的に取り組んできたこれまでのまちづくりの成果を引き継ぎながら、本市のまちづくりの第2ステージに向けて、さらに発展させていくという視点に立ち、将来像を検討していきます。

私たち市民は、「ずっと越前市に住み続けたい」という愛着と誇りを持ち続け、市外の方々からは、「いつかは越前市に行ってみたい、住んでみたい」と憧れをもたれる「ふるさと」を築いていきたいと考えています。

そのために、本市の多様な才能を持った人々、四季折々を彩る美しい自然、歴史や風土に根差した景観や文化、風習、祭りや郷土料理、そして、先端産業や伝統産業までモノづくり、越前市の誇るべき「宝」を市民一人ひとりが認識し、磨き上げ、魅力あるものにし、全国に、そして世界に発信していくことが必要です。

新しい文化を創造し、自然と調和し、発展するまちづくりを、市民・団体・企業・行政が一体となって取り組み、未来の子どもたちのために引き継いでいきます。

また、住んでいる人が実感できる幸福（ウェルビーイング）を最大化できるように、それぞれがつながり、自分らしく居られる「居場所」と自分の可能性を引き出し表現できる「舞台」という2つの場を設け、誰もが幸福を実感できるまちを目指していきます。

2040年に向けた越前市の将来像として、次のフレーズをベースに検討したいと考えています。

- ・ずっと越前市に住み続けたい。ここに住んで良かった。
- ・いつかは越前市に行ってみたい、住んでみたい。
- ・越前市が誇るべき「宝」を大切にする。
- ・新しい文化を創造し、自然と調和し、発展するまちづくり
- ・市民・団体・企業・行政が一体となって取り組む。
- ・未来の子どもたちのために、越前市の宝を引き継ぐ。
- ・暮らす人、働く人、訪れる人がウェルビーイングを実感できる。
- ・多様な人々が集える。
- ・誰もが夢を持ち、その夢を実現できる。
- ・住んでいる人が実感できる幸福（ウェルビーイング）
- ・自分らしく居られる「居場所」づくり

- ・自分の可能性を引き出し表現できる「舞台」づくり
- ・誰もが幸福を実感できるまちづくり

## 市民の皆さんからの声

4・5月に実施した市民意識調査や、地域ミーティングや高校生や子育て世代の皆さんとのワークショップなどで、新たなまちづくりをイメージするキャッチフレーズを募集しました。その中での、主なものをご紹介します。

- ・住みたくなるまち
- ・誰もが幸せを感じるまち
- ・治安のいいまち
- ・自然を活かしたまち
- ・子育て環境日本一
- ・やすらぎのあるまち
- ・人にやさしくなれるまち
- ・チャレンジできるまち
- ・若者が住みたくなるまち
- ・子供たちがこの地域で暮らし生活していけるまち
- ・ずっと住み続けたい、ここで生活したいと思えるまち
- ・住みやすい
- ・活気のあるまち
- ・災害に強いまち
- ・歴史、文化、自然などの宝のあるまち
- ・伝統や文化を大切にするまち。
- ・人とたくさん関われる楽しいまち
- ・老人も若者も笑顔で住めるまち
- ・持続可能なまち
- ・弱者にやさしいまち

## 越前市総合計画の改定に向けた市民意識調査について

### 1. 調査の概要

#### 1.1. 調査の目的

本市では、概ね20年後の2040年の目指すべき将来像を描き、そこを見据えた総合計画の改定を行う。この調査では、特にウェルビーイングの観点による設問や、現在の施策の満足度、本市の将来像について調査し、新しい総合計画に反映させる。

#### 1.2. 調査の方法

- (1) 調査地域 : 越前市全域
- (2) 調査対象 : 令和4年4月1日現在 満18歳以上の男女
- (3) 標本数 : 4,000人
- (4) 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査実施期間 : 令和4年4月22日から令和4年6月8日
- (7) 調査実施機関 : 越前市企画部政策推進課

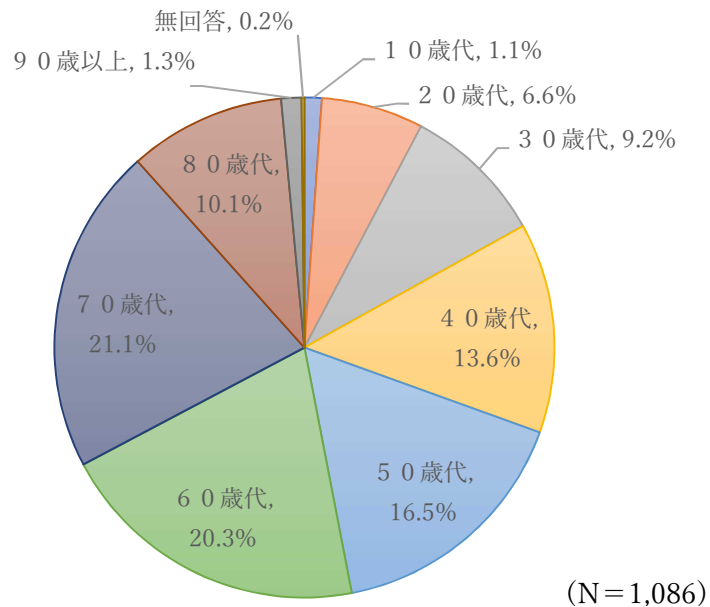
#### 1.3. 回収結果

有効回収数 1,086件 (回収率 27.2%)

## 2. 回答者の属性

### 2.1. 年齢

問1 あなたの年齢は？



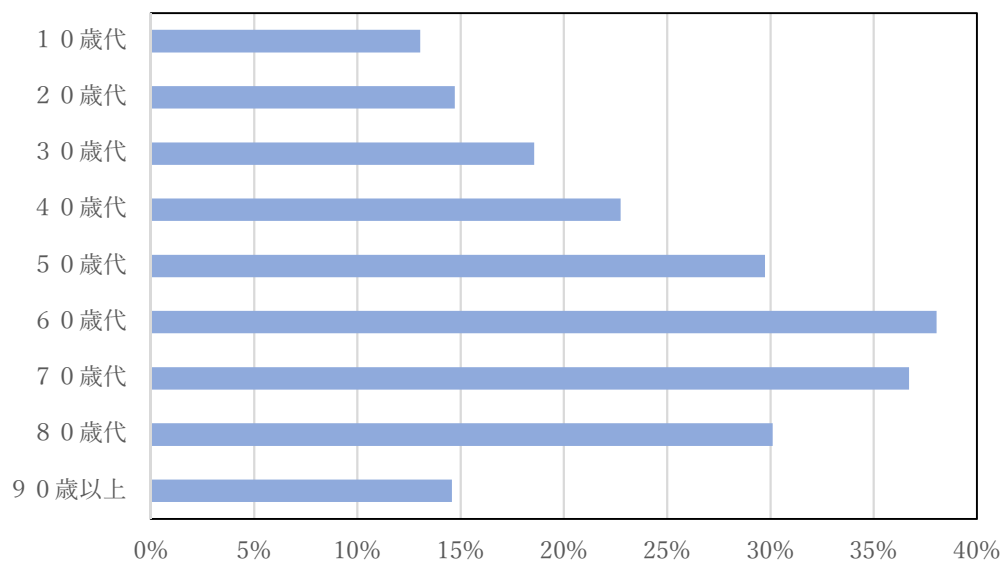
(人)

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
12	75	102	148	178	218
70歳代	80歳代	90歳以上	無回答	合計	
228	109	14	2	1,086	

※10歳代は18歳以上

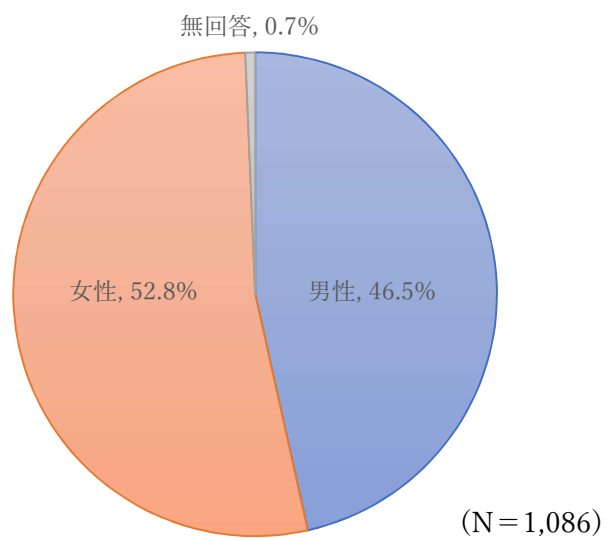
年代ごとの回答率

(N=1,084)



## 2.2. 性別

### 問2 あなたの性別は？



(人)

男性	女性	無回答	合計
505	574	7	1,086

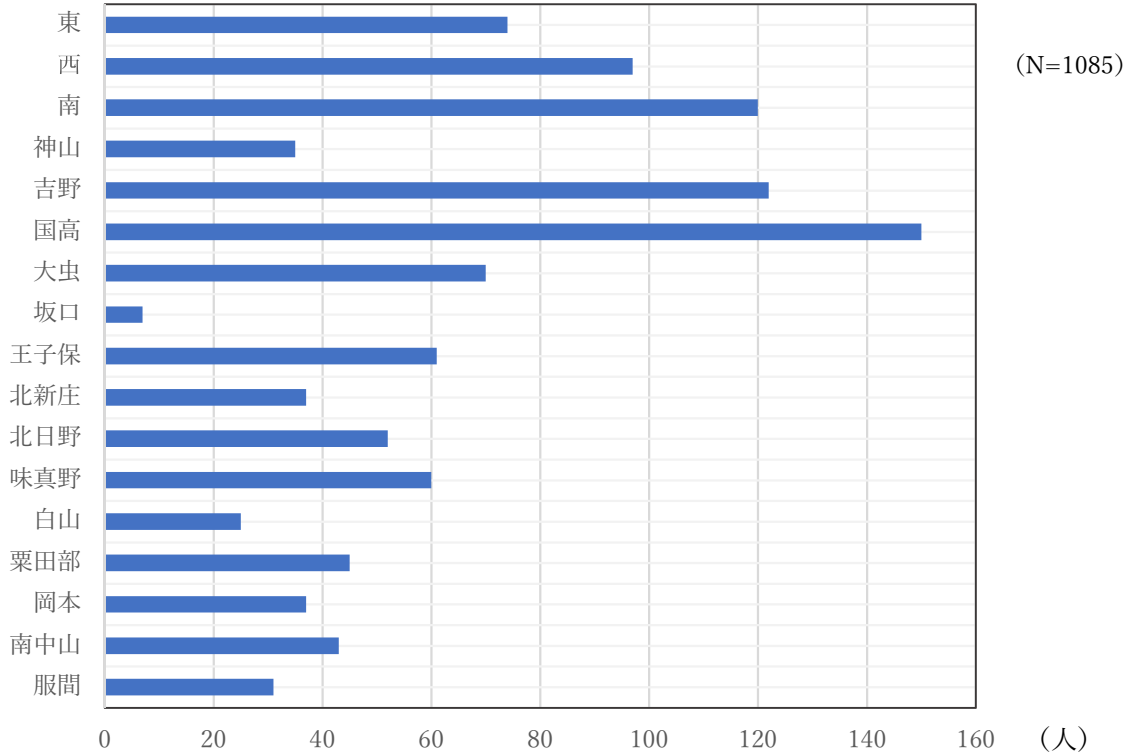


2.3. 地区

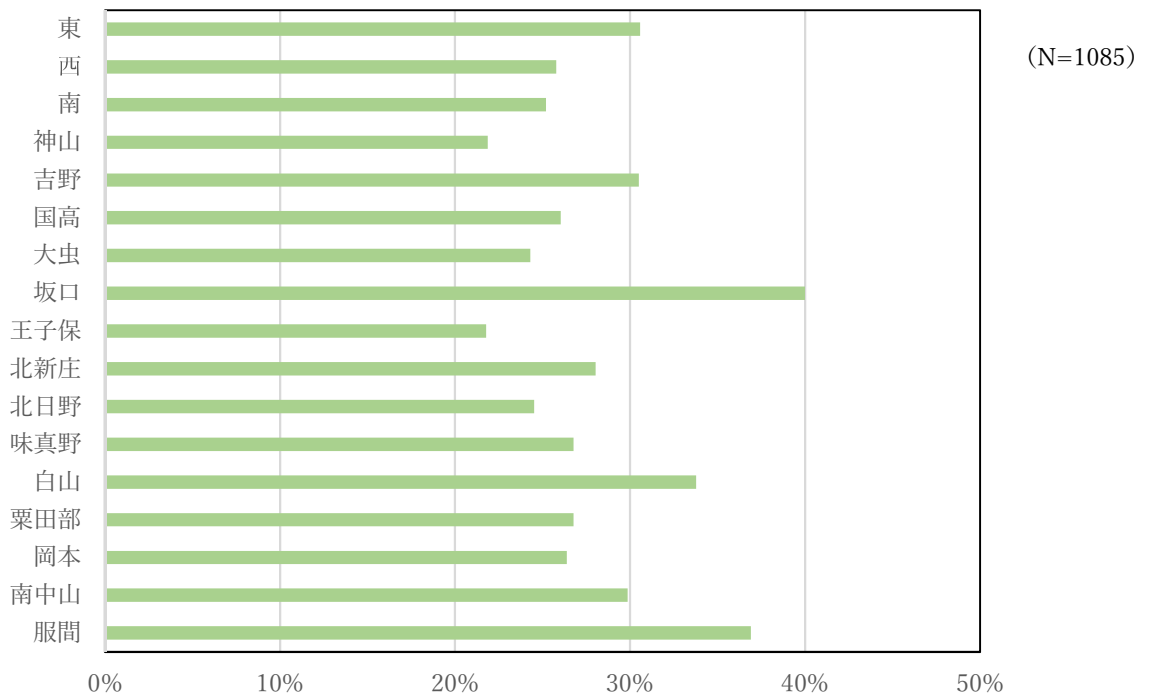
問3 あなたの住んでいる地区は？

東	西	南	神山	吉野	国高	大虫	坂口	王子保	北新庄
74	99	121	35	122	151	70	8	63	38
北日野	味真野	白山	粟田部	岡本	南中山	服間	無回答	合計	
52	62	25	45	38	43	31	47	1085	

各地区の回答数



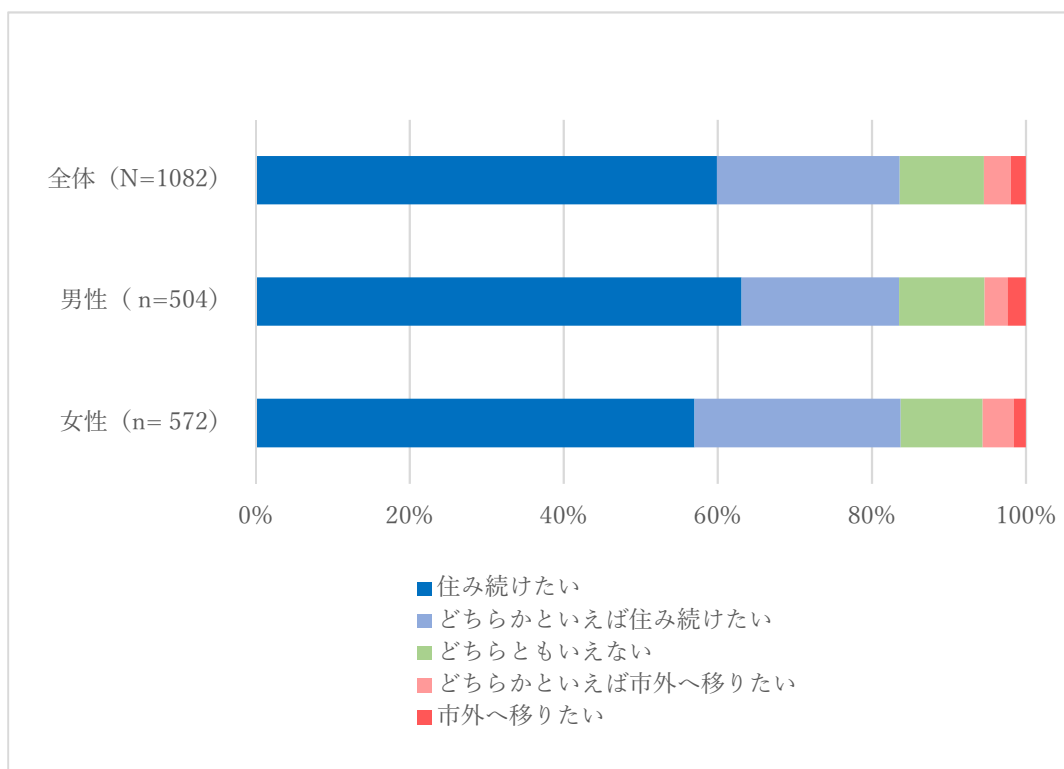
各地区の回答率



### 3. 今後の居住意向

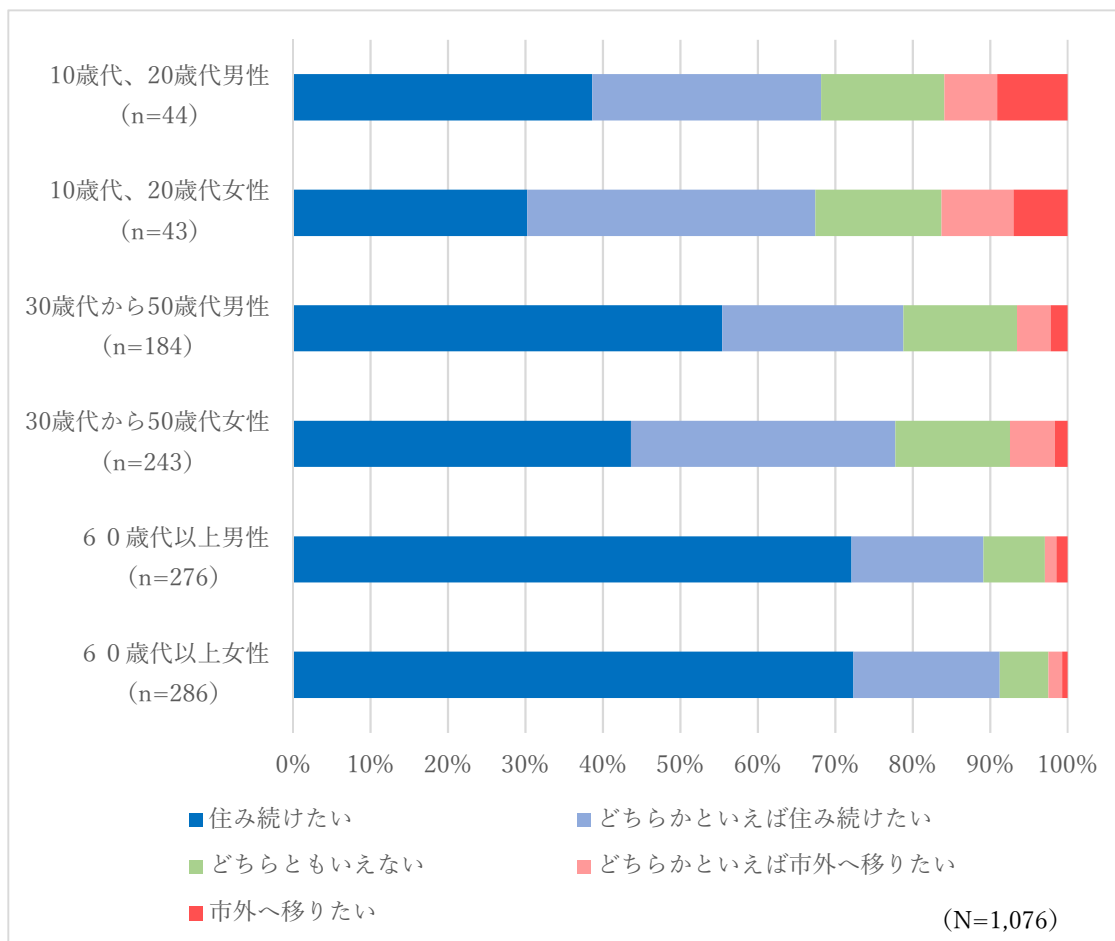
#### 問4 あなたは越前市に今後も住みたいと思いますか？（全体、男女別）

- ・全体では住み続けたいが60.1%と最も高い、どちらかといえば住み続けたいと合わせると83.8%と居住意向は8割を超えている。
- ・男女別では、住み続けたいが男性63.3%、女性57.1%と差があるが、どちらかといえば住み続けたいと合わせると男性83.5%、女性83.8%とほぼかわらない。
- ・市外へ移りたい、どちらかといえば市外へ移りたいの合計は、全体5.5%、男性5.4%、女性5.5%とほぼ同じ率である。



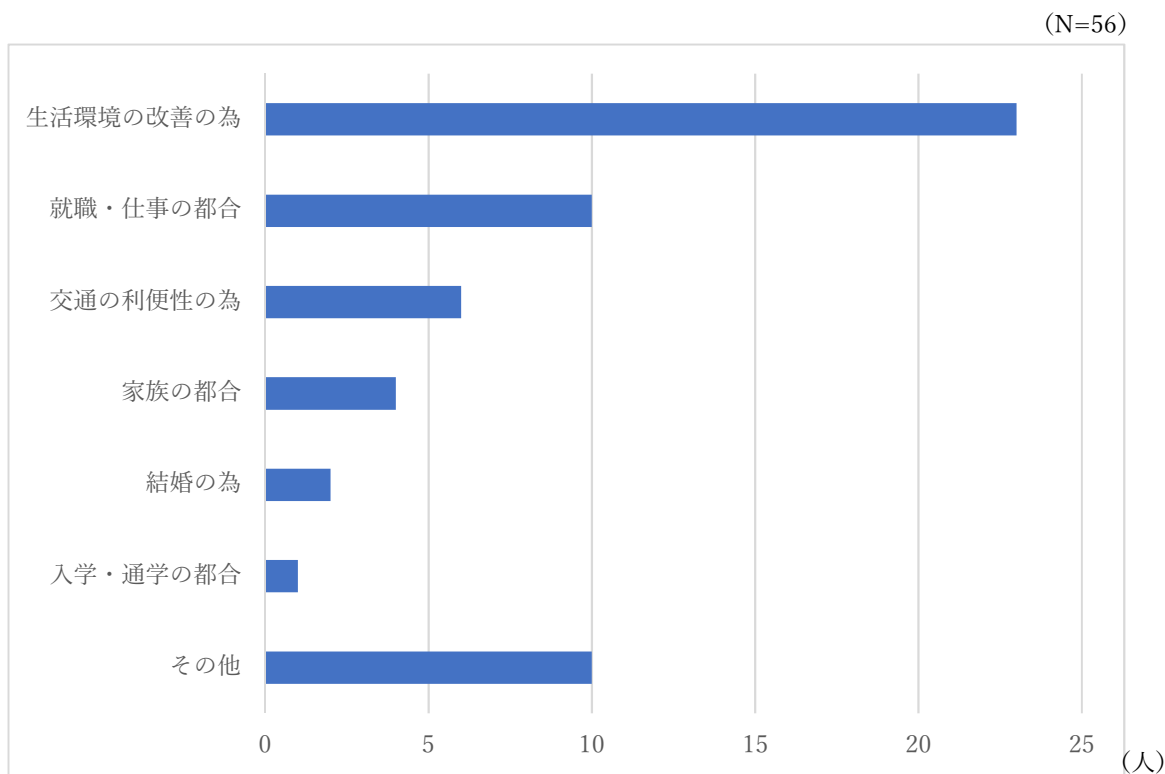
#### 問4 あなたは越前市に今後も住みたいと思いますか？（年代別、男女別）

- ・男性女性ともに10歳代から20歳代では市外への転出希望が多い傾向にある。
- ・年代があがると、住みたい、どちらかといえば住みたいの合計は増加し、市外へ移りたい、どちらかといえば市外へ移りたいの合計は減少する。



## 問5 市外へ移りたい理由は何ですか？

- ・市外へ移りたい理由として1番多いのは、生活環境改善の為、2番目就職・仕事の都合、3番目交通の利便性だった。
- ・その他としては、買い物するところがない。雪がないところへ、老人の住みやすい町になどがあった。



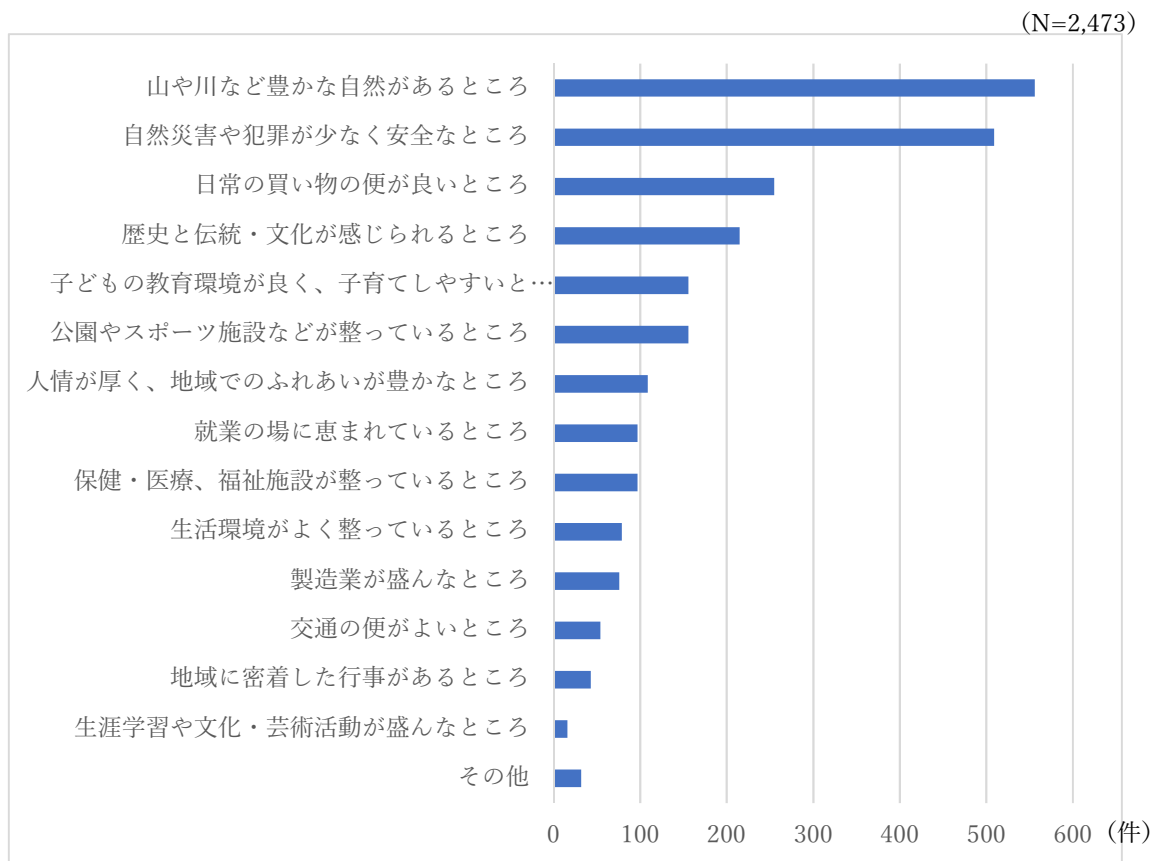
### その他

- ・雪の降らないところへ。
- ・買い物するところがない。商業施設が少ないので面白くない。
- ・老人の住みやすい町へ。
- ・景観が悪い、美化が悪い。

など

問6 越前市に住んでいて良いところ・好きなのところは何か？（○は3つまで）

- ・1番多かったのは、山や川など豊かな自然があるところ、2番目は自然災害や犯罪が少なく安全なところ、3番目は日常の買い物の便が良いところであった。
- ・歴史と伝統・文化、子どもの教育・子育て環境、公園やスポーツ施設の充実が評価されている。



その他

- ・生まれ育った所だから、慣れ親しんだ土地だから。
- ・家族や知人がいる。
- ・静かでいい。
- ・渋滞が少ない。
- ・美味しい魚を安く買える。

など

## 年代ごとの選択件数の順位

### ・回答数上位からの順位

・20代、30代の子育て世代では、公園やスポーツ施設などが整っているところが上位にきているが、全体的に各年代の上位は同じような傾向がある。越前市に住んでいて良いところ・好きなところのイメージは、各世代で共通している。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
山や川など豊かな自然があるところ	1	1	1	2	1	1	2	2	1	2
自然災害や犯罪が少なく安全なところ	2	2	3	5	2	2	1	1	2	1
日常の買い物の便が良いところ	3	3	4	3	5	3	4	3	3	3
歴史と伝統・文化が感じられるところ	4	4	8	7	6	4	3	4	4	5
子どもの教育環境が良く、子育てしやすいところ	5	7	5	4	3	5	5	10	9	
公園やスポーツ施設などが整っているところ	5	4	2	1	4	7	9	7	9	
人情が厚く、地域でのふれあいが豊かなところ	7	4	10	11	10	9	6	5	5	5
就業の場に恵まれているところ	8		6	7	8	6	9	8	8	
保健・医療、福祉施設が整っているところ	8	7	11	10	7	11	7	6	6	4
生活環境がよく整っているところ	10		7	6	9	10	8	12	12	5
製造業が盛んなところ	11	7	8	7	11	8	9	11	7	
交通の便がよいところ	12		11	14	13	12	13	8	9	5
地域に密着した行事があるところ	13	7	14	11	13	13	12	13	12	
生涯学習や文化・芸術活動が盛んなところ	15				15	14	15	14	14	
その他	14		11	11	11	14	14	14	15	

(N=2,473)

1位  2位  3位 

### ・回答数下位からの順位

・若い世代では、保健・医療、福祉施設が整っているところや地域に密着した行事があるところ、全世代では、生涯学習や文化・芸術活動が盛んなところが、越前市に住んでいて良いところ・好きなところ選ばれなかった。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
山や川など豊かな自然があるところ	15	10	14	13	15	15	14	14	15	7
自然災害や犯罪が少なく安全なところ	14	9	12	10	14	14	15	15	14	8
日常の買い物の便が良いところ	13	8	11	12	11	13	12	13	13	6
歴史と伝統・文化が感じられるところ	12	5	6	6	10	12	13	12	12	1
子どもの教育環境が良く、子育てしやすいところ	10	1	10	11	13	11	11	6	5	0
公園やスポーツ施設などが整っているところ	10	5	13	14	12	9	5	9	5	0
人情が厚く、地域でのふれあいが豊かなところ	9	5	5	2	6	7	10	11	11	1
就業の場に恵まれているところ	7	0	9	6	8	10	5	7	8	0
保健・医療、福祉施設が整っているところ	7	1	2	5	9	5	9	10	10	5
生活環境がよく整っているところ	6	0	8	9	7	6	8	4	3	1
製造業が盛んなところ	5	1	6	6	4	8	5	5	9	0
交通の便がよいところ	4	0	2	1	2	4	3	7	5	1
地域に密着した行事があるところ	3	1	1	2	2	3	4	3	3	0
生涯学習や文化・芸術活動が盛んなところ	1	0	0	0	1	1	1	1	2	0
その他	2	0	2	2	4	1	2	1	1	0

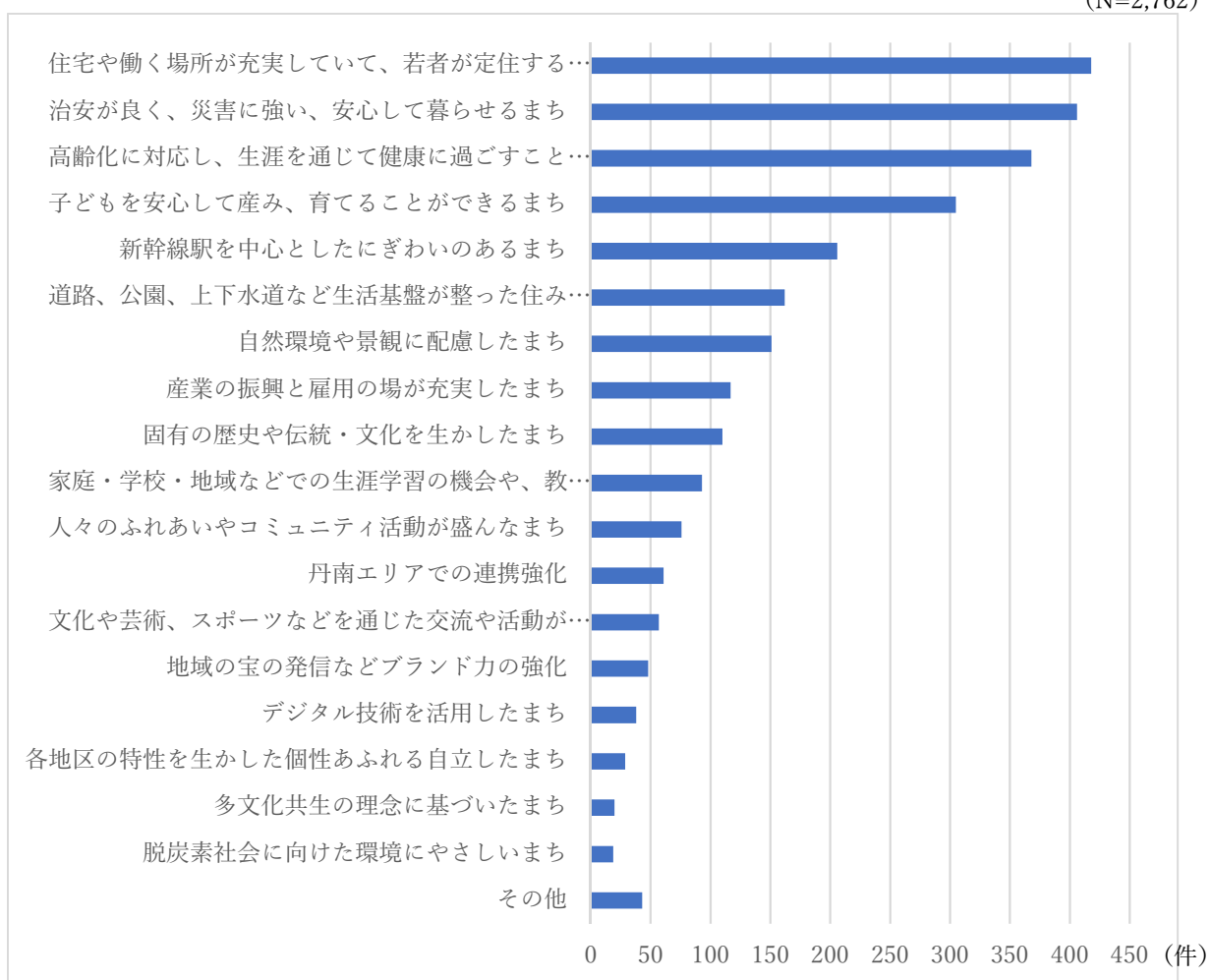
(N=2,473)

1位  2位  3位 

問7 今後、越前市はどんなところに力を入れたまちづくりをするべきだと思いますか？(○は3つまで)

①住宅や働く場所が充実していて、若者が定住する魅力あるまち、②治安が良く、災害に強い、安心して暮らせる③高齢化に対応し、生涯を通じて健康に過ごすことができるまち④子どもを安心して産み、育てることができるまちなどが上位にきている。

(N=2,762)



その他

- ・大規模商業施設の誘致。
- ・交通体系の強化。
- ・専門書がたくさんある書店を駅前に。
- ・農業に着目してほしい。
- ・障がい者が住みやすいまち。

など

## 年代ごとの選択件数の順位

### 回答上位からの順番

- ・住宅や働く場所が充実していて、若者が定住する魅力あるまちはどの年代でも上位となっている。
- ・高齢化に対応し、生涯を通じて健康に過ごすことができるまちは年齢が高くなるほど上位にくる。子どもを安心して産み、育てることができるまち、新幹線駅を中心としたにぎわいのあるまちは、若い世代で上位となっている。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
住宅や働く場所が充実していて、若者が定住する魅力あるまち	1	1	1	2	1	1	3	2	3	3
治安が良く、災害に強い、安心して暮らせるまち	2	2	8	4	2	1	1	1	2	1
高齢化に対応し、生涯を通じて健康に過ごすことができるまち	3	5	5	6	4	3	1	3	1	1
子どもを安心して産み、育てることができるまち	4	5	1	1	2	4	4	4	4	4
新幹線駅を中心としたにぎわいのあるまち	5	2	3	3	5	5	6	5		
道路、公園、上下水道など生活基盤が整った住みよいまち	6	7	4	5	6	7	7	8	9	5
自然環境や景観に配慮したまち	7	2	6	9	7	9	5	6	5	5
産業の振興と雇用の場が充実したまち	8	7	9	11	8	8	9	7	9	
固有の歴史や伝統・文化を生かしたまち	9	7	14	11	9	6	8	9	7	8
家庭・学校・地域などでの生涯学習の機会や、教育環境の充実したまち	10		6	7	9	10	10	11	11	
人々のふれあいやコミュニティ活動が盛んなまち	11	7	13	10	13	15	11	13	5	8
丹南エリアでの連携強化	12			11	15	15	12	9	11	
文化や芸術、スポーツなどを通じた交流や活動が盛んなまち	13	7	15	16	9	11	15	12	13	
地域の宝の発信などブランド力の強化	14		9	15	16	13	14	15	15	5
デジタル技術を活用したまち	16		11	8	14	13	19	18	17	
各地区の特性を生かした個性あふれる自立したまち	17		15		17	19	13	14	14	
多文化共生の理念に基づいたまち	18	7	15	17	18	17	18	17	8	
脱炭素社会に向けた環境にやさしいまち	19		15	14	18	18	17	19	15	
その他	15		11	17	12	11	16	16	17	

1位 2位 3位 (N=2,759)

### 回答下位からの順番

- ・脱炭素社会に向けた環境にやさしいまち、多文化共生の理念に基づいたまちはどの年代でも下位となっている。
- ・各地区の特性を生かした個性あふれる自立したまちは50代以下で特に下位となっている。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
住宅や働く場所が充実していて、若者が定住する魅力あるまち	19	12	17	10	19	18	17	18	16	7
治安が良く、災害に強い、安心して暮らせるまち	18	9	11	6	17	18	18	19	17	8
高齢化に対応し、生涯を通じて健康に過ごすことができるまち	17	7	14	17	16	17	18	17	18	8
子どもを安心して産み、育てることができるまち	16	7	17	13	17	16	16	16	15	6
新幹線駅を中心としたにぎわいのあるまち	15	9	16	18	15	15	14	15	11	0
道路、公園、上下水道など生活基盤が整った住みよいまち	14	1	15	12	14	13	13	12	9	3
自然環境や景観に配慮したまち	13	9	12	15	13	11	15	14	13	3
産業の振興と雇用の場が充実したまち	12	1	9	3	12	12	11	13	9	0
固有の歴史や伝統・文化を生かしたまち	11	1	5	6	9	14	12	10	12	1
家庭・学校・地域などでの生涯学習の機会や、教育環境の充実したまち	10	0	12	14	9	10	10	9	7	0
人々のふれあいやコミュニティ活動が盛んなまち	9	1	6	9	7	4	9	7	13	1
丹南エリアでの連携強化	8	0	0	5	5	4	8	10	7	0
文化や芸術、スポーツなどを通じた交流や活動が盛んなまち	7	1	1	11	9	8	5	8	6	0
地域の宝の発信などブランド力の強化	6	0	9	16	4	6	6	5	3	3
デジタル技術を活用したまち	4	0	7	1	6	6	1	2	1	0
各地区の特性を生かした個性あふれる自立したまち	3	0	1	4	3	1	7	6	5	0
多文化共生の理念に基づいたまち	2	1	1	6	1	3	2	3	0	0
脱炭素社会に向けた環境にやさしいまち	1	0	1	1	1	2	3	1	3	0
その他	5	0	7	1	8	8	4	4	1	0

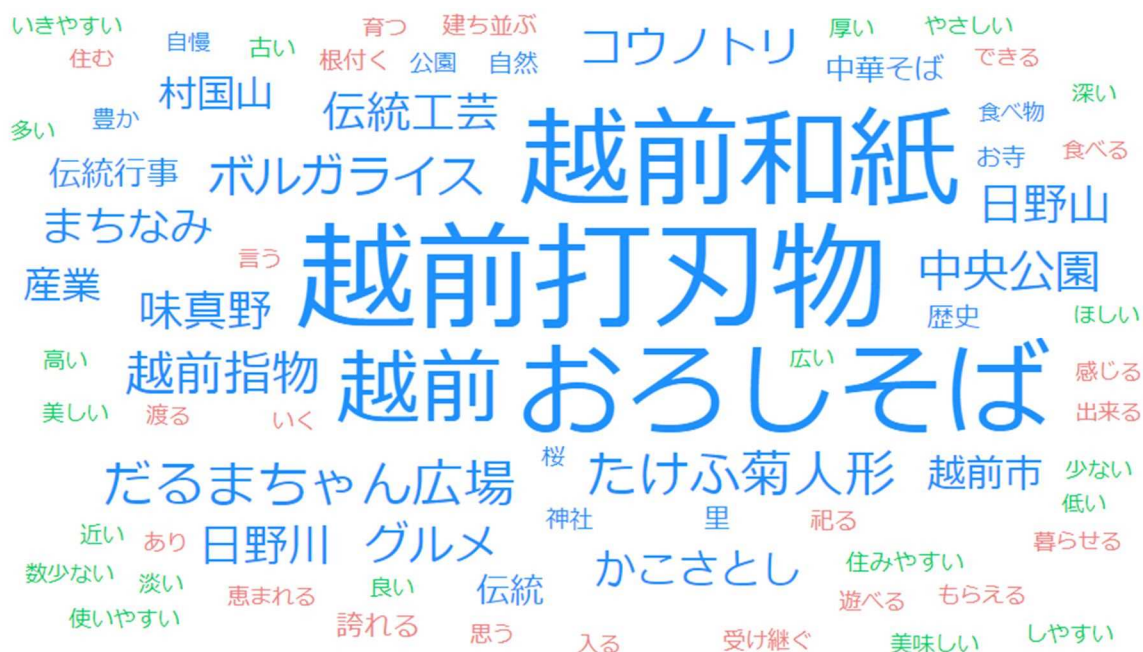
1位 2位 3位 (N=2,759)



問 8 越前市の誇れる地域の宝、市外県外の人に自慢できるものは何だと思いますか？

(自由記述・複数回答可)

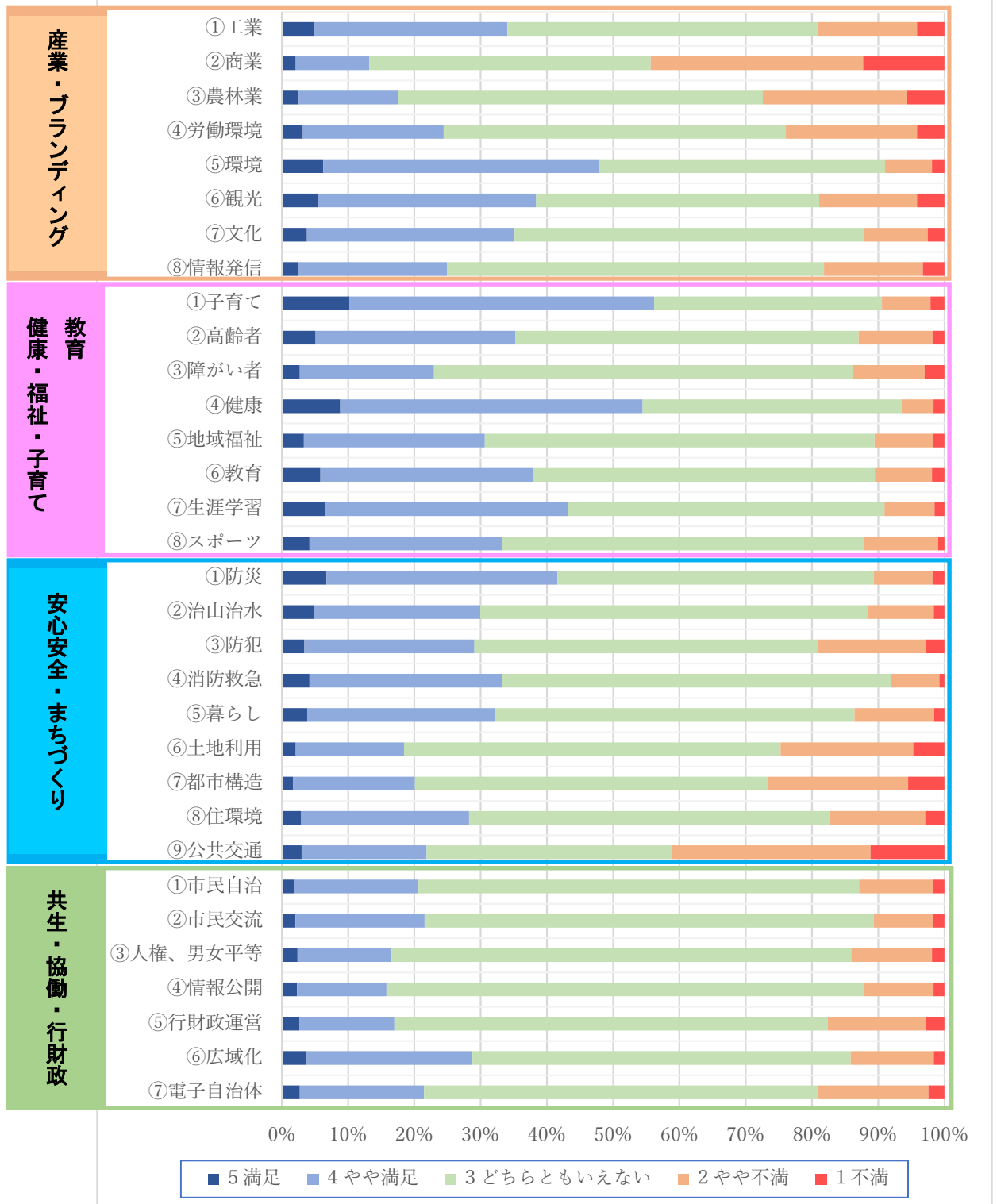
AIによる分析で頻出する単語を抽出した下図を見ると、「越前打刃物」「越前和紙」「越前指物」といった伝統工芸、「越前おろしそば」「ボルガライス」「中華そば」といった食文化、「日野山」「村国山」「コウノトリ」といった自然、「まちなみ」「神社」「お寺」といった歴史、「だるまちゃん広場」「たけふ菊人形」などが多く見られた。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> ) による分析

## 問9 施策の満足度

- ・子育て、健康、環境、生涯学習、防災については満足度が高い、満足度が低いのは商業、公共交通となっている。
- ・商業については、最寄品の購入は便利であるが、いくつかの店舗を回って比較検討する買回り品の購入について不満がある。

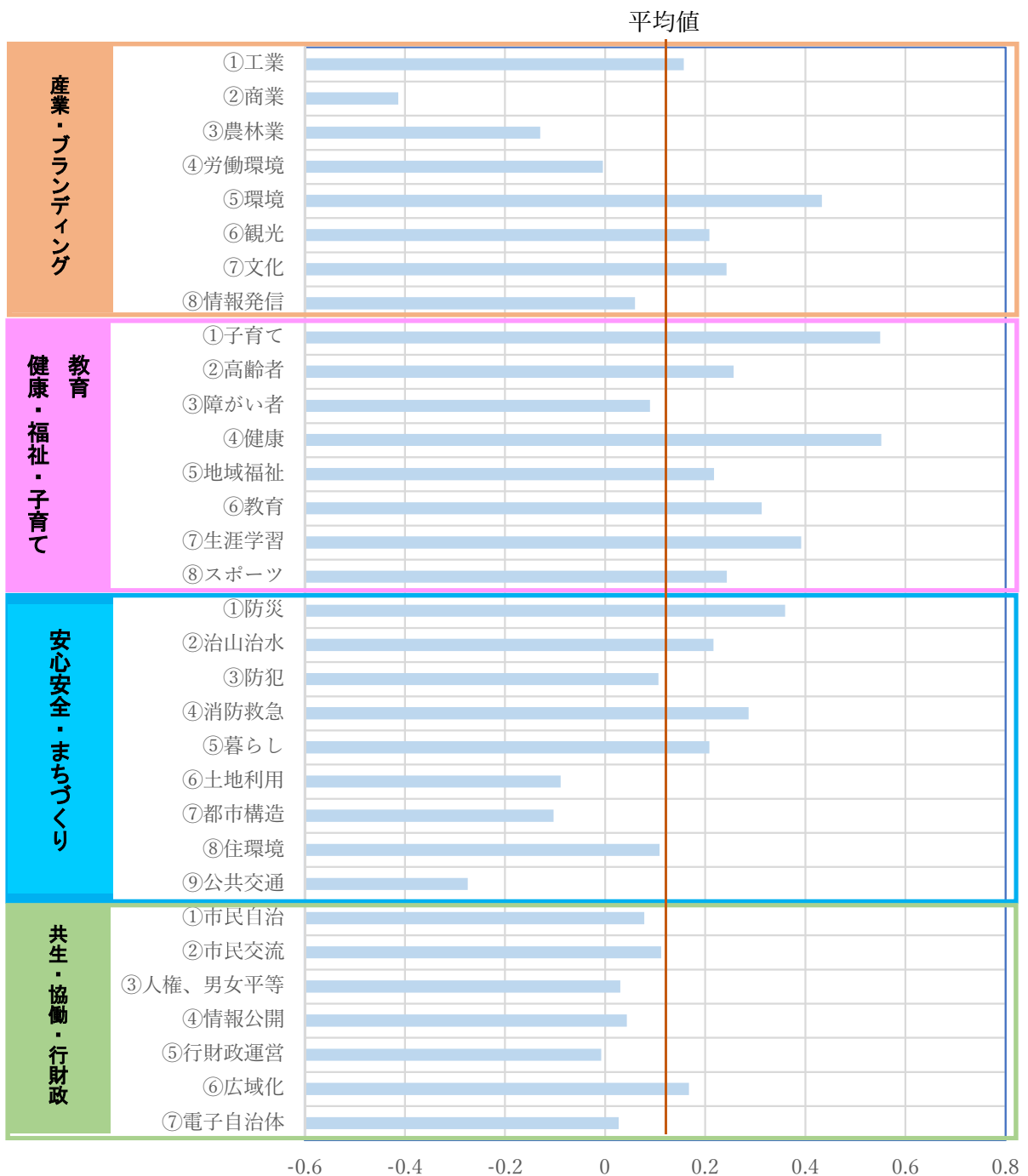


満足度：ウェイト値による集計

満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とし、それぞれの件数とかけ、平均を出した。

計算式 「満足」件数×2点+「やや満足」件数×1点+「どちらともいえない」件数×0点+「やや不満」件数×-1点+「不満」件数×-2点)÷(有効回答件数)

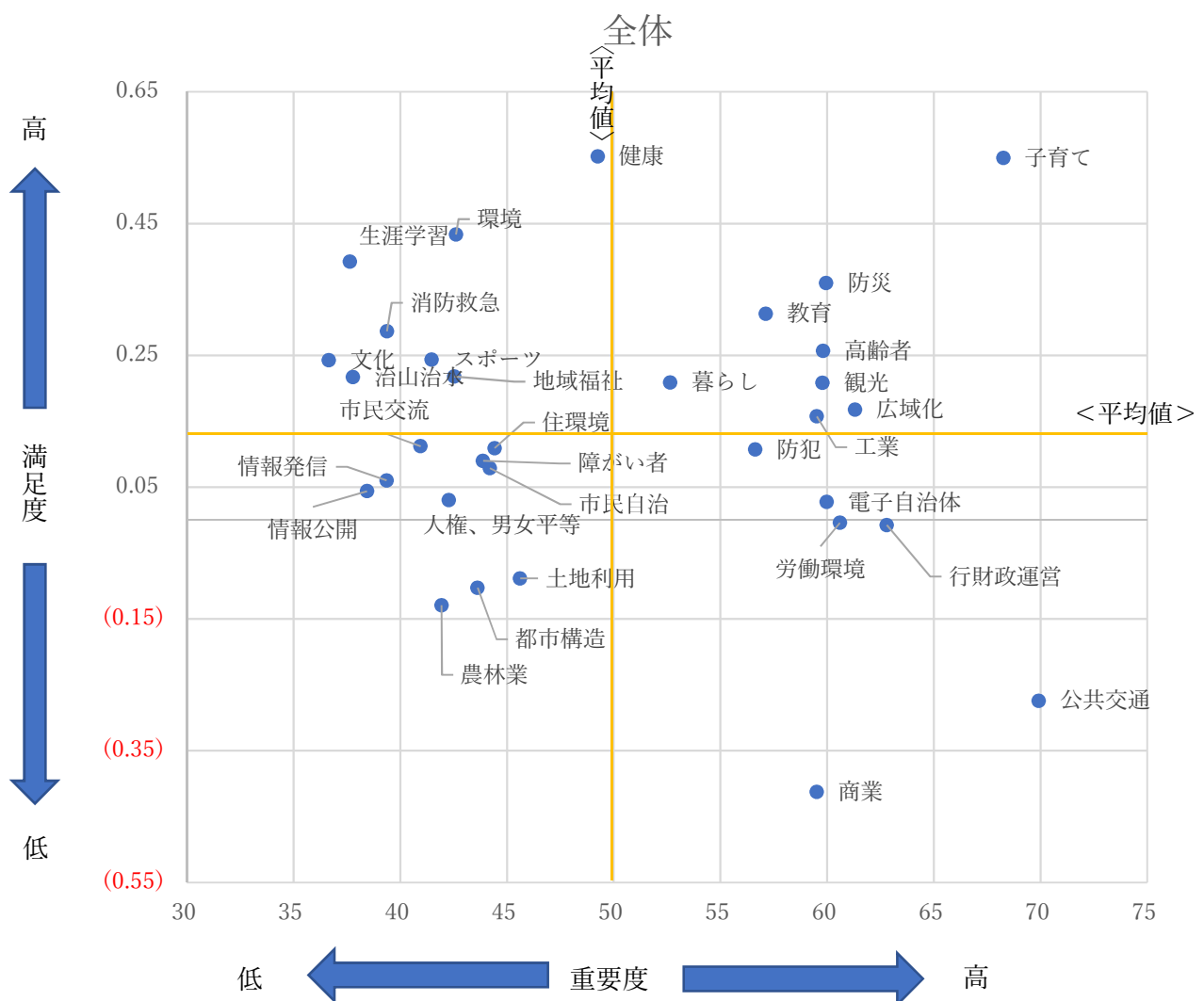
- ・ウェイト値による集計により、各分野の満足度が分かりやすくなった。
- ・満足度が高いのは、子育て、健康、環境、生涯学習、防災、教育と同じ傾向。
- ・人権、男女平等、情報公開、行財政運営は前ページの表より評価が高くなるのは、満足度が低くとも、不満度も低いため。



## 重要度と満足度の相関図

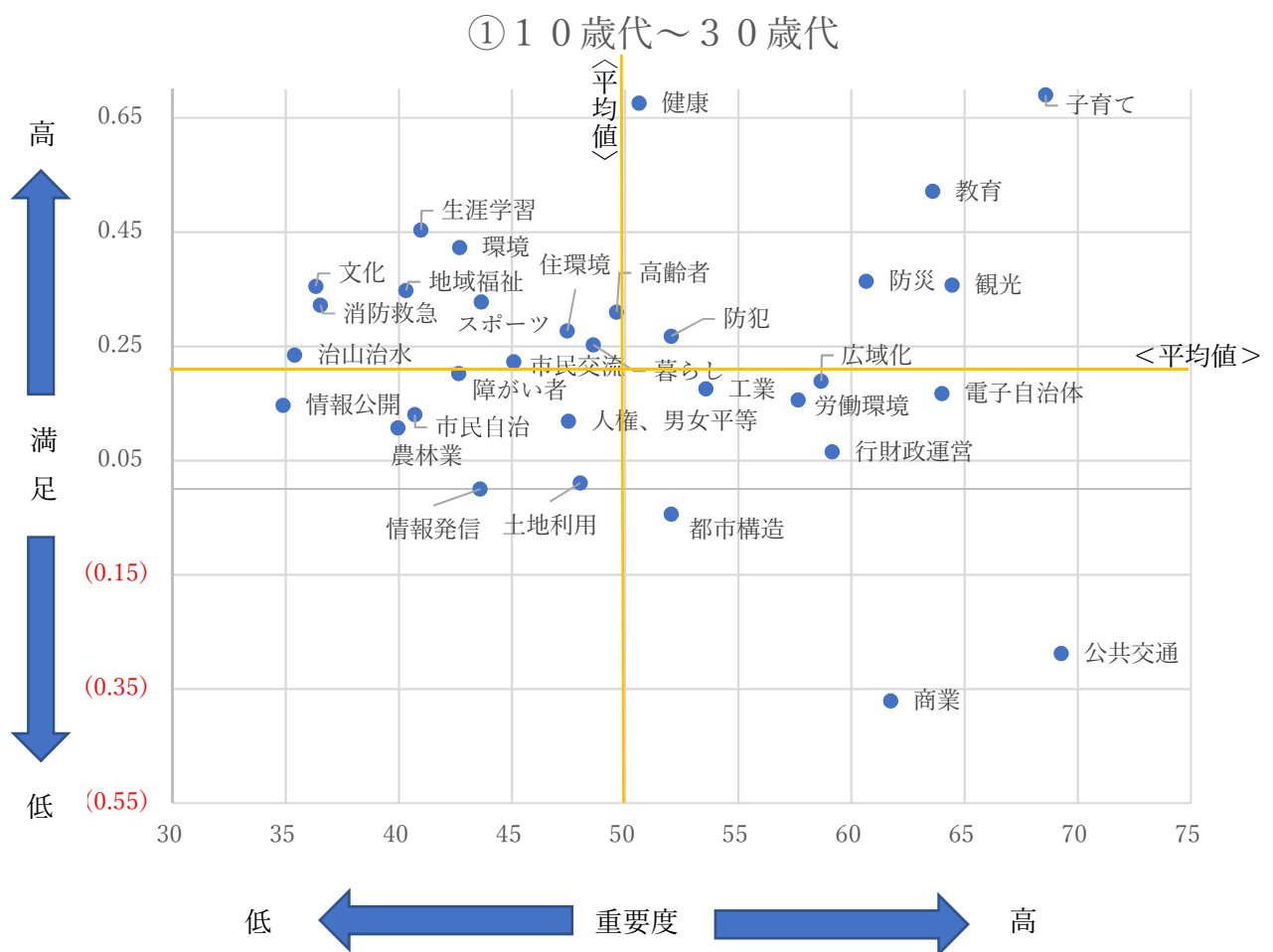
Y軸にウェイト値を用いた満足度、X軸に重要度を偏差値で示した。オレンジのラインは平均値を示す。

- ・右上のグループは、市民の重要度も満足度も高く、市の強みとなる政策といえる特に子育ては、重要度が高く、満足度も高い。
- ・右下のグループは、重要度が高いが満足度が低いグループとなる。

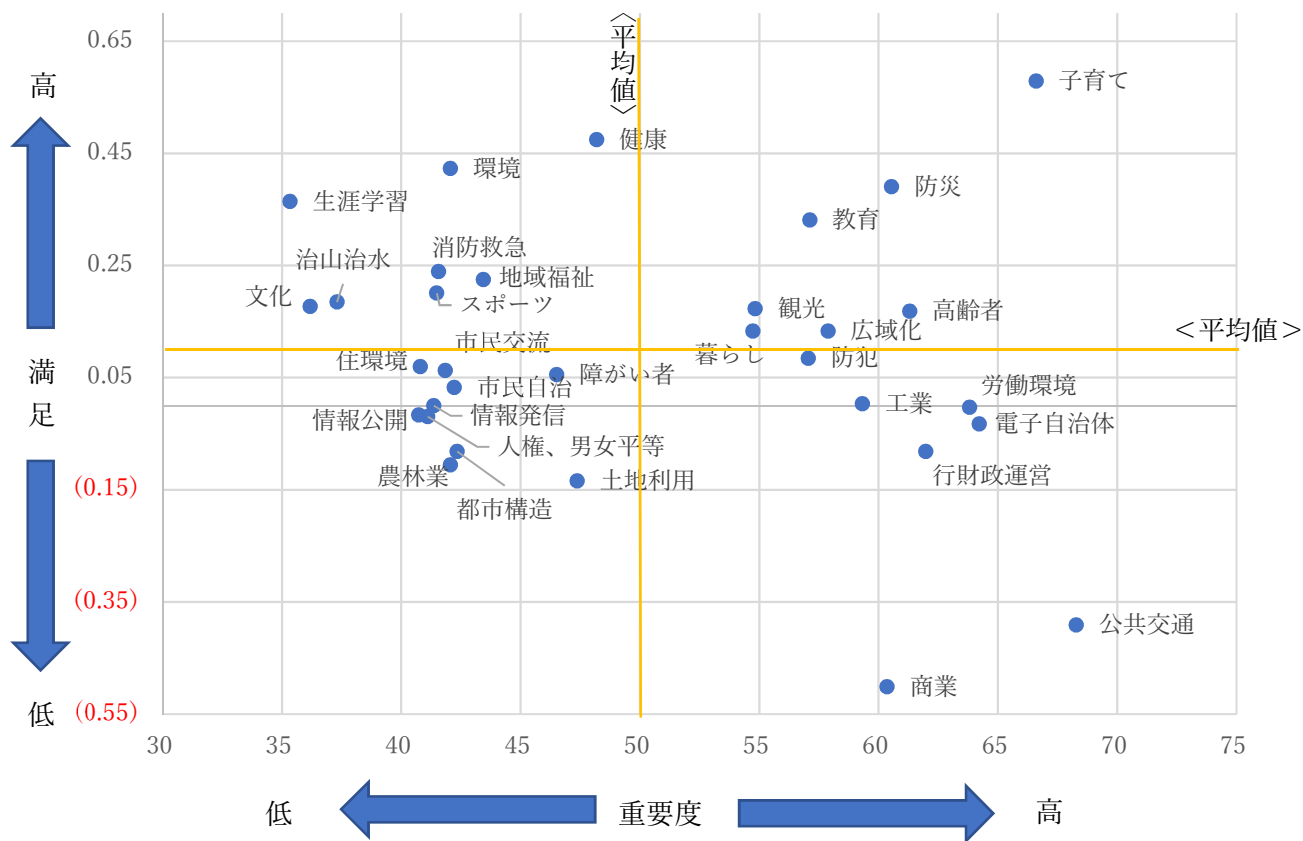


## 重要度と満足度 年代別

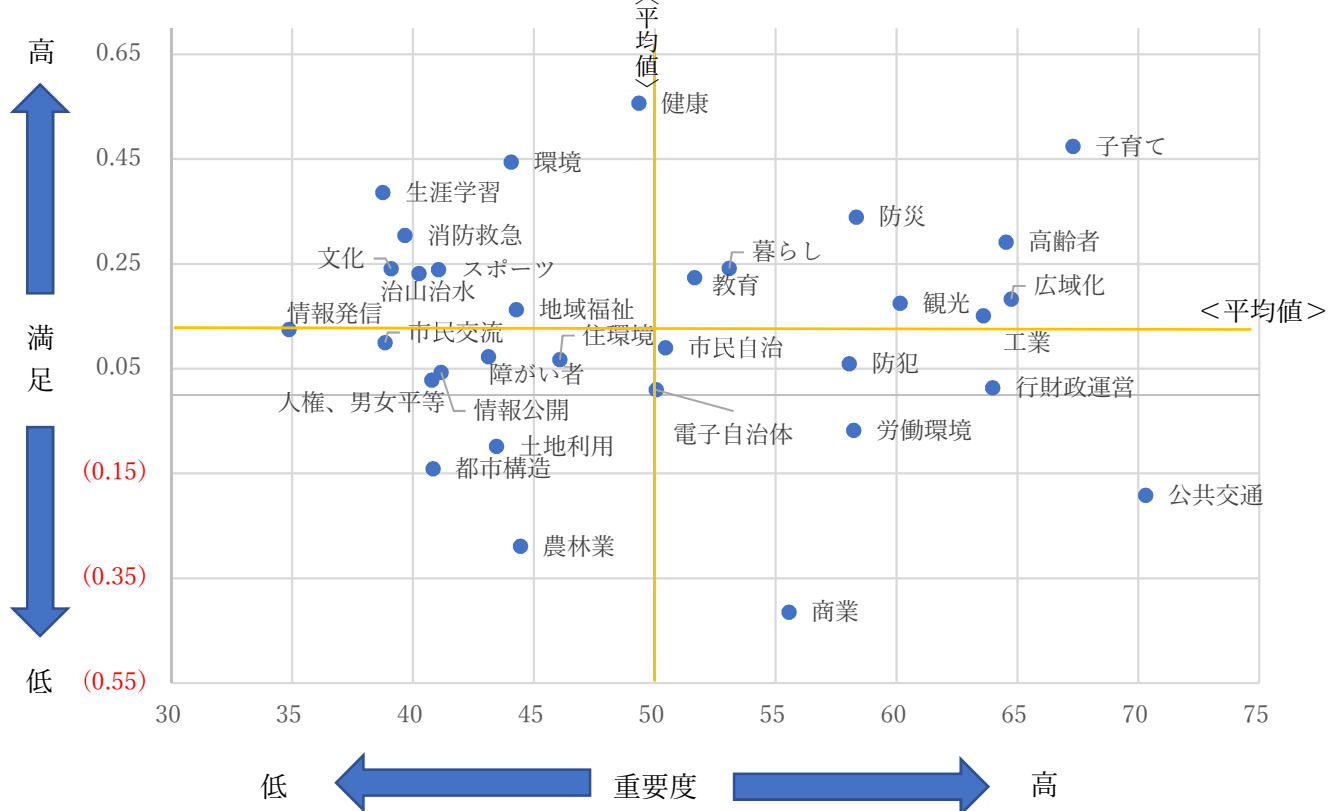
- ・どの年代においても、子育て及び健康は満足度が高く、公共交通及び商業は満足度が低くなった。
- ・公共交通については、40歳代～50歳代、10歳代～30歳代、60歳代以上の順で満足度が低い結果となった。
- ・教育については、10歳代～30歳代、40歳～50歳代、60歳代以上の順で重要度が高い結果となった。
- ・高齢者については、60歳代以上、40歳～50歳代、10歳代～30歳代の順で重要度が高い結果となった。



### ② 40歳代、50歳代



### ③ 60歳代以上



問11(1)～(20)では、京都大学内田由紀子先生を研究代表者としJSTが実施する「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域の研究開発プロジェクトにて提示された「地域の幸福の多面的指標のモデル」の簡易版(6項20指標)を用いて、市民のウェルビーイングを把握。基礎情報は以下のとおり。

### 1.基礎情報

No.	性別	人数(人)	構成比(%)
1	男性	437	46.8
2	女性	491	52.6
3	無回答	5	0.5
	合計	933	100.0

No.	年齢	人数(人)	構成比(%)
1	18～19歳	12	1.3
2	20～29歳	71	7.6
3	30～39歳	98	10.5
4	40～49歳	141	15.1
5	50～59歳	167	17.9
6	60～69歳	190	20.4
7	70～79歳	174	18.6
8	80歳以上	80	8.6
		933	100.0

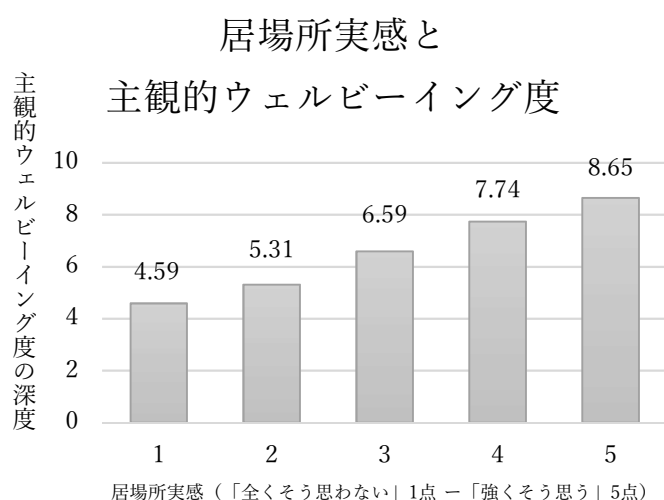
## 2.居場所と舞台の主観的ウェルビーイング度との相関関係

・自分の居場所と主観的ウェルビーイング度（幸福の実感度）、活躍の舞台と主観的ウェルビーイング度のクロス集計結果を見ると、居場所及び舞台の設問に対して「強く思う」と回答した人ほど主観的ウェルビーイング度が高くなっていることから、住んでいる地域に居場所と舞台があるかどうかと個人のウェルビーイングには相関関係があると読み取れる。

※主観的ウェルビーイング度＝現在、あなたはどの程度幸せですか？

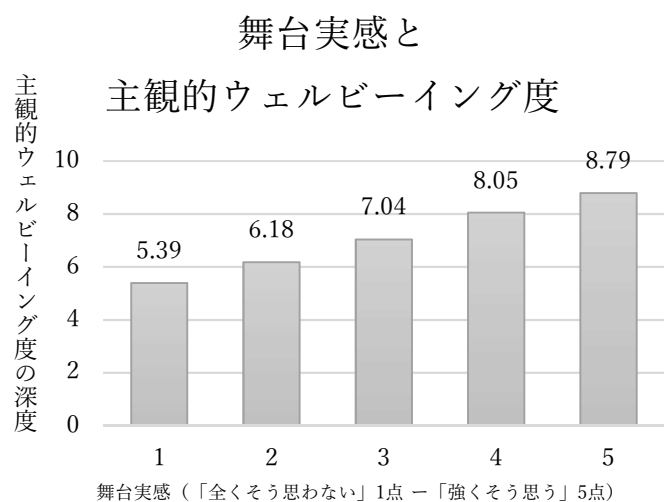
（とても不幸＝0～とても幸せ＝10）

### ①居場所と主観的ウェルビーイング度



居場所の点数	主観的ウェルビーイング度 平均値	人数 (人)
1	4.59	29
2	5.31	77
3	6.59	355
4	7.74	342
5	8.65	130
合計	7.13	933

### ②舞台と主観的ウェルビーイング度



舞台の点数	主観的ウェルビーイング度 平均値	人数 (人)
1	5.39	62
2	6.18	175
3	7.04	410
4	8.05	223
5	8.79	63
合計	7.13	933

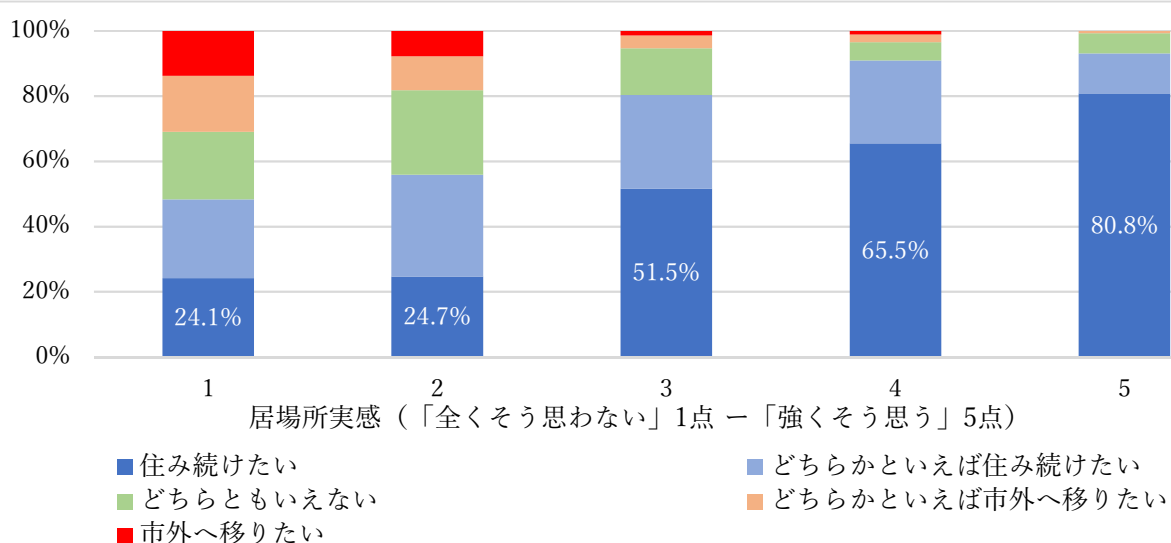


### 3. 居場所と舞台の定住意思との相関関係

・自分の居場所と定住意思、活躍の舞台と定住意思のクロス集計結果を見ると、住み続けたいと思っている人ほど住んでいる地域に居場所や舞台があると感じていることから、住んでいる地域に居場所と舞台があるかどうかと定住意思には相関関係があると読み取れる。

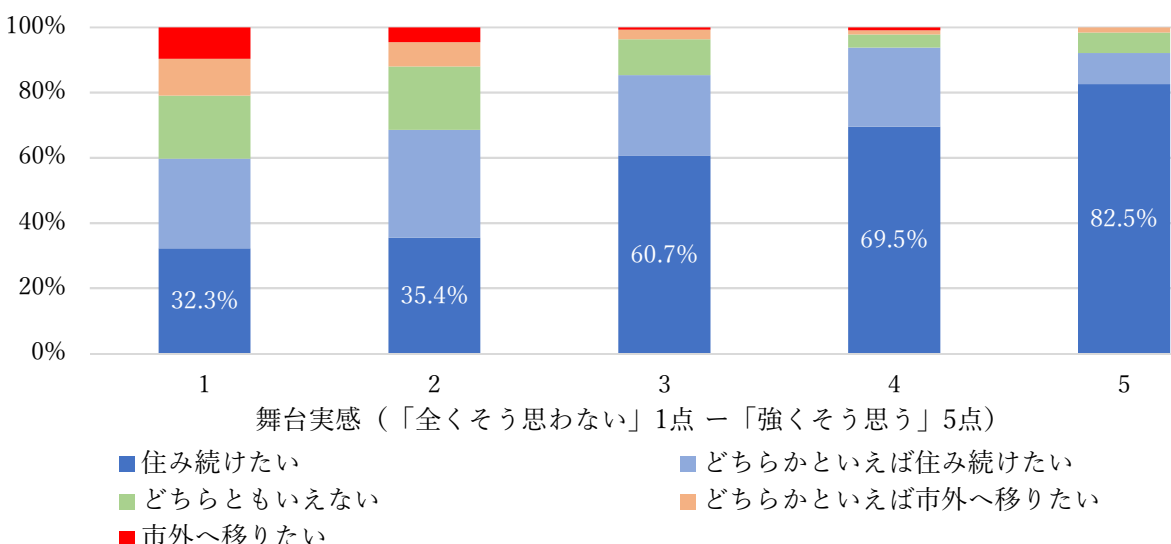
#### ①居場所と定住意思

定住意思／居場所の点数	1	2	3	4	5
住み続けたい	24.1%	24.7%	51.5%	65.5%	80.8%
どちらかといえば住み続けたい	24.1%	31.2%	28.7%	25.4%	12.3%
どちらともいえない	20.7%	26.0%	14.4%	5.6%	6.2%
どちらかといえば市外へ移りたい	17.2%	10.4%	3.9%	2.3%	0.8%
市外へ移りたい	13.8%	7.8%	1.4%	1.2%	0.0%



#### ②舞台と定住意思

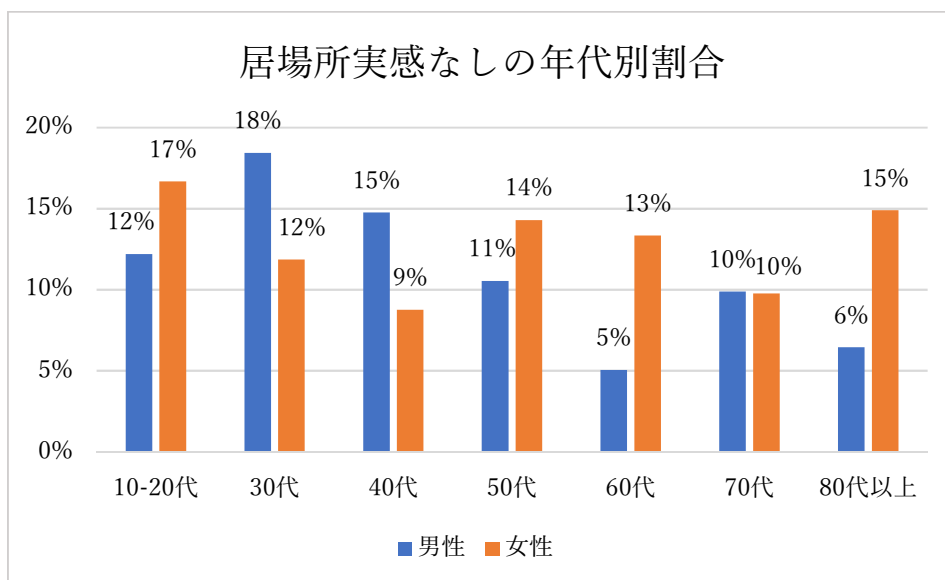
定住意思／舞台の点数	1	2	3	4	5
住み続けたい	32.3%	35.4%	60.7%	69.5%	82.5%
どちらかといえば住み続けたい	27.4%	33.1%	24.6%	24.2%	9.5%
どちらともいえない	19.4%	19.4%	11.0%	4.0%	6.3%
どちらかといえば市外へ移りたい	11.3%	7.4%	2.9%	1.3%	1.6%
市外へ移りたい	9.7%	4.6%	0.7%	0.9%	0.0%



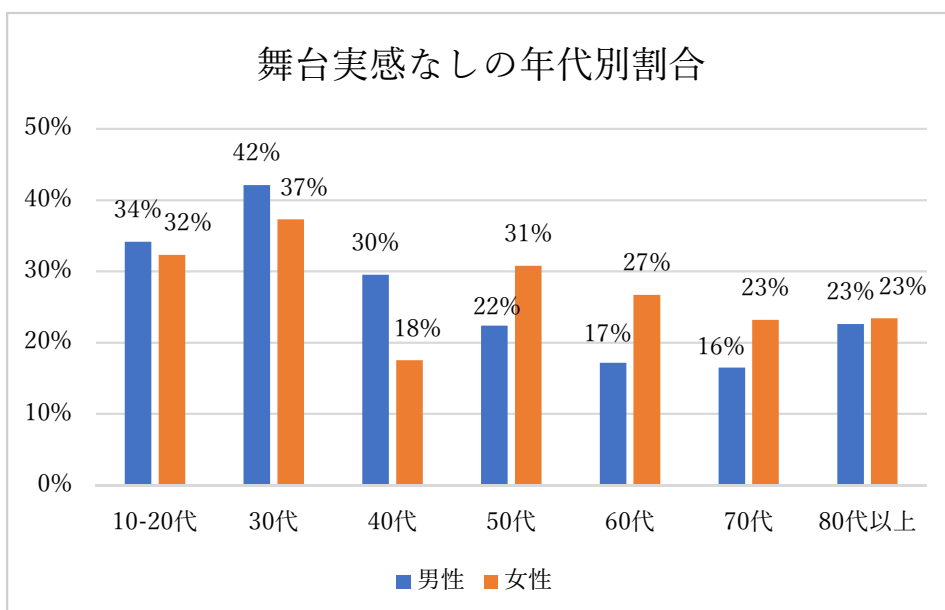
#### 4.居場所と舞台における課題

- ・「居場所実感なし」（全くそう思わない＝1～強く思う＝5の5件法で、1または2と回答した方）と「舞台実感なし」の男女別及び年代割合を分析した。
- ・居場所に関しては、男性では30代が18%、続いて40代が15%と高くなっている。  
女性では、10-20代が17%、続いて80代以上が15%と高くなっている。
- ・舞台に関しては、男性では30代が42%、続いて10-20代が34%と高くなっている。  
女性では、30代が37%、続いて10-20代が32%と高くなっている。
- ・男性に関してまとめると、居場所と舞台ともに、30代に課題がある。
- ・女性に関してまとめると、10-20代は居場所を持つのが難しく、30代では舞台を持つことが難しいと実感していることがうかがえる。

##### ①居場所実感なしの男女別及び年代別



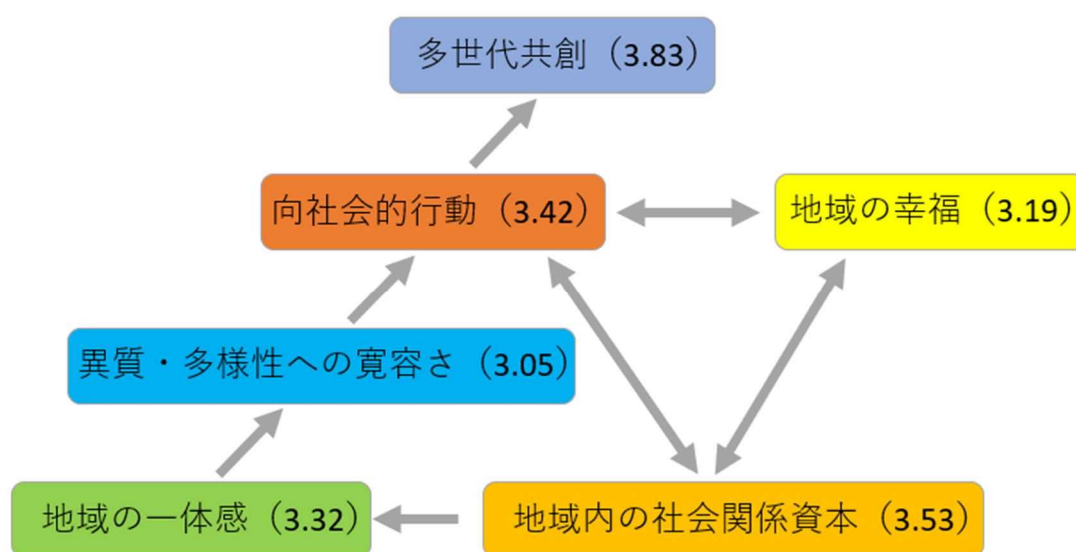
##### ②舞台実感なしの男女別及び年代別



## 5.地域の幸福の状況

・「地域の幸福の多面的指標のモデル」の簡易版 20 項目の内、5 件法で尋ねている 18 項目の結果から地域のウェルビーイングを構成する 6 つの指標（「地域内の社会関係資本」「地域の幸福」「地域の一体感」「異質性・多様性への寛容さ」「向社会的行動」「多世代共創」）の平均値を求めると、下図のとおりとなり、地域のウェルビーイングから見る本市の強みは「多世代共創」（平均値 3.83）、弱み・課題は「異質性・多様性への寛容さ」（平均値 3.05）となった。

※測定項目の詳細は P23-24 のとおり



大分類	平均値
地域内の社会関係資本	3.53
地域の幸福	3.19
地域の一体感	3.32
異質性・多様性への寛容さ	3.05
向社会的行動	3.42
多世代共創	3.83

## 6.具体的設問

測定項目	設問	回答方法
居場所	あなたの住んでいる地域に自分の居場所があると感じますか。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
舞台	あなたの住んでいる地域に自己表現ができたり・活躍できる場があると感じますか。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
定住意思	あなたは越前市に今後も住みたいと思えますか。	「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」「どちらともいえない」「どちらかといえば市外へ移りたい」「市外へ移りたい」の5択

測定項目		設問	回答方法
大分類	小分類		
地域内の 社会関係 資本	地域内信頼	私は同じ市内・地域に住む人たちを信頼している。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	地域内互酬性の 規範	お世話になった地域の人々の頼みを断ってはいけないと思う。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
		この地域には、いざという時に助け合う雰囲気がある。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
地域の 幸福	個人の主観的幸福	現在、あなたはどの程度幸せですか？	とても不幸＝0～ とても幸せ＝10（11件法）
	個人の主観的健康	現在のあなたの健康状態はいかがですか？	とても不幸＝0～ とても幸せ＝10（11件法）
	協調的幸福感	自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
地域の 一体感	運命共同体	この地域の人、私の人生において切っても切れない関係にある。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	地域への愛着	私はこの地域に対して愛着を持っている。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
異質性・ 多様性 への 寛容さ	近隣地域への信頼	私は近隣の地域・地区に住む人々を信頼している。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	一般的信頼	私は見知らぬ他者であっても信頼する。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）

異質性・多様性への寛容さ	民主主義	この地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	地域の開放性	私は、地域外（地区外）からやってきた人が地域内（地区内）に定住することは喜ばしいと思う。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
向社会的行動	地域内サポート提供	私は、地域の人困っていたら手助けをする。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	促進的貢献	私は、地域において、役割を果たしたり貢献できたりする、活動的な一員だ。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	近隣地域へのサポート提供	私は、近隣の地域・地区に住む人が困っていたら手助けをする。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	一般的サポート提供	私は、見知らぬ人が困っていたら手助けをする。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
多世代共創	後継世代への継承	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
	温故知新（伝統と革新）	地域が過去から受け継いできた伝統を受け継いでいくべきだ。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
		伝統に縛られずに、新しい文化をつくるべきだ。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）
		地域外（地区外）から、違った考え方や価値観を取り入れるべきだ。	全くそう思わない＝1～ 強くそう思う＝5（5件法）

問12 (1) 概ね20年後(2040年)の越前市を見据えたまちづくりについて、アイデアやご意見をお書きください。(自由記述)

「①産業・商業」や「⑤越前たけふ駅周辺まちづくり」については、越前たけふ駅周辺への大型商業施設等の誘致やにぎわいの創出に関する意見が多く見受けられた。「③若者・定住・人口問題」については、若者が住みたいと思えるまちづくりを進める必要があるという意見が多く見受けられた。「④ブランド・観光・文化」については、地域の宝は豊富にあるので、うまく活用して発信していくべき、という意見が多く見受けられた。「⑬交通」については、高齢者等の交通弱者への移動手段の確保に関する意見が多く見受けられた。

※意見一覧は資料編(P35)に掲載。

分 類	回答数	分 類	回答数
①産業・商業	102	⑬安全・安心	10
②農業・林業	16	⑭公園・自然環境	45
③若者・定住・人口問題	91	⑮交通	67
④ブランド・観光・文化	61	⑯都市基盤	32
⑤越前たけふ駅周辺まちづくり	40	⑰空き家・空き地	13
⑥賑わい	34	⑱住民・地域社会	42
⑦環境・エネルギー	15	⑲ダイバーシティ	23
⑧労働	20	⑳行財政運営	13
⑨健康・福祉	36	㉑IT・DX	8
⑩子育て	28	㉒新型コロナ	3
⑪高齢者	36	㉓その他	36
⑫教育・文化・スポーツ	18		
合 計			789

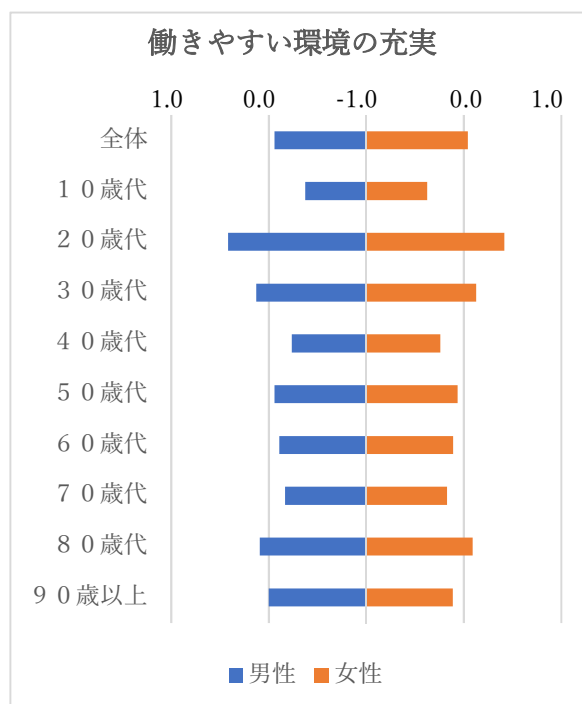
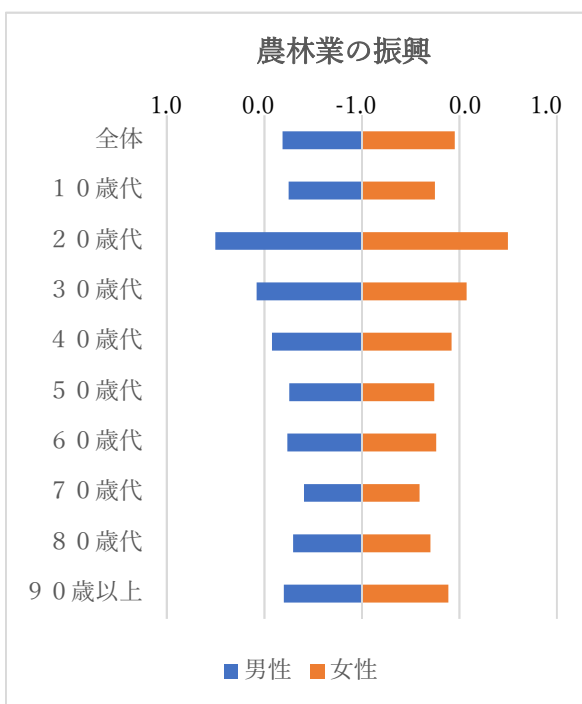
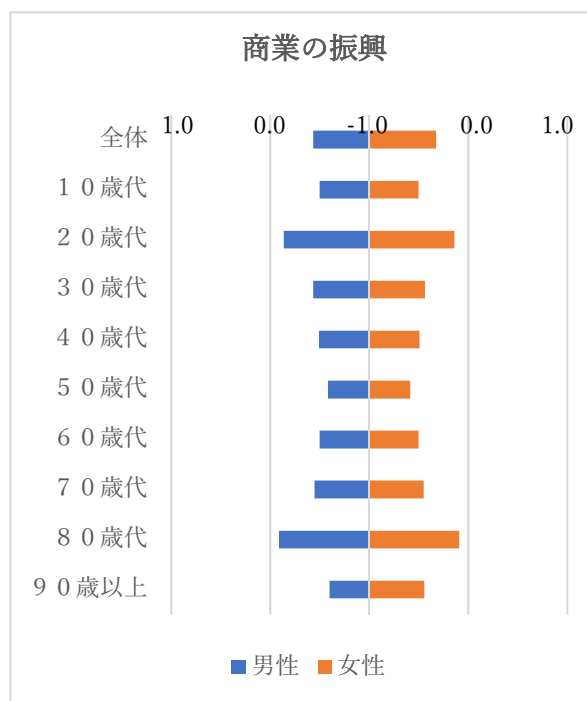
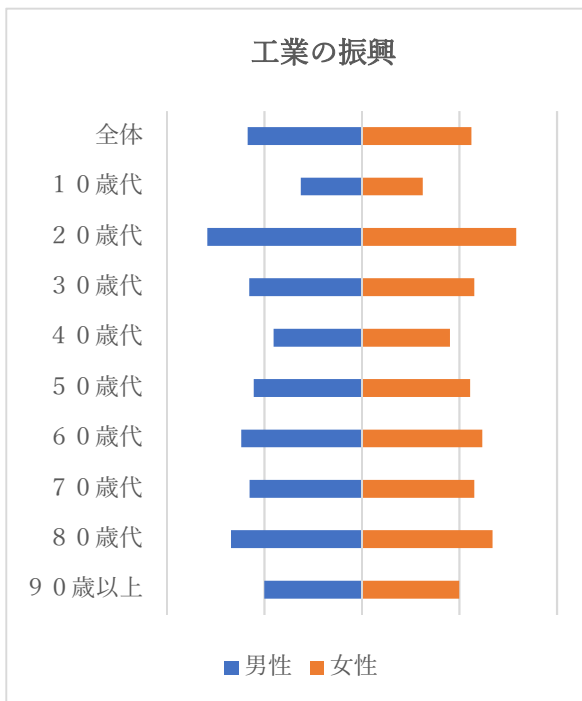


# 資料編

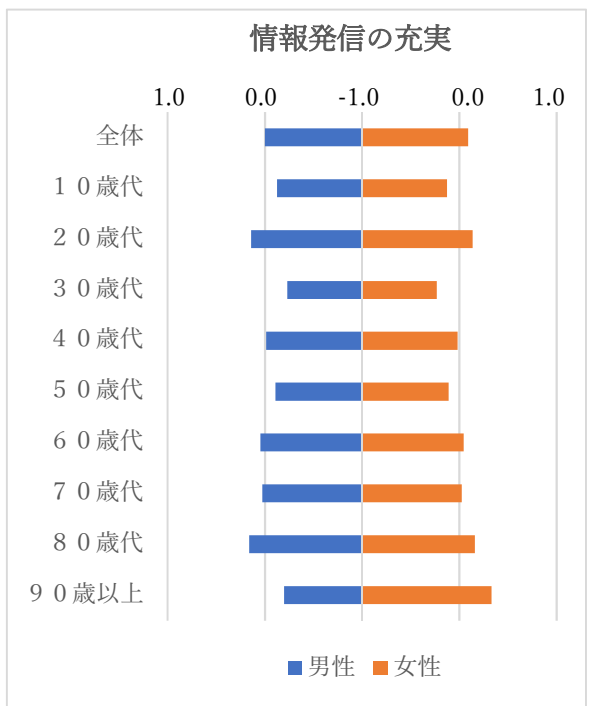
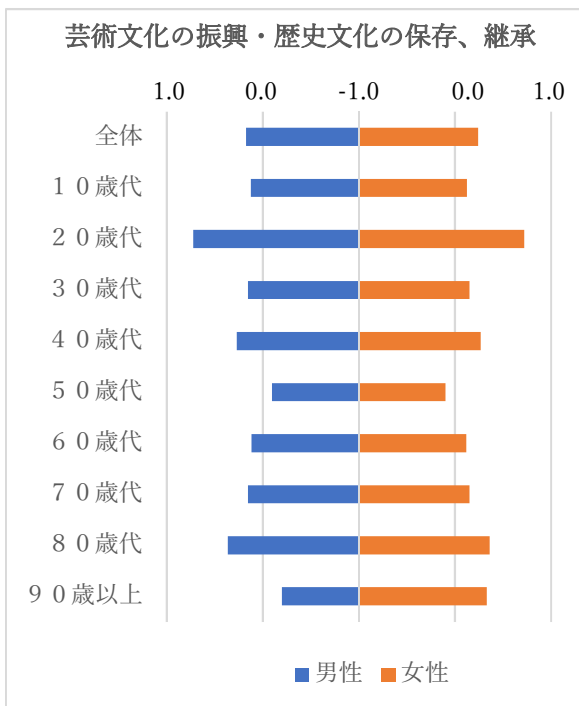
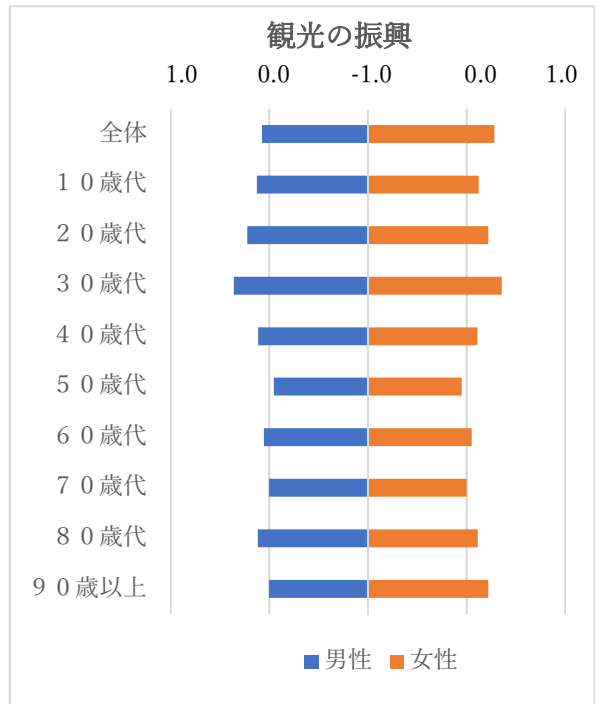
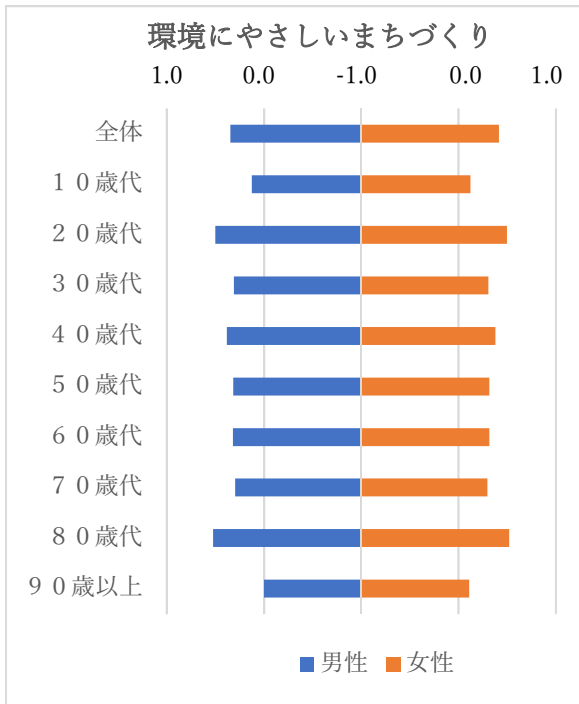
## 問9 施策の満足度

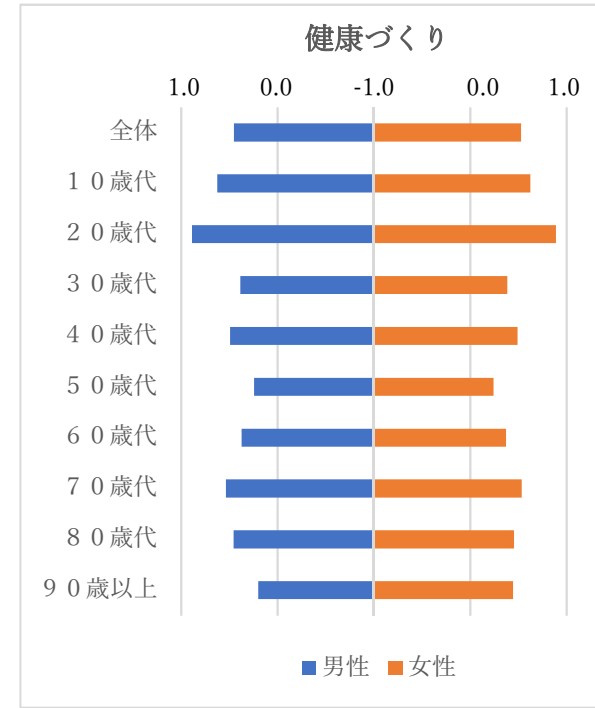
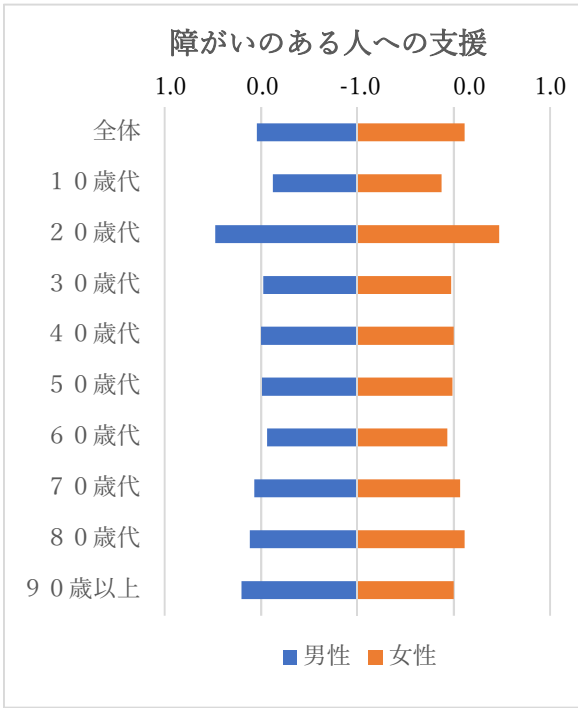
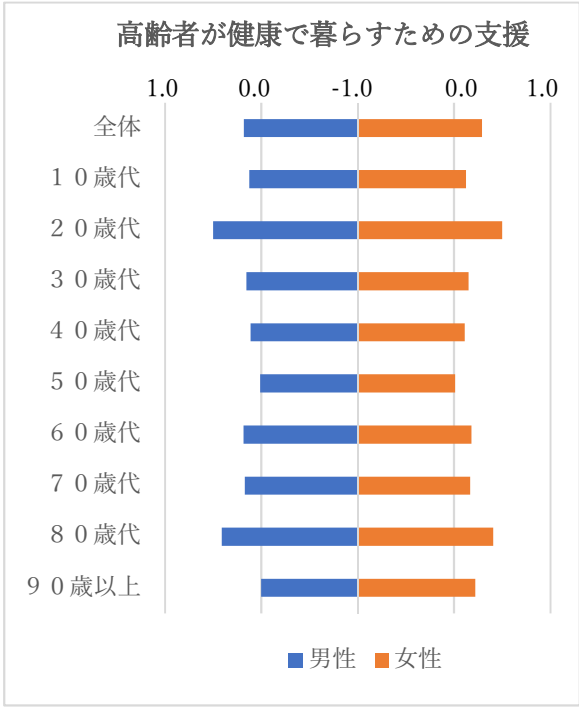
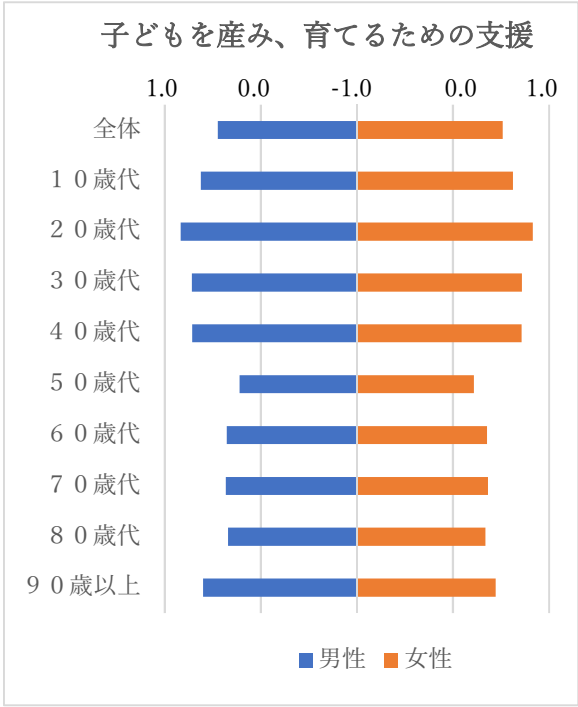
男女別年代別満足度（ウェイト値による表示）

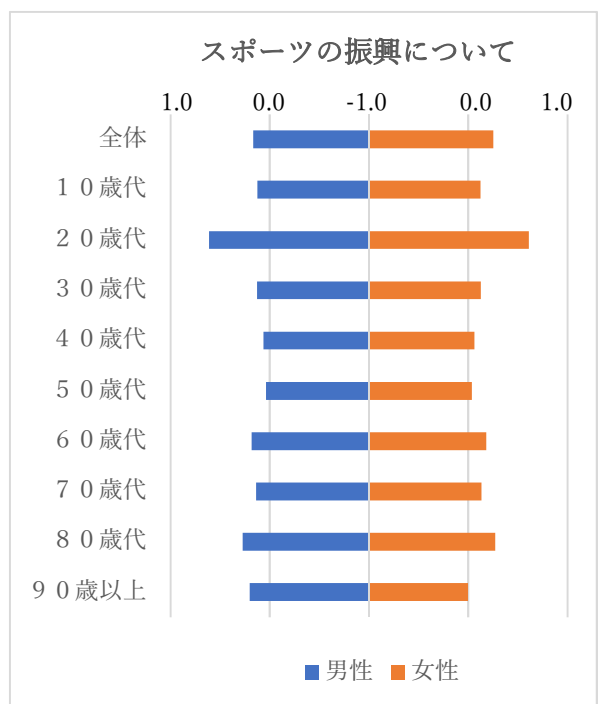
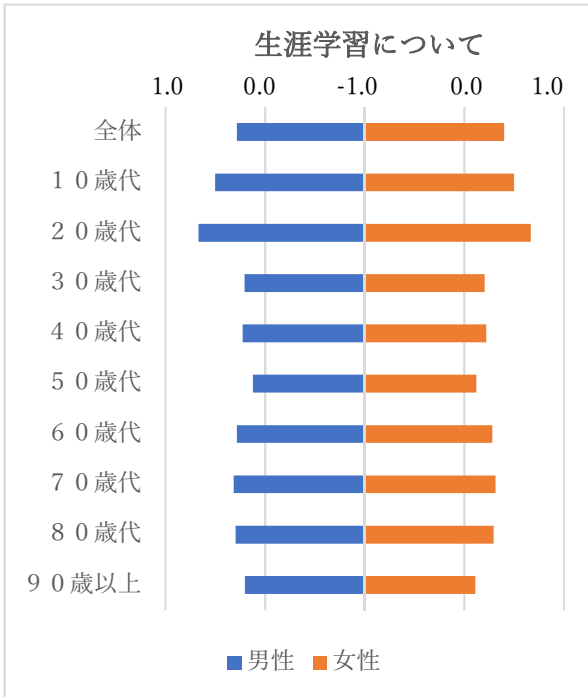
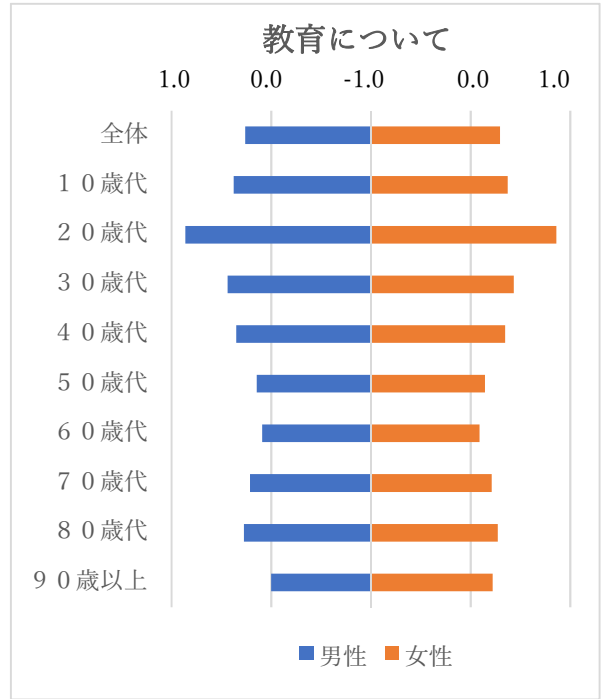
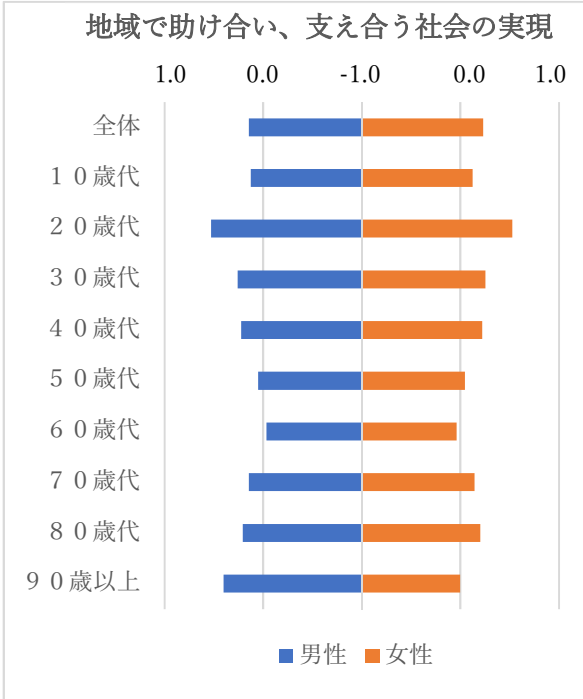
■ 男性(N=505) ■ 女性(N=574)

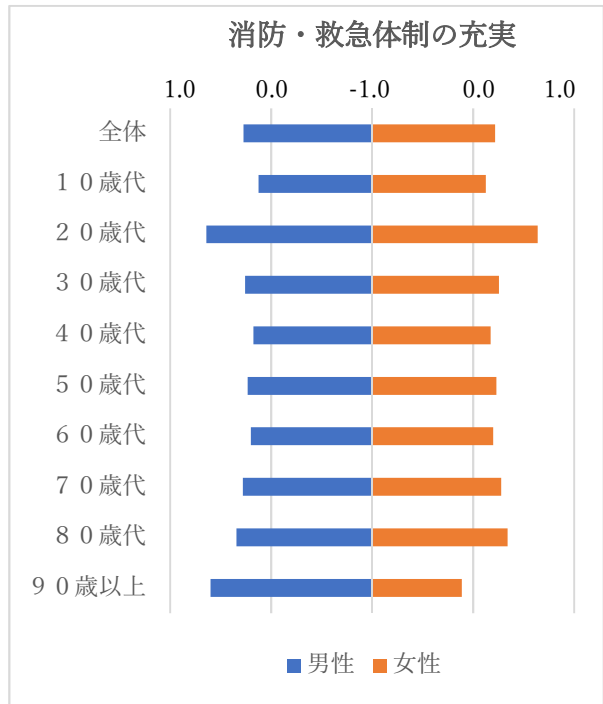
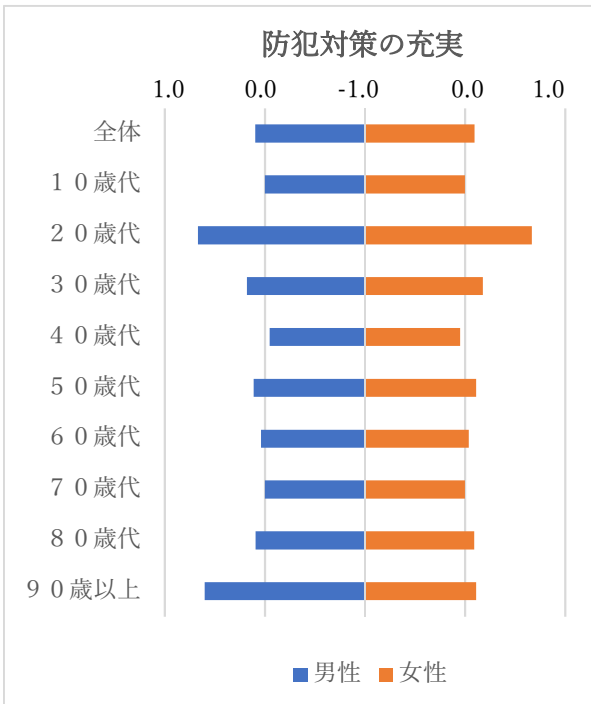
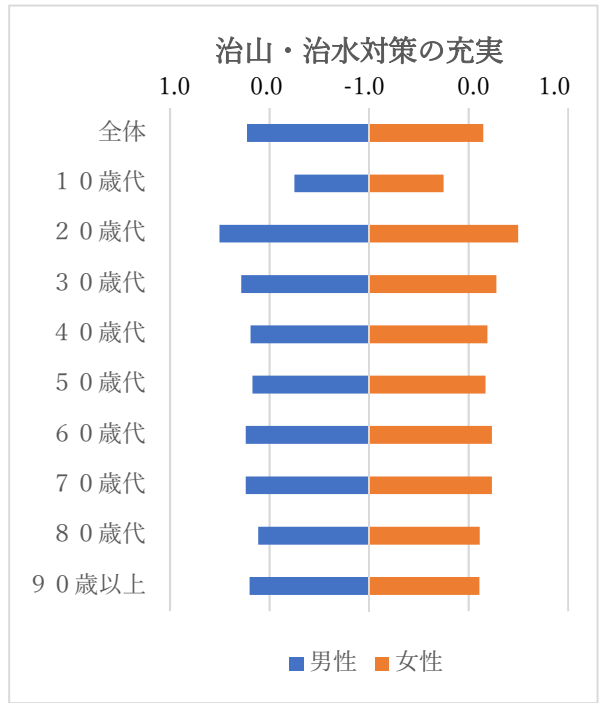
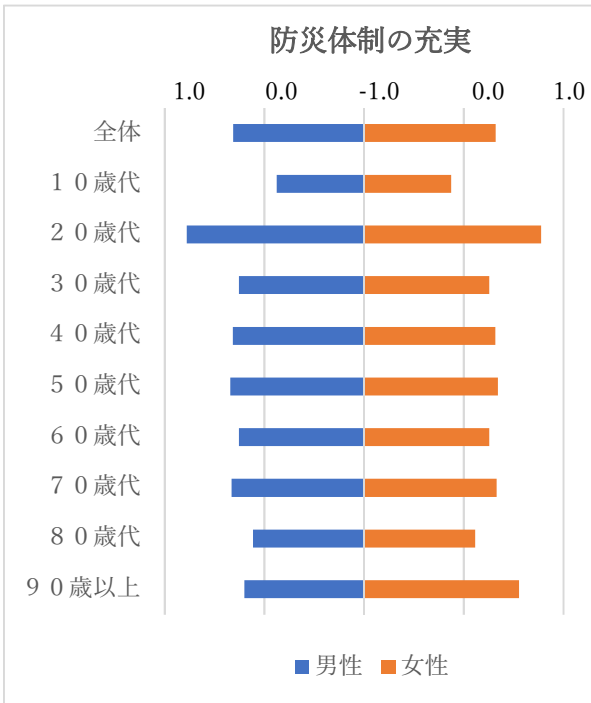


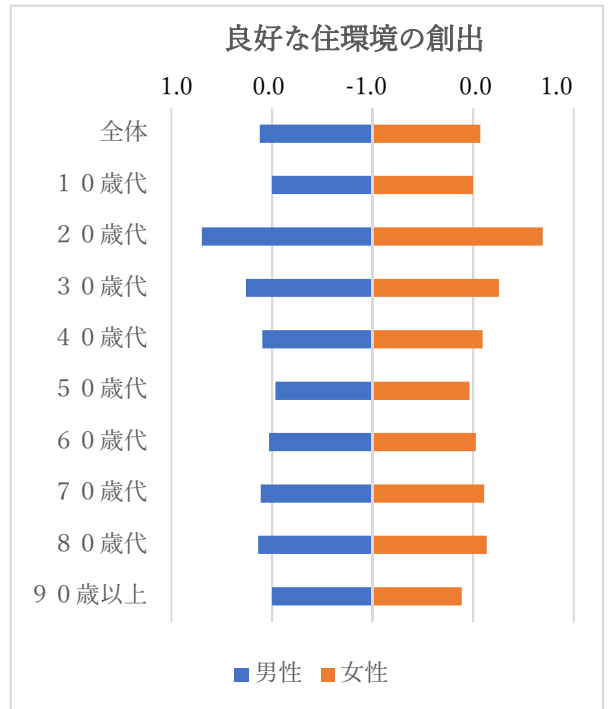
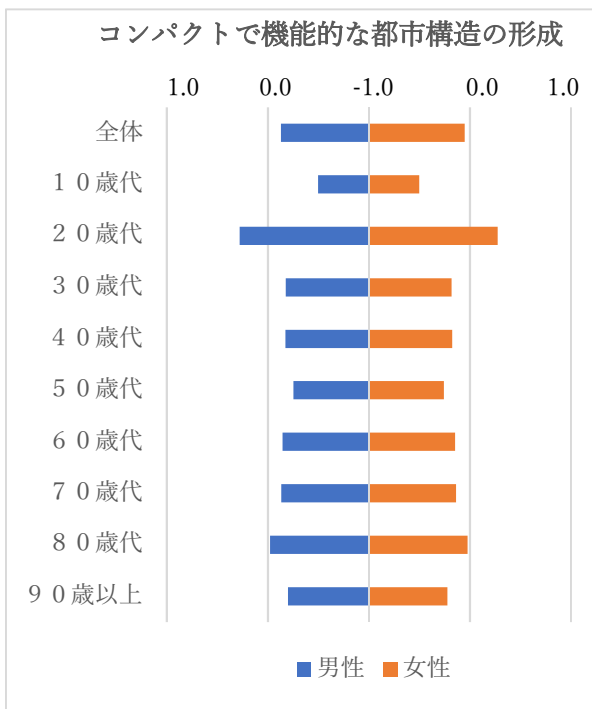
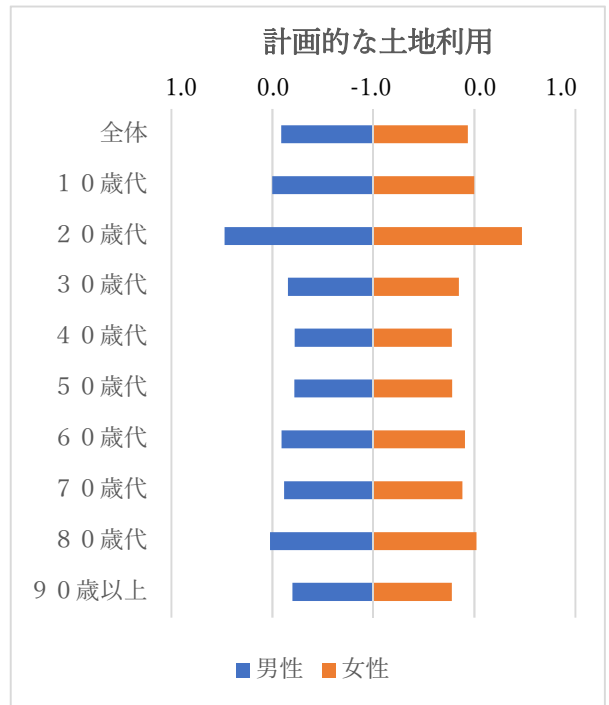
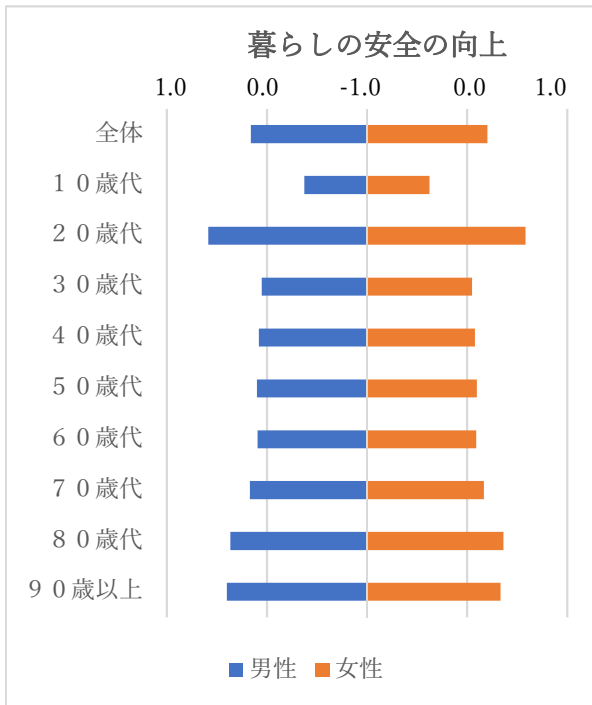


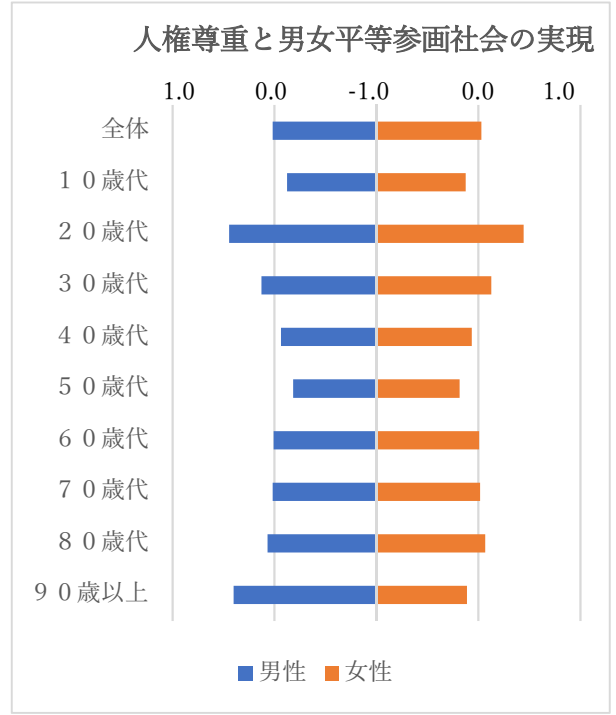
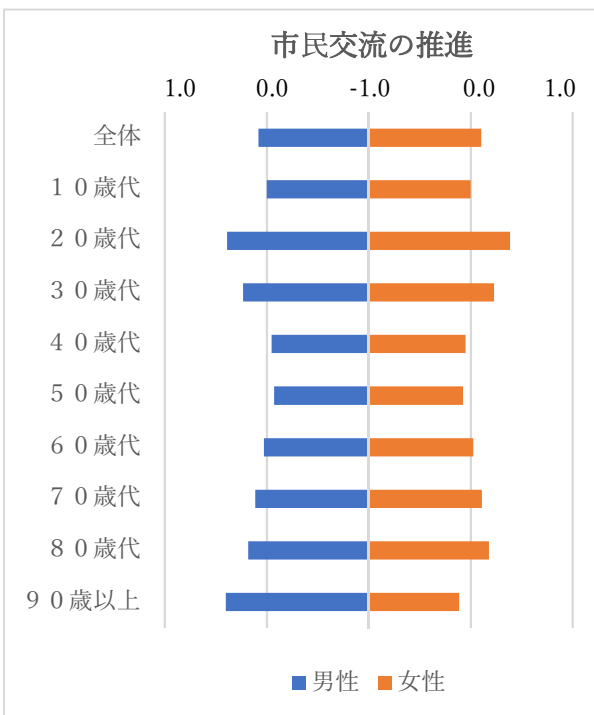
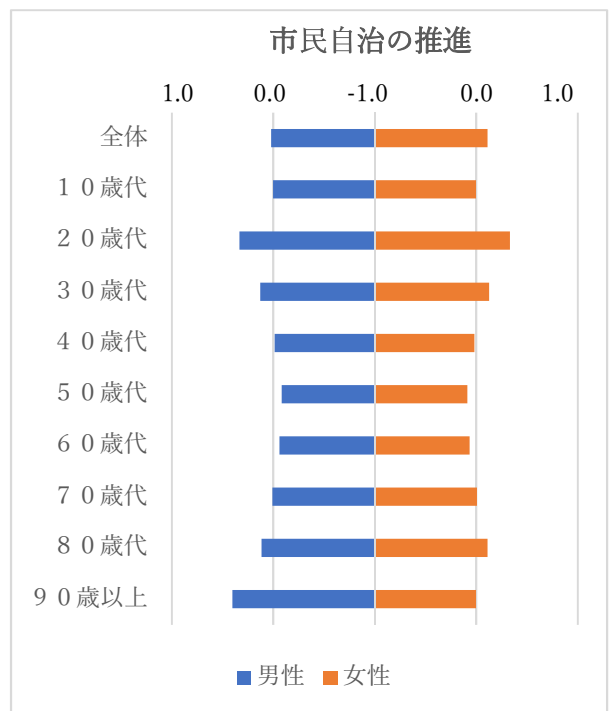
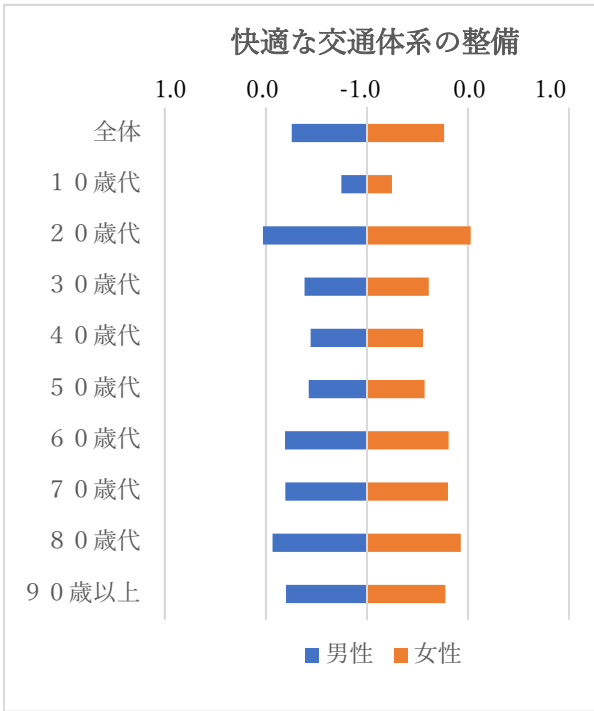


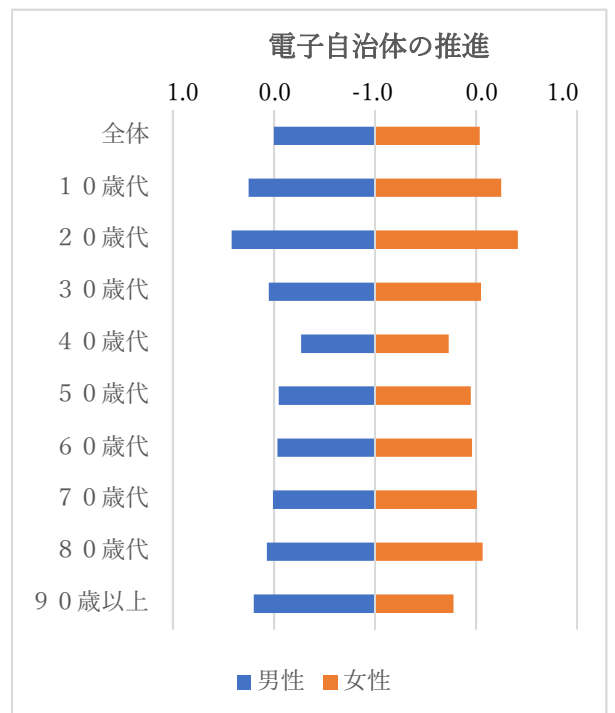
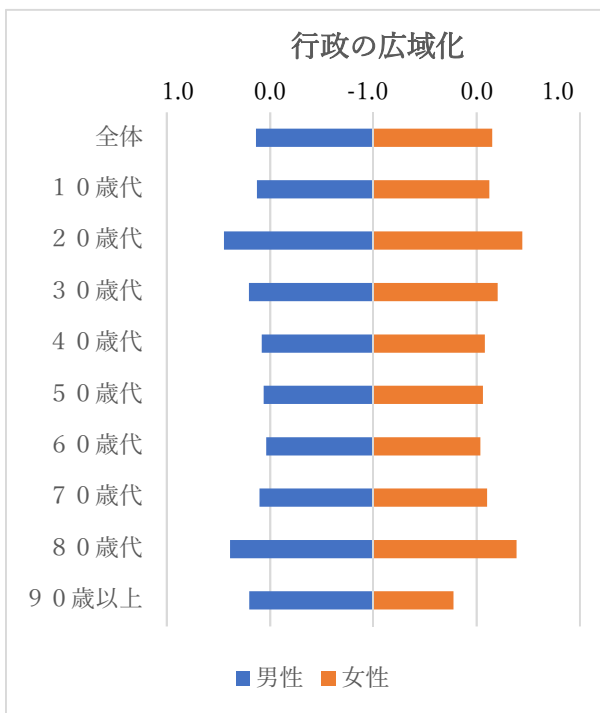
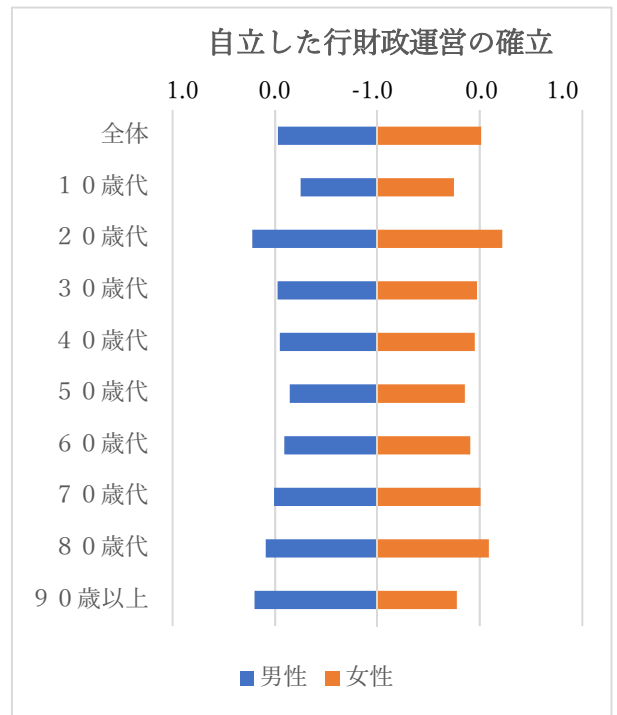
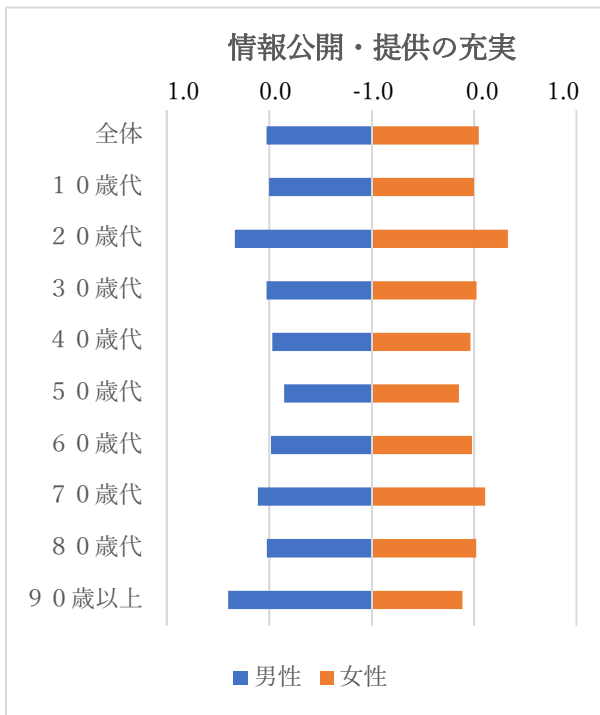














問12(1) 概ね20年後(2040年)の越前市を見据えたまちづくりについて、アイデアやご意見をお書きください。(自由記述)

ここでは、市民意識調査の問12(1)に設けた自由記述欄に頂いたご意見を、分野ごとに分けて掲載しています。なお、一つの自由記述欄に、複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。よって、以下に示した回答数(件)は、回答者数(人)とは異なります。

また、自由記述は原則として原文のまま全てを掲載することとしていますが、明らかな誤字・脱字は修正し、特定の個人・企業等を誹謗・中傷する内容については、該当する箇所を削除しています。

分 類	回答数	頁数
①産業・商業	102	36-41
②農業・林業	16	42
③若者・定住・人口問題	91	42-47
④ブランド・観光・文化	61	47-50
⑤越前たけふ駅周辺まちづくり	40	50-52
⑥賑わい	34	52-53
⑦環境・エネルギー	15	54
⑧労働	20	54
⑨健康・福祉	36	55-56
⑩子育て	28	56-58
⑪高齢者	36	58-59
⑫教育・文化・スポーツ	18	60
⑬安全・安心	10	61
⑭公園・自然環境	45	61-63
⑮交通	67	63-66
⑯都市基盤	32	66-67
⑰空き家・空き地	13	68
⑱住民・地域社会	42	69-71
⑲ダイバーシティ	23	71-72
⑳行財政運営	13	72-73
㉑IT・DX	8	73
㉒新型コロナ	3	74
㉓その他	36	74-75
合 計	789	

①産業・商業	年代	性別
買い物をする場所がない。個人小売りはいらない。イオン、コストコ、イケアを。市民がどのくらいネットで商品購入しているかも調査したほうがいい。	40 歳代	男性
武生か鯖江に GU ができてほしいな-！福井まで行かなくても満足に買い物できる店が欲しいです。	30 歳代	女性
子供と行けるランチの場が少ない。	40 歳代	女性
ショッピングセンターがリニューアルされればいい。(シピイなど) 新幹線駅周辺に新しいショッピングセンターができてほしいです。	30 歳代	女性
金や税金に振り回されない、ゆったりとした空間(商業主義でないこと)	無回答	無回答
越前たけふ駅近くにショッピングが楽しめる所があるべき。(若者から高齢者まで)	30 歳代	男性
大型ショッピングセンター「イオンモール」設置。	50 歳代	男性
若者中心の公共施設やショッピングセンターを増やしてほしい！！賑わいのある市に是非ともして行ってほしいです。	20 歳代	男性
歴史と伝統を大切にしながら、若い人たちが住みやすく、雪に強いまちづくりとワクワク・ドキドキ・楽しいと思えるショッピングセンターが欲しいですね。	70 歳代	女性
もっと買い物ができる場所が出来ると良い。イオンモールを作って欲しい。活気あるまちづくりをして欲しい。	40 歳代	女性
魅力的なショッピングセンターなどを作ってほしい。買い物をする場所がなく、鯖江市や福井市へ行ってしまう。映画館など友達と遊べる場所が欲しい。遊ぶ場所がなくつまらない所しかないので、友達を呼べない。	20 歳代	女性
街中の商店は少なくなってもいい。郊外に大型店舗を誘致すべきです。	80 歳代	男性
福井市にある大型ショッピングモールのようなものを作って、市外からの人を呼ぶと良い。もう少し賑わいが欲しい。	20 歳代	女性
福井市、鯖江市にはあるが、越前市にはない物がたくさんある。スシロー、ポーリング場、映画館など。休日は福井市・鯖江市に行きがち。だから越前市にしかない物を作ると人が来ると思う。イオン、アウトレットなど。シピイの中も人が来るのにお店が少なくもったいない。	30 歳代	女性
人の雇用とお金を産む大型商業施設の誘致	40 歳代	男性
ドラッグストアばかり増えており、日常の買い物は便利だが、布団や衣類などの専門店が少なく、満足がいく買い物ができず他市へ行かなければならない。	20 歳代	女性

とにかく越前市には大規模な商業施設がなく、鯖江、福井市は元より県外で買物をする機会が多い。誘致して越前市にお金を落とすことを考えるべき。	60 歳代	男性
特色ある産業を伸ばしていく。例えば、打刃物、和紙等。これはここへ行けば必ず良い物が手に入ると思える物を伸ばしていく。	70 歳代	男性
都会から移住してくる人が増える産業構造の変革。大企業中心から中小企業中心の経済推進（グローバル、ニッチトップ）。一人の年収が1千万以上になる産業育成（ソフトウェア、ロボット）	60 歳代	男性
遠くまで行かなくても良いように、大きなショッピングモールを作っ て欲しい。	10 歳代	女性
伝統やしきたりなども大切ですが、新しい発想で今までないようなま ちになっていくことを願います。新幹線開通に向けて、周辺のまちづく りにも期待しています。越前市には最近話題になるようなオシャレな お店がたくさん出店していると思いますが、そういった話題性のある お店を大切にして、市外・県外からお金を落としてもらうことも大切か と思います。	30 歳代	女性
伝統産業の強みで零細企業が多く、それぞれの器用さがあって個性が 詰まった中で技術が発揮されている。先端技術を取り入れた会社では、 数千人の従業員を擁して社会保障が充実している。零細企業を守り抜 き、企業に頼った行政を行っていない。	70 歳代	男性
伝統産業、県外客の土産、駅前の飲食・売店、温泉・祭り、県外への市 政広報、映画館・ボーリング場・アミューズメントパークの導入	70 歳代	男性
伝統工芸をより身近に取り入れながら、自分の住むまちの「有名なこ と、場所」を知り、事前にアピールができていくまちづくり。	30 歳代	女性
小さなお店がどんどんなくなっていくので、もっと身近にお店が開か れる環境が欲しい。田舎に若者を呼べる環境を。	70 歳代	女性
自身の周辺にも福井とかに通勤している人が結構いる。企業の誘致や 商工の発展で仕事できる場所も作って欲しい。	60 歳代	女性
他県や若い世代が来やすく、定住しやすい町にして欲しい。自然は多い が、ショッピングセンター、アウトレット。遊園地などはない。小さな 子供は楽しいが、10代以上の若い子供たちはつまらないと思う。ずっ と住み続けられる様な町にして欲しい。	40 歳代	女性
以前、友人から聞いたのですが「大型商業施設ができれば既存の店が死 んでしまう」と反対の声があるそうですが、もう死んでいると思うので 共存すべきだと思います（その大型の店の中に格安で入るなど）。現状 では若い人は県外市外でお金を出してしまい、地域の活性も何もない と思います。	40 歳代	女性

企業のイメージアップ（内側：働きやすい職場、人間関係）を考え直すべきだと思います。	40 歳代	男性
全国レベルの商業施設がないのは致命的。有望な企業の誘致。人に誇れるものはいない。満足できるような地域にすることが大事。	60 歳代	男性
全国展開している商業施設、娯楽施設がかなり不足している。高齢者にはやさしいが、若者が住んでいて楽しいとは感じない。都会で流行しているものを誘致して欲しい。	30 歳代	男性
新幹線の駅の周りに工業施設を作るのではなく、商業施設をつくり人々を呼び込む。	40 歳代	男性
新幹線が開通して企業が開拓する場所を設けてほしい。空き家の利用を誘発して再利用できる SDGS を進める。空き家を市が買い取り、リフォームし、住民を増やす。	50 歳代	男性
新幹線駅を中心とするにぎわいの町が出来、地場産業、工業、商業の盛んな都市。裏日本と呼ばれない、東海道の都市の様に人口が増え、明るい梅雨明けのような街にするため、どんどん商工業の誘致を。	80 歳代	男性
新幹線駅近くにアウトレットや大型ショッピングモールを誘致し、県内外から訪れたいくなるようなまちをつくる。（市の活性化）	60 歳代	男性
商店街の店が増えると良い。	50 歳代	女性
商店街の空き店舗で住宅として利用している人と、店舗で活動している世帯をちゃんと分けて、シャッター商店街をやめる。	40 歳代	女性
商店街が必要。さみしすぎる。	10 歳代	男性
商店街が賑やかになるといいな。ご当地の食べ物を使ったスイーツを販売して県外から食べに来てくれる人が増えるといいなあ。	70 歳代	女性
商業施設を充実させてほしい。福井や鯖江まで行かないと買い物ができないことが多い。	30 歳代	女性
商業施設の誘致。伝統工芸や施設を使ったホテルを作る（食事、農業、和紙、打刃物、漆器）	40 歳代	男性
商業施設などで、にぎやかな町が欲しい。	20 歳代	女性
商業施設が少ないので増やしてほしい。（大型ショッピングモールの誘致など）	20 歳代	女性
シャッター街をなんとかしてほしい。	50 歳代	男性
市内には製造業を中心とした企業が多く集積し、若い人が多く、次の文化社会を形成するための準備をすべきである。何をメリットとして企業が集まり、人が集まり、定住してもらえるのか、改めて見つめ直す必要がある。	30 歳代	男性

自然と商業施設のあるような中心地を分けるのではなく、共存といった形をとってほしい。商業施設には若者に目を向けたものがあると都市離れを少しでも減らせる。(ファッション系のブランド等)	20 歳代	男性
市街地の活性化。高齢化で農業ができなくなっている郊外の土地を買い上げて工場や住宅等にする。(田舎の方にも増やす)	70 歳代	男性
市外、県外の人達が長時間滞在できる環境をもっと作るべき。だるまちゃん広場みたいに子供が遊んでいる時にコーヒーを楽しめたり、軽食も食べられたりと素晴らしい環境でありがたい。そういった場が越前たけふ駅周辺にもできると、もっと活性化すると思う。アウトレットモールやイケアなどもほしいと思う。	40 歳代	女性
子供・大人・市民が休日等に自由に行ける場所を作ってほしい。例えば、大型ショッピングセンターとか。	50 歳代	女性
コストコやイオンモールなどの大型商業施設がほしい。他県での買い物をし、安く買っても、高速代やガソリン代が高くつくので意味がない。北陸新幹線ができるし、その周辺に建てれば、高速下りて近くにあるし、それなりに活性化や収益が見込めるのでは？	20 歳代	女性
県の中核都市となりうる商業工業を推進すべき。	70 歳代	男性
県外からも遊びに来ようと思えるような大きなショッピングセンターが欲しい。街並みに清潔感を出して欲しい。あと新しさが欲しい。	40 歳代	女性
車を乗れなくなっても安心して暮らせる街に。アウトレット、イオンなどを越前市に。	50 歳代	女性
活気的なまちになるよう、若者が集まるイオン、アウトレットなどをつくり、県をまたがなくても買いたい物を買えるまちにする。	30 歳代	女性
買物にわざわざ県外までいかななくてもいいような市になってほしい。大型ショッピングモールなどを誘致してほしい。大人から子供・若者などすべての世代で楽しめるような複合的商業施設。	30 歳代	女性
大きなショッピングセンターを作ってほしい。(特にイオン) 越前市には何もない。行くところがない。	30 歳代	女性
大型のショッピングモールが 1 つくらいあってもいいのでは？もうこれ以上ドラッグストアはいらない。コンビニもいらない。	60 歳代	女性
大型ショッピングモールの建設、新幹線駅周辺の活性化、菊人形の充実、マルシェ等イベントの充実。	30 歳代	無回答
大型ショッピングモール、アウトレット、大型アミューズメントパークの建設(イオン、ラウンドワン、コストコ、遊園地等)。お年寄りから子供までが楽しめる場所を一つに集めることで越前市に人が集まる。	20 歳代	女性
大型ショッピングモール(イオン・コストコ)などができると、人が集まると思います。	70 歳代	女性

大型商業施設を多く誘致してください。	40 歳代	男性
大型商業施設が欲しいです。結局、福井のエルパや県外に行かないといけ ない。綺麗で雰囲気の良いウィンドウショッピングや、お散歩ができる 場所が欲しいです。	30 歳代	男性
越前たけふ駅周辺に大型商業施設（イオンモール、アウトレットなど） を誘致し、そこに地元商店街もテナント等出店し、人の流れと地元企業 の活性化を。県内で一番「働くことを考える、やさしいまち」のイメー ジを創る。	10 歳代	女性
越前市を新たな産業創出の場にしたい。（日本のシリコンバレーに）自 分自身県外で理系の大学に進学したが、地元での就職を考えた時、自分 の学んだことを生かせる企業が福井にはほとんどないことに愕然とし た。今ある産業が伸びなくなれば働く先がなくなり、人口流出はさけら れない。	30 歳代	男性
越前市は福井の真ん中くらいにあるので嶺北、南、県内、外から人が集 まる商業施設で越前市に人を集めたい。	50 歳代	女性
越前市だけでなく、福井県全体は商業施設が少なすぎる。そこをどうに かした方がよい。	30 歳代	女性
売上が増えている企業にポイントを付与する。	50 歳代	男性
今から 20 年前も今も何も変化がない、なさすぎる。逆に、越前市でシ ョッピングがしたいと思わなくなった。もう少し、ショッピングが来る所 があってもいい。イオンが来て欲しい。	50 歳代	女性
イオンモールやコストコを建ててほしい。県外だけではなく県内の人 の動きも越前市に向かうように。坂井市や森田などのように可能性を 広げてほしい。	20 歳代	女性
イオンモールとコストコを建ててほしい。	20 歳代	男性
イオン、コストコを誘致する。	50 歳代	男性
IT 産業を充実し、若者が大いに活動し、産業と商業の発展したまちづ くり	80 歳代	男性
若者が集まれる大きな商業施設がほしい（アウトレットなど）。もっと 人が集まる街にしてほしい。県外へ出ていかななくても良いように企業 誘致。	60 歳代	女性
もっと若者が好きなブランド服やショップを入れてもいいかなと思ひ ます。	30 歳代	女性
西地区に商業施設がほしい。以前のように、一つの商業施設で小一時間 過ごせる場所がない。中央公園も近いので活性化すると思います。	60 歳代	女性
伝統産業にこだわらない新しい産業の育成	70 歳代	男性

新幹線については、あまり期待していない。(他県の各駅停車駅周辺もさみしい状態だから)県内は県北エリアが栄えてしまっているし、今後同じ傾向が続くと思う。よって、丹南エリアは地域産業と製造業を中心とした、住居充実エリアが現実的である。越前市は個人企業を守った故に、経済が活性化しなかった。客を待つだけの企業を守る必要はない。対外的には越前ブランドを全面に出し、一方で大手製造業による安定した雇用、生活が実現できる。	50 歳代	男性
周りの地区から誘引できる魅力的な商業施設を設ける。	60 歳代	男性
企業誘致の推進による若者流出防止、大型商業施設誘致を推進し、活性化させる。	50 歳代	男性
過疎化が進んでいる地域では、和紙・漆器・打刃物など産業があるが、地域から置いて行かれている(除外)感じがします。地元のみでは知恵も・・・地域が活性化できる種まきをしてほしい。	60 歳代	女性
越前たけふ駅周辺の賑わい(ショッピングセンター、アウトレット等)。若者の遊べる場所	50 歳代	女性
企業誘致して、製造業のさらなる発展、働く場所を増やしてほしい。商業施設を新幹線駅周辺に誘致する。若者が集まる魅力があるまちづくりをしてほしい。子育てしやすいまちにしてほしい。	30 歳代	女性
町の中に買い物ができるところがコンビニ位しかありません。車に乗れなくなったら、20年後それ以降どうすればいいのか、銀行もだんだんなくなって遠くなる傾向があるし、電子で何でも金を払えるような時代、向こうから買物の店が来る時代になるのでしょうか？	30 歳代	男性
まちなかで小売り商店があれば良い。	70 歳代	男性
ブランド品、服、雑貨等の購入できる場が欲しい。そういう場がないから若者はみんな県外や市外まで買い物に行っている。or ネット購入がほとんど。観光で地産の物を売っていくことも大切だが。県外へ買いに行かなくても生活できるようになると良い。	30 歳代	女性
大きな企業はいくつかあるが、社員は市外から通勤している方が多い。企業と協力して市内へ居住した方には、何か優遇してあげる(住宅補助)。市民税を他の市町へ払っているのは納得できない。農道4車線化はおかしい。	60 歳代	男性
市議員と市役所職員が共同で県外から企業を誘致し、若者が県外へ行かなくても職が地元で見つかるようにする。(地元で収入がないから県外へ行かざるをえない。)	60 歳代	男性
伝統工芸品を街の中心部で販売する所を作ってほしい。	70 歳代	女性



②農業・林業	年代	性別
若い人達が農業に参加するまち。	70 歳代	男性
田んぼ作りも若者離れしていく中で、専門職でもらえるといい。	60 歳代	女性
もっと農業が発展するよう米や麦、そば以外にも作物を作り、荒れた田畑がないような方法はないだろうか。昔の親、先祖が一生懸命切り開いた田畑が、少しずつシートや荒地になっていくのが残念。荒地を集めて放牧したりできたらいいかと。	70 歳代	女性
農業が儲かる仕組み、田舎の活性化	50 歳代	男性
田んぼを作れる人が少なくなっています。20 年後どうなっているか心配です。老人が多くなっているので、元気な時に共同で住めるところがあるといいと思います。	60 歳代	女性
除草剤を使用しない越前市作りを希望します。草は 10cm 位で草刈り機で刈ってほしい。この田舎でもアマガエルさえ家の周りに数匹しかいません。農業用水田、川の辺りはセメント作りでも良いですが、その他は土・草の川にして、めだか、ざりがに、かえるが住む豊かな環境の越前市と戻したいです。除草剤の含んだ農作物を食していたら、健康はむしろ悪くなる一方です。	70 歳代	女性
山間部の人口減少対策、併せて中山間地域の担い手農家の減少への対応が重要だと思う。	20 歳代	男性
外国からの輸入に頼らず、小麦など自給自足できる農業の推進。若者が農業に取り組み誇りが持てるような町。農業の共同経営、作業など楽しんで働ける枠組み、援助など。	80 歳代	女性
越前市西部には農地が多く、管理も大変なので、良いアイデアがないか心配しています。	60 歳代	女性
私は白山に住んでいますが、農業を担っている世代は後 5～6 年です。もう農業では生きていけません。コウノトリとケモノの町になる。	80 歳代	男性
農業、農地対策を	60 歳代	男性

③若者・定住・人口問題	年代	性別
誰もが住みたくなる越前市	60 歳代	女性
理想の住まい…マンション。自由に住まいを変えられる。オープンカフェなど、人がいつでも何処でも集える場を等間隔に設置する。	40 歳代	女性
40 歳以上の婚活（独身者が多すぎる）	50 歳代	女性
人々が定住して老若男女がバランスよく、いきいき過ごせるまちづくり、生きがいの持てる暮らし作り	70 歳代	男性
古い考え方にとらわれず、新しいことを取り入れる。若い人の意見を積極的に聞くことが大切。	20 歳代	男性

越前市は「暮らすまち」で「遊ぶまち（高校生以上の）」ではない。子供が自然の中や越前市内のまち中で、のびのび遊べてそれが思い出となり大人になって「暮らすなら越前市だね」となってほしい。東京・大阪など遊ぶまちのアクセスも良くなっていたら、「暮らすまち」になっている。	50 歳代	女性
地元で若者が少ないので、移住者への自宅提供とか費用軽減を積極的に行い、若い家族が定住して人口が増えると良い。IT 企業の誘致。	60 歳代	女性
子育てしやすく若い人が U I ターンを希望するまちにするのも人口増に向けて重要だ。	60 歳代	女性
私は 9 年前に U ターンしました。何か活気が無い様に思われます。・新幹線越前たけふ駅前整備について、企業誘致ばかりでは活気はないと思う。アウトレットモール等若者が集まるまちづくり。	70 歳代	男性
私の年代で思うこととしては、当市が都会の真似をする必要はないと思うが、都会（県外）に憧れを感じてしまうこととして、県外には当たり前にあるようなイオンモール、コストコなどのショッピング環境でしょうか。県外の人から嘲笑的に言われることも少なくありません。そういった商業施設の誘致が進めば、若者世帯や県外からの移住者が増え、子供が成人して一時的に県外へ出ていったとしても、U ターンで戻ってくる割合も増えるのではないのでしょうか。結果、恒常的な当市の発展にもつながると感じます。	40 歳代	男性
私達は 3 世代同居をしています。今までの住居の考え方がまるで替わってしまった様です。昔のようには申しませんが年寄の事、若者の事を近代の考え方に合わせるのも必要だとは思いますが、老若男女良い所を取り入れながら老後は穏やかに過ごしたいものです。	70 歳代	男性
若者の流出を止めて U ターン I ターンを推進してほしい。そのためには就職先の地元企業への支援をお願いしたい。中小企業への補助金など大企業、一人勝ちを防ぐようお願いします。	50 歳代	女性
若者と高齢者で異なる価値観を市が何らかの方向に導いてほしい。	30 歳代	男性
若者達が定住したいと思えるように、やはりイオンなど商業施設やラウンド 1 など家族で楽しめる施設を誘致し、ショッピング後に越前市のグルメや伝統工芸に触れるなど見たり、食べたり体験できるようにしてほしい。若者がいつも遊びに行くところがない、買い物するところがないとなげいています。他の市や町が成功している例をとって観光客を増やしていけると良いです。「インスタを使う」	40 歳代	女性
若者達が活躍できる発想の新しいまちづくりが必要。今のカチカチ頭では難しい。仁愛大学などと連携した街づくりが必要で U ターンできる程度の拡充をしてほしい。	50 歳代	男性
若者が定住し、活気ある魅力的な市を願うばかりです。	70 歳代	女性

若者が集まる街作り	50 歳代	男性
若い人も老人も楽しめる地域作りを！	40 歳代	男性
若い人の意見を大事にしていって欲しい。	60 歳代	男性
若い人の意見を聞き尊重してほしい。意見を言いにくい所がある。	70 歳代	女性
若い人にとってもっと大々的な魅力的な場所(SCや観光施設)を作り、定住を図り賑やかで住みよいまちづくりを目指すと思う。	40 歳代	女性
若い人達に負担のかからない町づくりができればいいなと思います。	50 歳代	男性
若い人達が定住できるように、住環境や働く環境をよくしてほしい。3世代がもっと交流できるイベントや地域活動などを増やすと活気が出て良いと思います。	50 歳代	女性
若い人が越前市に住み着いて地域全体が活気のある町にしてほしい。	60 歳代	女性
老人も若者も芸術や音楽に親しめる町にする。	50 歳代	女性
レジャー施設、温泉施設など若年層が集まるような施設を作る。	20 歳代	女性
若者が気に入るブランド店の揃ったショッピングモールを誘致する。	20 歳代	女性
孫たち若者が安心して生活できる環境を望みます。移住者、外国人との共生。人口が増えて街が活性化され、歴史、文化、自然を活かした地域の営みを健康に過ごせる様なまちになってほしい。	60 歳代	女性
北陸新幹線が開通し、新しい産業が今以上に発展する。又、伝統ある工業や教育の場を作り、若い人達の住み良い、他の地域が羨むような若者達のあこがれる町にほしい。	70 歳代	男性
働く場はあるが生活面でもう少し活気のある町にして、若者が住みたくなるようにしてほしい。	70 歳代	男性
年を取りすぎているので、先の事はあまり期待していないが若者に期待している。	70 歳代	女性
若者が定住する魅力あるまち、生涯を通じて健康に過ごすことができるまち、新幹線駅を中心に賑わいのあるまちを中心に、発展を望む	80 歳代	男性
伝統を守ることも重要ですが、若者にとって住みたいと感じる町づくりしないと若者がどんどん都会へ移住してしまうと思います。	40 歳代	女性
超高齢化社会に対応したまちづくりを早急に着手すること。若者や外国人からの定住者を呼び込み、活気あるまちづくりを進める。	60 歳代	女性
地域の子供達が誇りに思えるような(定住・継承・Iターン)今後の越前市の町並み、イベント、産業に期待しています。行政の固定観念の打破が必要。	40 歳代	男性

想像したくないが、20年後は団塊世代の人々、私を含め人口も減少していることだろう。結果、空き家、空き地、耕作放棄地も多くなり、その対策が現実の物となるだろう。インフラも老化、車も少なくなり、電車、新幹線も空席が目立ち赤字化する。税収もままならず、未来は暗い現実が待っている事だと確信しています。人口増が一番必要な時代にしなければ未来はない。(全国的に)	70歳代	男性
全国有数の自治体となることを目指さなければ、有能な人材は故郷に戻れない。	60歳代	男性
生活環境と生活習慣の良い所は若い世代・子供に大切にしてほしい。	70歳代	女性
人口を増やすこと。	70歳代	男性
人口増加、子供達の住みやすい町づくり	70歳代	男性
人口推移を見据えた対策・対応	60歳代	
人口減少への対応、情報発信への工夫。町を知ってもらおう事、関心を持ってもらう事にどんな事ができるのか、メディアやSNSなど使用できるものはもっと使用する。	40歳代	男性
人口減少と高齢化の中でも、成り立っていける行政活動。これまでインフラを維持して大変な思いをするのではなく、少しずつ昔に戻るようになってでも不便さを代替えできる整備をしてほしい。	50歳代	男性
人口が減っていき、空き家・売家が目立つように思える。結婚もせず、子供も少ない。市あげての婚活ミーティングを企画してやってほしい。(人物保証付きで)+メリットが出るように仕掛ける。人口維持できるように政策を考えて下さい。	60歳代	男性
人口が増え、子供達の笑い声が聞かれるまちに！	70歳代	女性
人口が減少すると思うので、バランスの良いまちづくりを作る。	70歳代	女性
人口が減少しない政策を増やすべき	60歳代	男性
出会い、結婚、出産の支援(特に出会い)	30歳代	男性
人口10万人のコンパクトシティ。芸術・文化・スポーツ・福祉を求めて、全国から人々が集まる。食料等の自給の確保。教育の充実。	70歳代	男性
少子高齢化に対応できる行政になってほしい。子供は宝です。少子化では日本もほろびる。	70歳代	男性
少子高齢化が進んでいると思うので、それを視野に入れて考えてほしい。	40歳代	男性
少子化に拍車がかからない事を願っております。	70歳代	女性
少子化に対して応援のできる地域であって欲しい。	70歳代	男性
少子化(人口減)へ向けた新たな取り組みを先進的に行う。	10歳代	女性
人口を増やす。	70歳代	男性

市の人口を最低 10 万人位の町になると良い。	80 歳代	男性
時代を造るのは常に若い人。社会と共に変化できる人間でいたい。	40 歳代	女性
この地は、自然・家族に恵まれ子育てには良い環境です。まずは人口が増えなければ、世の中が回りません。健康で働き税収を増やし、安心して暮らせる市に……。街から子供の声が聞こえません。	70 歳代	男性
子供や若者が多く住んでいるまちにしてほしいが、老人をのけ者にしないまちにして下さい。一人暮らしの人も多くなっています。	80 歳代	女性
高齢化、少子化共に対応する施策を充実して欲しい。特に健康維持を図る簡単なもの（箱物ではなく）を考慮すべし。若い人々が生活しやすいことを考えて欲しい（育児等に対する補助）。	40 歳代	女性
現在の子ども→20 年後は大人！！若者に魅力ある街づくりをしないと……。高齢者ばかりになってしまうと思う。専門学校の誘致。明るく楽しい気持ちになれる店を作る、など若者が定住したくなる越前市にしてください。	60 歳代	女性
県外へ進学した若者が戻ってきたいと思えることに取組んで頂きたい。子供（幼、小、中）の支援はもちろんだが、若者が離れていくのでは意味なし。	40 歳代	女性
結婚の援助、子供を産みやすい環境作り、扶助、高齢者と若者の繋がり作り。	40 歳代	女性
観光客が増えることは良い事ですが、職場が増えて人口が増えることはもっと大切です。	80 歳代	男性
越前市は住環境、就労の場、地価が大都市に比較して安価であり、広い住居が求められます。地域の特性である 3 世代同居を推進することが、人口減少から増加を目標とする条件が整った地域であると思います。出生率の増加を目標とした総合計画を望みます。	70 歳代	男性
越前市の人口が増えるように考えてほしい。子供の出生を増やすために何か補助を。県外、市外からの移住者を増やす努力（古民家活用他）	60 歳代	女性
越前市の人口が 2022 年と比較し 7 掛けくらいになっているかもしれませんが、現在県内において一番外国の方も住まれている人数が多い事を良い方向へ導き、県内だけでなく、北陸 3 県内で最も国際交流が図られていて、住みやすさや豊かさなどが、最も高い都市を目指して頂きたい。そのため、新幹線開通、越前たけふ駅オープンを機に、全て高みを目指し変革させるのは良いと考えます。	50 歳代	男性
越前市からの外部への移動を防ぐ為、中学生、高校生向けの特化した対策をすることです。	70 歳代	男性

駅前やだるまちゃん広場周辺など昔に比べれば徐々に良くなっていると思います。今の流れを更に進めて、地方でも田舎くさくないまちづくりをして欲しい。将来のためには、何よりも若い人達（県内者であれ県外者であれ）が定住することが大事なので、そのための雇用、利便、魅力を考えたまちづくりをして欲しい。	70 歳代	男性
移住支援制度を充実させて農業、伝統工芸への就業を目指す。他県民に人気の地方都市を目指す。	40 歳代	男性
20年後我が子が成人した時に越前市に住みたいと思える街であってほしい。進学先であれ、子育ての場であれ、残りたいと思える魅力は何かをはっきりと明示できる要素が必要だと思います。（何となく育ったところだから、だけでなく…）	30 歳代	女性
人口を増やすことが大事だと思う。	80 歳代	無回答
若い人達が生々と生活し、働きやすい環境であってほしい。高齢者が増えているので	70 歳代	女性
若い力が発揮でき、高齢になっても何か役割を持ち、いきいきと生活が送れる街。	40 歳代	女性
人口を増やす（移民含め）	30 歳代	男性
ムーンショット目標に対する整備	30 歳代	男性
人口減少、過疎化に対する対策を	60 歳代	男性

④ブランド・観光・文化	年代	性別
日本、世界への情報発信、市内全域の Wi-Fi、外国語（英語）案内表記、新たなグルメ素材・食文化の開発が重要と考えます。	20 歳代	男性
新幹線に気を取られて、他の事をおろそかにして欲しくない。今ある文化も大事にもっと PR すべき。いい物あるのに生かしてない。	40 歳代	男性
市内の古い町並みの保存並びに伝統行事の継承	60 歳代	女性
日本 or 世界に誇れる観光地、観光施設の建設。越前そば日本一を目指す →消費日本一	50 歳代	男性
今の打刃物、和紙、グルメでは新幹線の利点はいかせない。新幹線がなくても良いもっと人を呼べるレジャー施設の誘致を行うべき。	50 歳代	男性
宝物満載の町ですので、若い柔軟な頭脳と精神でフレッシュなアイデアが出現するとことだと信じています。素晴らし環境で生活できることを日々感謝し、過ごし、ゆっくりと発展していったら良いかと存じます。	50 歳代	女性
良い物（産業、文化、お店等）がたくさんあるのに宣伝するのが苦手なので、上手くアピール出来ると良いなと思います。	50 歳代	女性

若い人達が伝統工芸に興味を持てる魅力的なサポートをする。高齢者から若者へ歴史や文化・技術などの伝承を、今のうちから20年後の為に早く機会を作るべきだ。越前市の魅力をどんどん全国に配信する若い人の力を借りる。	90歳以上	女性
老人でも住みやすい市、地域の観光地資源の整備	60歳代	男性
歴史文化地域の宝を掘り起こして下さい。	60歳代	男性
歴史と伝統を重んじながら新しい文化創生を図る。	60歳代	女性
歴史、文化、自然などの宝のある街。その雰囲気を守るため、景観を守る対策が必要。街の景観がまちのアイデンティティに繋がる。	40歳代	男性
良いものは残していく。そのためには人材の育成が大切と思われる。報恩講や精進料理など、SDGSに近い料理が各地域にあるので、それを売りにして集客する。	50歳代	女性
魅力ある越前市（今の越前市は観光も遊び場もない。大型アミューズメントやショッピングモールもない。休みの日に家族と行きたい所は越前市にはない。）	40歳代	男性
南中山地区に住んでいて観光とか何もない。観光名所（東京タワーみたいな）を作ってほしい。南中山地区の活性化になると思う。	50歳代	男性
古き良き伝統と新しい環境の融合	40歳代	女性
古き時代の建造物や景観を重用した、中途半端でない都市づくり。どこにでもあるようなものまねや、箱物はいらなくて、作ったのであれば維持にお金をかけて守っていききたい。運営にはデジタル化は必要。	60歳代	女性
古い建物や歴史ある文化、おいしいそばやグルメがあるので全国から遊びに来てほしい。	70歳代	女性
何においても、集中特化し、内外に向けアピールする事。越前市に行ってみたくて思ってもらえる町にして欲しいです。	60歳代	男性
伝統を受け継ぎつつ、新しい文化も取り入れる事が必要である。そのために、「越前たけふ駅」周辺に商業施設を設置したらよい。子供も高齢者も住みやすい町にすべきである。	20歳代	女性
伝統文化の継続、他府県との交流と連携、外国人の理解と交流、若者が定着できるような工夫。老人が安心して暮らせるような工夫。	70歳代	女性
伝統の良さを発信する。新幹線開通を機会に、全国の人にも情報発信していく。	60歳代	女性
伝統、文化、自然等を常に意識して行政諸施策を推進すべきである。	70歳代	男性
寺社、仏閣が多いので歴史的なものを活かした観光産業に期待。お寺巡りに御朱印集め、村国山桜公園など、和紙、打刃物、指物コラボ。	60歳代	女性
他県にない物を作ってほしい。	60歳代	男性

新幹線の誘致が決まり開発が進んでいるので地域の人も利用し易く、また他の地域からの観光客が楽しめる施設があると良い。あとは子育てしやすい環境を整え、若者が増えるきっかけを作るべき。	30 歳代	男性
鯖江市の西山公園の桜、つつじ、芝桜は見事なものです。越前市のだるまちゃん広場はかなり劣る。ただ子供達には絶大な人気です。大人には万葉の里や式部公園、その横の藤棚の公園をととても良い素材があるのにバラバラに点在している。アピール力も低いので残念ながら人出が少ない。菊人形を盛り立てるなら全てを一つにまとめるような大胆な改革をしてほしい。季節ごとに咲く花と楽しめるイベントに自然と人々が集まってくると思う。このままでは宝の持ち腐れです。越前市には遊びに行く所がないので。	70 歳代	女性
交流人口を増やすための魅力ある観光施設などの充実（近隣自治体との連携を含め）。	70 歳代	男性
郊外に大型レジャー施設か何か、街中には昔あったような水路や並木の整備。ほかにも同じようなことをしている市町はありますが、何もしないでどこにでもある街では何も起こらない。「蔵のまち」をもっと広げて、地元の人が集まる場所をたくさん作るとよい。	50 歳代	女性
グルメに力を入れて頂きたい。	20 歳代	男性
観光に力を入れるために、市内交通を整備するのはいいことで、是非そうすべきだと思います。市民にとって利便性が増すからです。一方で現在のような状況を見ると、観光に地域の経済が依存するのは問題で、新型コロナウイルス感染拡大による客減少の影響の他にも、オーバーツーリズムと呼ばれるような問題もありえます。あくまでも地域は、農林業と製造業を主に自立すべきと思います。	50 歳代	男性
観光客数を増やせる魅力ある越前市のまちづくりは、新幹線の越前たけふ駅周辺エリアの開発にかかっていると思います。大型商業施設の誘致をはじめ、人が集まる新しい観光スポットになってほしい。	60 歳代	男性
越前市は遠くから観覧車が見えて、あそこが中央公園とすぐにわかったのに、今はわからないのがさみしいです。メインとなる背の高い何かしてほしいです。花火大会やってほしいです。	60 歳代	女性
越前市の魅力ある所を越前市民が知らない。魅力ある所を市民へアピールする。発信する機会を作る。その地域の人に何か活動してもらおう（補助を出す）。	60 歳代	男性
越前市にはテーマパークのように、コレがあるから市外や県外の人々が来てくれる観光施設を設けることで、たくさんの人や若者の雇用も増えて、活気の良いまちになると思います。	40 歳代	男性



越前市で遊べるようなおしゃれなお店が増え、シャッター街だった商店街が少しずつ活性化している。ただ、駅周辺に日中無料駐車場がないため散策しづらい。20年後にはシャッターがすべて開いている賑やかな越前市を見てみたい。新幹線駅近くに「IKEA」ができればいいと思う。理由は、近隣の県にまだ出店がないため、誘致できれば近隣の市町村及び他県からの集客が見込めそうだから。	20 歳代	女性
越前海岸はとても綺麗でカニも美味しい。山も近く、雪もありスキーなどの楽しむことができる。中部縦貫道路や新幹線が出来て、長野や関東も近くなり、多くの人に良さや美しい自然を PR できる。	50 歳代	男性
今生まれる子供達が、ずっと住み続けたい、誇りに思うまちづくりを希望します。	20 歳代	女性
田舎を全面に出し PR したら。	60 歳代	女性
行きたくなるまち、期待を裏切らないまち。	60 歳代	女性
お寺には市の歴史が詰まっている。最大限活用し、市外からの人を呼び込むべき（お寺の協力が必要）。	80 歳代	男性
紫式部が住んだ街であることをもっとアピールする。(池上遼一生家跡の看板を池上遼一氏に変更)(武生柳町中通りに越前打刃物工場跡の看板を設置する)(旧北陸道の越前打刃物問屋の現存している看板が無くならないように越前市も尽力してほしい)、国府(国庁や国司館など)に関しての発掘調査をもっと積極的にしてほしい。	60 歳代	男性
地域の宝などの保存及び継承していく取組み	70 歳代	男性
日本海側最大の大観覧車を作る。越前市そのものを楽しめる場所に変えていく。県外から来た客に満足してもらえるよう県外のおいしいお店の味を研究し、その味を越前市に広める。	60 歳代	男性
「他の市にはない個性ある市」、例えば自給自足とか、誰も目を向けられないようなことに注力することは大切だと思います。	60 歳代	女性

⑤越前たけふ駅周辺まちづくり	年代	性別
北陸新幹線周辺の活性化	50 歳代	女性
北陸新幹線駅周辺の活性化	60 歳代	女性
武生駅を中心としたまちづくりはもはや意味がありません。交通網は不十分、地権の問題などハードルが多すぎます。新幹線駅のすぐ近くに、エルパよりも大きいモールなどができれば、武生駅-新幹線駅の直通道路の整備と周辺開発で、少しは人口流出が止まると思います。東京でいえば大手町と新宿・渋谷のように、商業の核地域を武生駅以外に作っていく発想がないと、先細りの一方だと思います。	40 歳代	男性
新幹線の駅を中心とし、若い家族が一日遊べるような施設が増えるといい。	40 歳代	女性

新幹線の駅をあんな所にしてしまっどどのような街づくりを考えているのかまったく見えない。このようなアンケートの回答方法が手書きしかないのも時代遅れ、web でやったらいいのに。	40 歳代	女性
新幹線の駅前にイオンを建てるべきだと思います。	50 歳代	男性
新幹線越前たけふ駅—岐阜—名古屋—中部空港	80 歳代	男性
新幹線新駅周辺の環境を整えて、文化的な素晴らしい駅周りになってほしい。	80 歳代	女性
新幹線が通る事により周辺が活性化する事は予想出来るが、その反面市内や西側が不活化してしまうので、中央公園を中心にだるまちゃん広場の様に遊べる場所、大人も楽しめるエリアを広げたら良いと思う。	50 歳代	男性
新幹線が来て、市全体が活性化できることを期待します。	70 歳代	男性
新幹線駅を中心とした賑わいを早急に作るべき。日野山は駅から歩いて行ける。登山道を整備すべき。「日野山トレイル」、①日野山→杣山（そま山荘）、②日野山→万葉の里、③日野山→冠荘（池田）	50 歳代	男性
新幹線駅の駐車場は足りていますか。利用者を増やす為にも、格安で利用できる駐車場整備をお願いします。観光客の為のレンタカーショップや道の駅を併設して、新幹線に乗る人も乗らない人も便利で楽しめる地域にしてほしい。	60 歳代	女性
新幹線駅周辺の整備に伴い、人が集まるために駅前にショッピングモールやイベント会場等が出来ればと思う。駅から市内やイベント会場へのアクセスの充実。	50 歳代	男性
新幹線駅周辺の活性化と、既存の武生駅とのアクセスを良くしてほしい。	50 歳代	男性
新幹線駅完成に向けて、若者や子育て世代がより楽しく安心して定住できるまちづくりを推進すべきだと思う。新幹線駅周辺にイオンやアウトレットを誘致できるよう頑張りたい。	30 歳代	女性
残念ながら「まちなか」は日本中どこもシャッター街になる時代。郊外型繁栄を重視すべきと考える。新幹線「越前たけふ駅」へのアクセスが重要。	60 歳代	男性
今後、新幹線の駅周辺に街路樹を植えるにあたり、20 年後を見据えて適切な木の選定を行って頂きたいと思います。	70 歳代	男性
主に新幹線着駅について:越前たけふ駅周辺への商業施設の誘致を行い、局地的にでも活気あふれる場所を作るべきだと思う。イオンモールすら無いことが恥ずかしい。駅から直通の大型商業施設位あっても良い。	20 歳代	男性
越前たけふ駅を中心とした市街地をつくり、様々な商業・娯楽施設の誘致、土地開発による住宅地の設置。越前市街と並ぶ二大市街地をつくる。	20 歳代	男性
越前たけふ駅前にプロスポーツ誘致	30 歳代	男性
越前たけふ駅にイベント広場、ミニコンサートのできる場を設けては！	70 歳代	男性

越前たけふ駅周辺整備をしっかりとしてほしい。	40 歳代	男性
越前市を活性化するには、新幹線駅周辺の活性化を早急に進めるべきです。新たな地域を開拓し、地域外からの文化や人材を受け入れないと未来がない。	50 歳代	男性
新しく新幹線の駅ができると賑やかな町になっていくのだろう。今、夜になると蛙の鳴き声が聞こえる。自然豊かで空気おいしい故郷が好きなので（文化や伝統を大切に）慎重に開発して行って欲しいと思います。	20 歳代	女性
JR 武生駅と新幹線駅が離れすぎ、誰も使えない。	40 歳代	男性
北陸新幹線を中心とした町づくり	60 歳代	女性
新幹線の駅と高速道路が横にあるという利便性を生かした街づくり、・サンドームイベント（ライブ等）を利用した越前市 PR、・体験型道の駅を新幹線の駅に建設（打刃物、和紙、漆器、焼物）	80 歳代	男性
2024 年に完成する越前たけふ駅周辺の活性化。	70 歳代	男性

⑥賑わい	年代	性別
武生駅近くを本格的に再開発するべきだと思います。閉まっている店が多く、行く気が起きない。町と村国山等の自然を合わせて楽しめるように開発してほしい。	40 歳代	女性
中心市街地活性化推進には、いつも違和感を感じています。市全体の活性化なくして、市の発展はないと思います。17 地区が個性豊かに自立自転する事で、市民一人一人が生き甲斐を感じ、心豊かに生活できる越前市を！	70 歳代	女性
街中の空き地・空き家の有効活用。美しい街、住んで楽しい街、子供の多い活気ある街。	70 歳代	男性
街中が寂れていくので、路上駐車できるゾーンなどを作り、簡単に店舗に立ち寄れるようにしてほしい。そのためには、道路整備が不可欠。	60 歳代	女性
日野川を境に北陸新幹線の開通に伴う東部地区と、旧市街地との二極化は避けたくて、特色ある地区の形成と流通（相互）を図って貰いたい。	80 歳代	男性
武生駅周辺の開発	40 歳代	男性
全体的に保守的で、女性の活躍に場が少ない。中心市街地が寂れ、買い物不便。	70 歳代	男性
越前市の中央公園周辺は、とても整備されてきているが、利用者が限定的に感じる面もある。1 拠点に集中するのではなく、市全体としてエリアを充実させてインフラ面等の拡充も考慮しながら、市全体を盛り上げる策を考えてほしい。	50 歳代	男性

駅前の活性化（せっかく整備して美しい景観になりつつあるのにもったいない気がします。総社など歴史的な建物をもっとアピールしてはどうかと思う。）	40 歳代	女性
近い将来電気自動車が普及すれば中心市街地等の駐車場が必要となる。木造老朽化の建物は特例な条例でもって有利に取り壊しができるようにしたらよい。	60 歳代	男性
良い所はあるが場所が離れていて交通の便もよくない。周遊バスなどがあると良い。	50 歳代	女性
昔のように旧市内に人が集まってくる街になるといい。今は死んでいる街になった。大野朝市のようなものも無くなった。商店街もなし。	80 歳代	女性
人が集まる町づくりをしてほしい。	60 歳代	男性
人が集まり住みたい町に。空き家を活用する。町おこし、祭りなどで盛り上げる。動物園などがあって自然体験もできる施設。ショッピングモール（イオンタウン、イオンモール）	40 歳代	女性
動物と触れ合う場所が欲しいです。	20 歳代	女性
中央公園付近が以前よりもぎやかになったと感じるので、このまま続けてもらいたい。	30 歳代	女性
武生駅前を活性化してほしい。例えば、書店や休憩スペース（夜遅くまで滞在可能）を作るなど。	20 歳代	男性
活気ある街作りを	50 歳代	男性
越前市での生活で何が楽しいのか？食べて寝る、起きて働く。それだけの街になっていないか？精神的なうるおいが必要。家族や友人同士で楽しめる施設がほしい。アウトドア→キャンプ、BBQ、ランニング、トレッキング、広場など。インドア→体験型施設（陶芸、絵画など）文化サークル等。	50 歳代	男性
菊人形へのシャトルバス以外に、電気自動車の幌馬車を使って、ゆっくりと市内の魅力ある場所を回ってから会場に行ってもらう（10 年ほど前から提案している）。	60 歳代	男性
菊人形時シャトルバスも良いが、武生駅から会場までの間、商店に立寄れる魅力ある商店街の形成。	80 歳代	男性
今となっては大変貴重な文化財である菊人形は大事にしてほしいです。	40 歳代	男性

⑦環境・エネルギー	年代	性別
本アンケートはSDGs視点の設問が少ない印象。人々が豊かで自然環境との両立が求められますが、コウノトリだけ見ても取組みが点にしかなくなっておらず、農政とも不整合（農薬散布時期や範囲）です。そのため目指すビジョンを掲げ、市民参加で取り組むとよい。	50歳代	男性
電気自動車の充電施設の設置	40歳代	男性
自然を大切に	70歳代	女性
ゴミの出し方は第何曜日ではなく何日とはっきりと書いてほしい。	70歳代	女性
これからの時代、エネルギーは電磁力、磁気力、それに伴う研究都市づくりなどに力を注ぐべきだと思う。今後、10年20年で世界は大きく発展するだろう。それについて行けない都市は取り残される。	70歳代	男性
環境を考えたまちづくり、子どもたちの遊び場を増やして、地域の人たちの交流する場を増やしてほしい。	40歳代	男性
エネルギー問題が最大のテーマ。原子力発電は必要。	70歳代	男性
温暖化に適したまちづくり	30歳代	男性
美しいきれいなまちを目指して欲しい！（不法投棄が散見されます。特に日野川沿い、巡回されてはどうか）	50歳代	男性
多少コストが掛かってもエネルギー、食品、木材の地産地消	50歳代	男性
温暖化対策の実施	70歳代	男性

⑧労働	年代	性別
働く場は多く…副業・時間に自由がある。	40歳代	女性
働きやすい環境の充実	70歳代	女性
働きやすい、暮らしやすいまち	40歳代	女性
職場の確保は大事です。	50歳代	男性
きれいな町づくり。地場産業が発展して若い人達が就職しやすい街にして、教育や子育てを応援できる町にしてほしい。	70歳代	女性
今、就職しようと思っても近くで良い会社の中々ありません。給料も多くもらえない。私も前に働いた縫製会社は、よくはしてくださったが2~3か月で首になってからは父母のすねかじり。病院にも入院していました。今は二つの年金で生活しています。今後、もっと会社や働ける産業、お店、仕事がある町にしてほしい。仕事も気持ち良くでき給料も多く頂けると家庭も裕福になる。町をきれいにし、真面目な生活をする。長生きもできるようにしてほしい。	70歳代	女性
ストレスの少ない、効率の良い働き方を進める（家族との時間が増え、子育て環境がよくなる）。	30歳代	男性
仕事があふれるまちに！	70歳代	女性

⑨健康・福祉	年代	性別
永く生きられるような市民も健康意識の向上。健康診断、その他（職場で受ける機会がない。（集国会場で 500 円で受けられるのはいいと思います。）	30 歳代	女性
後期高齢者が増加する一方、健康で長生きできるようなまちづくり。	70 歳代	男性
健康に怠けず、自助努力で毎日を乗り切り、他者に気をつかい、ふれあいを大事にしていきたい。	60 歳代	女性
健康で長生き出来たらいいですね。	60 歳代	女性
医療施設の不安を覚える（充実感がない）。総合病院の建設を。	70 歳代	男性
産婦人科が少ないので、産院を選べず「もう一人産みたい」という気持ちになりません。お産の時に世話になる病院がいい場所だったかどうかも出産意欲に大きく影響します。自分の身体を預ける場所にもっと選択肢がほしいです。	30 歳代	女性
高度医療を提供する公的病院、安心して出産できる病院が必要。	60 歳代	男性
若年よりの健康づくり。	80 歳代	男性
福井県内の他市町村と比較すると、子供を持つことに対するサポートは充実していると思うが、他県・海外に比べると不妊治療や計画無痛分娩を行っている病院が一軒もないのは本当に時代遅れだと思う。すぐに改善してほしい。外国人も多いのにありえない。	30 歳代	女性
子供の急患センター作ってほしいです。	30 歳代	女性
障害を抱える人、高齢者が排除されず地域で暮らせるまち。	40 歳代	女性
小さい頃から、孫が生まれるまでの自分は地域というものを余り考えた事もなかったし、ただひたすら生活に追われていた気がします。でも孫が生まれ、2 人共が障害者であるとわかってから色々と勉強（自分なりに）もしてきたつもりです。地域の人達は他の人達に無関心でその点は干渉されていない気がするので、その方が楽な気がします。反面、将来の事（孫達の事が一番不安に感じます。障害者の勤務先が少ない。お給料が低い。生活をやっていける様に育てていく（地域と親と周り）のが少し心配でもあります。	70 歳代	女性
障害のある人への、障害のある子を持つ親へのサポート、支援、相談出来る場所、働き、1 人で生活出来る機会をたくさん作り、周囲への理解を深めるような講座やパンフレット配布を作成してほしい。また障害者に対する理解への教育にも力を入れてほしい。	30 歳代	女性
障害のある人の居場所がない。（肢体ではなく知的障害）人々の理解が少ない。南越特支が災害時避難場所になっていない。（福祉避難所）とは、なれない場所が苦手な障害のある人とその家族は避難場所に行けないということになる。つまり、支援物資も届かず命の危険にすぐさらされるということになる。	40 歳代	男性

自閉など障害のある人の支援を充実してほしい。給与格差も見直せるといい。単純作業だけではなく、本人の特性を生かすことにより、健常者以上に能力を発揮出来ると思し、その様なシステムを構築してほしい。	50 歳代	男性
母子父子家庭の手当も良いが核家族でも親のどちらかが身体的不良・病気等である場合その家族にも手当があればいい。	50 歳代	女性
精神、身体、金銭的に困った時、どこへ相談したらよいか分かると助かる。	30 歳代	女性
障がい者、子供にやさしい町づくりが必要。	20 歳代	女性
コンパクトな町づくりで赤ちゃんから老人までが安全安心に暮らせるようにしたい。	70 歳代	女性
子供がいない夫婦や独身の人が、生涯お金や生活の面で安心して暮らせる制度（または施設）を作って欲しい。	30 歳代	女性
裏道を車椅子でも通れる様にしてほしい	80 歳代	女性
健康長寿をのばす取り組み、山の整備	30 歳代	男性

⑩子育て	年代	性別
新幹線駅付近の整備。子育てしやすいまちづくりを進めて欲しい。駅周辺に子供達が楽しめる場を作ると良いと思う。子育て支援に関する国の政策では年収による格差が大きいと思う。子育ての支援が充実すれば、若い人が定住化すると思う。	30 歳代	女性
私は現在、子育てをしています。「首がすわっていない子でも使えるチャイルドシート型の買物カート」をどのスーパーにも置いて欲しい。子育てしやすい環境をつくることで、これからの越前市が明るくなると思います。	20 歳代	女性
やはり少子高齢化なので、子供を産み育てやすい環境が良いと思う。産みたいと思うようになるには、明石市のように子育てに対する制度をもっともっと充実して欲しいと思います。	40 歳代	男性
ここ数年コロナのおかげで活性化が沈黙している気がしますが、子供が元気に育っていける環境をもっと多くしたらにぎやかになるかも。	50 歳代	男性
福井市中心部から転居してきて感じることは、子育てしやすく、暖かい雰囲気がある。ただ、商業施設が少なく、買い物や飲食はほとんど福井市へ行く。越前市から近隣市町へは出かける人も多いと思うが、逆に越前市へ来るといのは少ないように思う。だるまちゃん広場、でんぐちゃん広場のような素敵な場所があるので、もっと若い世代が興味を持てるような施設が増えるといい。越前たけふ駅周辺の開発に期待している。	30 歳代	女性

働き手を増やすことばかりでなく、もっと幼い時期にしっかり子育てできる環境を作ってあげたい。育児休暇を1年と言わず3年くらいみんなが取得できるように、行政が考え、企業に働きかけ、しっかり家庭での子育てを優先させ、また家庭へのサポートもできるような体制を願う。核家族が増えた分、もっと地域との連携も必要だと思う。	50歳代	女性
子供を大事にし、よりよく育ていける越前市。個々の子供（すぐれた子も障害のある子も）が活躍できる仕事場があってほしい。そのために子育てしやすい環境、制度が必要。子育て中の親が働きやすい環境、支援制度の充実、職場がたくさんあってほしい。	30歳代	女性
子供や孫達が不便を感じず、生活出来る様な環境。若い人達が老いた時の事を考えて不安にならない様な地域（地区）にしてほしい。若い人達が自慢を出来るような地域ですね。	70歳代	女性
子ども達や孫たちが安心して住める町であってほしい。私も20年後には82歳になっており、運転免許を返却しても病院や買い物に行けるコミュニティバスの充実や、年金だけでも明るく生活して行けるように願っています。	60歳代	女性
子供達が保育園へ入れないとか児童館有料。親も仕事ができない。お金がないと心がやみます。子供にも影響します。もっと穏やかにいさせてあげたい。	40歳代	女性
子供達が元気一杯、健やかに育つ環境であって欲しい。働く場所があり、生き生きと生活できるよう、行政その他の機関が努力を惜しまない。越前市民が生き生きと活動する地域であって欲しい。	70歳代	女性
子供達が安心・安全で暮らせる平和な町づくり	30歳代	男性
子供達が遊んだり、お年寄りが散歩を気軽に出来るような大きな公園を作って、交流の場となるような場所があると助かります。	30歳代	女性
子供達、また将来車に乗れなくなった時のために、バスをもっと増やして欲しい。	40歳代	女性
子どもがゆるキャラに愛着を持ち、大きくなってから市外で市の事を説明する時に活用してもらいたいと思う。きくりんはかわいいと思うが、人によってあざとくて嫌と言う人もいたので、劇画風や擬人化風などのバリエーション作るとどうですか。	30歳代	女性
子供が遊べる場所（室内）が欲しい	70歳代	女性
子育て支援、教育支援の充実で人口が増える町づくりを！	50歳代	女性
子育て環境が充実していたり、高齢者が安心して暮らすことができたり、様々な年代の人が住みやすいと思えるまちになるとよい。越前市に住みたいと思えるような生活環境や雇用の整備があるとよい。	20歳代	女性
子育てが充実し、若者がすみやすいまちづくり。雇用促進、出産、育児手当の増加。	60歳代	女性



コウノトリが運んでくれる子育て日本一の町になってほしい。	60 歳代	女性
菊人形、だるまちゃん公園や各地域の公園の補修や保全是丁寧に対応してもらえている。しかし、子育てに対する悩みや発達障害児に対する継続した支援がかけられている。子供にやさしい、すべての人が共存するという点については、保健士を増やす。幼児期から成人までの障害児の生きづらさは子供への一貫した支援施設、支援体制が必要だと思います。また、越前市には外国籍の方が増えています。その方たちに対しても子育てがしやすいように通訳を充実させた専門の部門や機関があるとよいと思います。	60 歳代	男性

⑪高齢者	年代	性別
高齢者にやさしいまち（交通の便、無料チケットなど）	40 歳代	女性
老人の数が増えるのだから、これまでの対処でいいのか？寿命も長くなっているのだから、もっと活躍できる人を活躍させる場を作るべきだ。シルバー以外にも幸せは何かを若い人達に伝えるべきだ。	70 歳代	男性
東地区は高齢者が多いので、子供向けの広場ばかりでなく、高齢者が集まって集うことができる場所があったらいいなと思います。	70 歳代	女性
誰でも高齢者になるのですから、高齢者にとって住みやすいまちづくりが一番なのではないでしょうか。このアンケートも細かく、難しいので疲れました。子供は大人になるし、外国の人も年をとるし、男も女も年とるからねー。障害者になるのです。	70 歳代	女性
高齢になって入居できる施設が越前市にはありません。家には障がい者の 40 歳の息子がいますが、コロナということもありショートステイも断られます。ここが安住の地になってほしいものです。	60 歳代	女性
高齢者でも働ける支援や環境作りを推進してほしい	50 歳代	男性
高齢者増加に対応できるまちづくり	50 歳代	男性
高齢者が増え続け、子供がますます少なくなることを考え、高齢者の為の施設（無償の物）、無料バス、買物できるバスなどが充実すると良い。地域独自のふるさと納税の様に、ふるさと年金のような仕組みをつくってはどうか？世帯年収が500万以上のところからは月1万円程度を年金として収める。	50 歳代	女性
高齢者が多く、若者が少ないのは間違いない。皆が孤独を感じず、集まる場所が常にある賑やかな場所であり続けて欲しい。	60 歳代	女性
高齢者が安心して住める町づくりにしてほしい。	70 歳代	女性
高齢者・子供が不便に暮らすことのない街づくりをして欲しい。	30 歳代	男性
高齢者（特に一人住まいの方）の共同住居地区を行政が開発し、福祉・病院・介護施設を誘致して一つの高齢者コミュニティパークを作る。（コンパクトシティの構築）	60 歳代	男性

高齢化や過疎化に伴い、限界集落が増えることが予想されます。その中で地域社会をどのように守り、支え合っていくかを考えるべき。	60 歳代	男性
高齢化に向けた交通機関整備	60 歳代	男性
高齢化と子育て世代にやさしいまちづくりに努めてほしい。	60 歳代	男性
高齢化社会を見据えた、インフラ整備の推進。	10 歳代	男性
高齢化社会の現在、車がないと移動手段がなく、困っている方が多いと思います。路線バスを越前市内に運行されているとは思いますが、1時間あたりの運行本数を4回程度に増やし、交通の利便性を活かすと思います。	40 歳代	女性
高齢化社会となるため、公共交通機関の発達。	40 歳代	女性
高齢化社会が進み、少子化になっていると思うので、今の子どもたちが幸せに生活できる地域になるようにしてほしい。	40 歳代	女性
高齢化が進む中、越前市内を車がなくても移動しやすいように公共交通機関を充実してほしい。	30 歳代	女性
高齢化が進み、少子化で人口が減っていくのではないかと思います。施設や買い物に気軽に行ける手段など、高齢者に対して重点をおいた方がよいと思います。	40 歳代	女性
後期高齢者になり、交通諸々に不安を感じています。日常の買い物もその1つです。	80 歳代	女性
介護施設を増やすべき。	20 歳代	女性
お年寄りが車を運転しなくても（免許を返納しても）不便と感じずに生活できるように、バスなど交通の便を増やす。自動運転の車など。	20 歳代	女性
越前たけふ駅前での充実。高齢者が集える町づくり	60 歳代	男性
越前市にも鯖江市にあるような「高年大学」があるといい。出来たら送迎バスで巡回して下さるといい。私は以前から鯖江市の人をうらやましく思っていた。	60 歳代	女性
今や人生100歳、77歳の自分にとって、今後も色々な分野に目や耳を傾けて、楽しい余生を送りたいと思います。よろしくお願ひします。	70 歳代	女性
今の子供達が10年後20年後に安心して就業でき、又、結婚し家庭を持ち、安心して生活できる環境が維持できる事を期待する。(市に根付けるよう)今現在65歳以上の者が元気なのに働く場所の選択が少ない。今後、さらに年金支給年齢が遅くなり金額も低くなる可能性があるため、高齢者でも就業できる場がもっと増える事を期待したい。	60 歳代	男性
安全・安心な高齢化社会	70 歳代	女性
20年後はもっと高齢者が増えているのでしょね。そんな状況を想定したまちづくりが必要ですね。	50 歳代	女性

⑫教育・文化・スポーツ	年代	性別
任せて安心頼れる人材育成ができる越前市を目指してほしい。教育の環境が充実することを望みたい。(学業だけでなく、色んな実体験を通じて人と人とのコミュニケーションのとり方など)	40 歳代	女性
プロスポーツチームが欲しい。(地域で応援できるような)	20 歳代	男性
スポーツの強い学校を作って活性化を。	70 歳代	男性
新幹線の駅を中心としたエリアに、プロスポーツを呼べる施設の建設とプロスポーツ団体の立ち上げ。	40 歳代	男性
坂口小学校の生徒数も減っており、2040 年には 0 になると思うので、坂口小学校を老人ホームとして活用してほしい。	70 歳代	女性
公民館等の施設使用が有料となり、活動がしにくく健康管理に影響しています。(コミュニティ施設には自主講座をして認めてもらうことが出来ず、やめざるを得ない)	70 歳代	女性
大虫地区には何もない！！小学校も JA もなくなったのに運動場がとれない？駐車場もない、あそこは何になるのですか？ 東の方ばかり広がるみたいで歯がゆいです。	70 歳代	女性
小中学校数 減	40 歳代	女性
文化・芸術・スポーツの施設集約・複合化	70 歳代	男性
子供達のために教育環境を整えてほしい。厳しいことも大事です。教師の質の向上を望みます。	80 歳代	女性
こども園、小学校、中学校の数をこのまま維持して欲しい。	20 歳代	女性
街中や個人が清潔を心がける。今後成長していく子供達には本当の事を教えないと、本当ではない事を覚えてしまう。文化や歴史も正しい知識で教えていけるように。	70 歳代	女性
②知識を得ることにより防犯や詐欺に対する考えを持てる(お金→投資や性について小学3年位から教育する)。	30 歳代	男性
将来の社会を担う子どもたちの育成に力を入れていく事が、とても重要だと思います。子どもたちや若者が活躍できる機会を多く設け、サポートし続けてほしいと思います。	30 歳代	女性

⑬安全・安心	年代	性別
防犯や生活に困らない社会であってほしい。	60 歳代	男性
とにかく安心・安全の町づくり	70 歳代	男性
安心安全な街づくり、特に外国人の方々との交流が重要になると考えます。生活、教育、産業、防犯、観光全てにおいて、避けて通ることはできません。	20 歳代	男性
万一のために心臓マッサージなどの救助の講習を受けたい。若い人たちにも受け易いように、どこでやっています、など発信してほしい。	30 歳代	女性
敦賀原電災害に備えて避難所の設置	70 歳代	男性

⑭公園・自然環境	年代	性別
自然を守る。	70 歳代	男性
東運動公園、白崎公園など広い敷地なのに公園の手入れがなく、閑散としている。このような公園が越前市には目立ち、残念でなりません。だるまちゃん公園は素晴らしいですが、そこだけに人が集中すると、大変混雑するので結局足が向きません。大きい公園をあちらこちらに作って、分散して盛り上げてほしいです。	30 歳代	女性
吉野瀬川の桜は素晴らしいですが、途中途切れていたり、切られてしまっているのが残念です。補充したり、植林してほしい。強く願います。	10 歳代	男性
村国山を憩の場になるように整備してほしい。	60 歳代	女性
村国山の整備（人々が散歩できるように）鯖江の西山公園のように。	60 歳代	男性
村国山の開発”他市町村から来市できる景観づくり” ”日本一となりうる町づくり”	70 歳代	男性
村国山にもっと桜の木を植えて 20 年後満開の花見ができるように、また日野川堤防にも現在の桜の木も老木となってゆくので、次世代の為に苗木を植えて行ってほしい。	70 歳代	男性
村国山など立派な山があるのにいかされていない。自然がもったいない。	70 歳代	女性
村国山周辺の整地、人の集まる場所に出来るといい。例：鯖江西山公園みたいに	70 歳代	女性
村国山から岩内山にケーブルを！	70 歳代	男性
便利になると、自然が壊れやすい。半々で考えるべきだと思う。各地・各人に意見から均等に取っていく方がいい。	60 歳代	男性
日野川沿いの桜並木を充実させ、出かけたくなるような憩いの場所をつくろう。	80 歳代	女性
人が集まれる場所（ゆっくりできる場所）大きな公園（木陰がある、トラックがありランニングができる場所）	40 歳代	女性

中央公園の雑草やゴミが目立つ。犬の糞もある。ゴミや糞を捨てっぱなしにできる雰囲気がある。芝生が雑草でたえてしまっている。残念な町である。	40 歳代	女性
近くの小さな公園がボール遊び禁止です。さみしいですね。遊べるようにしてほしいです。中央公園はきれいになりましたね。ありがとうございます。他にも遊べる大きな公園があるといいなと思います。	30 歳代	女性
白崎公園等の大きな公園が汚いので鯖江市の西山公園のような維持管理にすべきと思います。だるまちゃん広場ぐらいしかいいと思う公園がないです。(きれい)	50 歳代	男性
式部公園ですが年間を通して行事があると良い。	70 歳代	女性
市街地と新幹線駅を活性化するためには、村国山をどう活かすかが課題となる。自然環境の保全を維持しながら。	70 歳代	男性
村国山にもっと桜を植えて、昔のように花見や散歩ができるようにしてほしい。	70 歳代	男性
鯖江の西山公園のように村国山を整備して観光地化する。市内の中心を流れる日野川をもっと美しく整備（トイレと駐車場を増やす）。	50 歳代	男性
村国山の西山公園化。	40 歳代	男性
雑草の生えていない町、里山の山際まで雑草の無い美しい町	60 歳代	男性
公園や街並みに、自然の美しい景色が楽しめる未来のある市になるよう希望します。	80 歳代	女性
神山地区には公園が少ない。もしくは無い地区があるので、気軽に遊べる場が欲しい。集合できる場が欲しい。	40 歳代	女性
越前市とは言っても、武生の方はだるまちゃん広場なり、きれいに整備されている様に思いますが、今立の方は花筐公園しかり、遊具にしても私の子（40 才）が小さかった頃のままです。以前大野城に行きましたが、枯葉などほとんどなく歩く所はきれいにされていました。武生の方の公園は、きれいにされていると聞いています。武生も今立も越前市です。公平に整備してほしいと願います。	60 歳代	女性
今ある自然を無くし都市化するのではなく、自然、山や森林、田畑を残しつつまちづくりをすればいいと思う。林や木々に囲まれた場所にショッピングセンターがあってもいいと思うし、施設全ての電力を太陽光発電や風力発電で賄う地域を創っても面白いと思う。今立地区あたりにイオンモールのような大型ショッピングモールを誘致して、その屋上を緑地化したりして森林の中のショッピングモール。電力は全て太陽光発電というのを全国に発信しても良いかも。“自然を共存する街”というものをリードして発信できると良いかも。他の都市の流行の後追いはダメ!!	40 歳代	男性

アウトドアが流行しているので、オートキャンプ場・グランピングなどができる場所が増えればと思います。自然が豊かなので、きれいなキャンプ場ができれば人が集まると思います。	30 歳代	女性
安らかにおだやかな自然が守られている住環境。	60 歳代	男性
〈各地域の公園整備〉 その地域の人が憩える身近な場所に	80 歳代	女性
子供たちが安全に住める市になる様、公園に遊具の設置、緑花を植栽して欲しい。	70 歳代	女性
だるまちゃん広場に市外からも遊びに来るように、〇〇の花を見に行こうとか、家族や友人と何度でも足を運んでくれる街になるといいなと思う。	60 歳代	女性
吉野瀬川沿いの桜はとても素晴らしいと思っているので、川をもっときれいに整備してほしい。	60 歳代	女性
市内に流れる川に少し多く水を流し、ホテルが飛びかう綺麗な川にすること。	80 歳代	男性
新幹線の窓から見える山に桜の木を植える。クラウドファンディングを活用し、資金提供を受けた人に毎年成長記録を送る。いつか越前市に来てもらいその桜を見てもらう。	60 歳代	男性
村国山の整備。越前市のシンボルとなるものがなく、村国山の整備は必須であると思われる。例えば鯖江市の西山公園みたいにイベントが行われ景観が良ければ、他府県からの若者が集まり、活気あるまちづくりとなるのではいかと思われます	70 歳代	男性
北陸3県でNo.1の子供公園になるよう「だるまちゃん広場」を整備し、雑誌等のメディアに取り上げてもらうと、県内外へのアピールは強いと思います。	40 歳代	男性
自然豊かといっても人が育てなければいけないので、森林振興と河川の水質改善、水辺環境の維持、人と自然が触れ合える機会を増やしてほしい。積極的に関わらずして森や川のことを語ってはいけないと思います。	50 歳代	男性

⑮交通	年代	性別
新幹線周囲の中（無料）と、まちなかアクセスするバス。	60 歳代	男性
高齢化社会になり免許返納後に困らないように、コミュニティバスを増やす。	60 歳代	女性
融雪をもっと増やしてほしい。狭い道は特に。	30 歳代	男性
冬に雪が多い為、融雪装置を是非お願いしたい。	70 歳代	女性
1 人暮らしで車を運転できない高齢の方がもう少し移動しやすいように、交通機関が発達しているといいかと思いました。	30 歳代	女性

鉄道の本数を増やす。(快速電 30 分に 1 本) (東京行き帰りのための朝一・最終設定)	40 歳代	男性
鉄道駅から市内のいろいろな所へ行くための公共交通機関により、旅行者が便利になるように充実させて欲しい。住民にとっても便利になれば、なお良い。	40 歳代	女性
丹南を周回できる電車または自動運転車の検討が必要	60 歳代	男性
武生に行く交通手段(バス)はあると思いますが、鯖江に行く交通手段がない為不自由です。	70 歳代	女性
武生駅(福井駅)から、名古屋と大阪へ乗り換えなしで行ける快速列車を一時間に一本走らせる。新幹線駅から現在の武生駅までトンネルと高架線で直接結ぶ道路をつくる。そして、その間を 20 分に一車、無料バスで行き来きできる様にする。	60 歳代	男性
新幹線新駅と在来線できとの有機的なつながり。脱炭素社会の推進で又脱車社会の推進で弱者でも生活できる地域社会の形成。	60 歳代	男性
新駅が開業するため、2つの駅を結ぶバスなどの二次交通を充実させ、車を運転できない若年者や高齢者の利便性を高めて欲しい。	40 歳代	男性
自動車に頼るのではなく、公共の移動手段が必要。自転車などに比重をおいてほしい。	60 歳代	男性
コミュニティバスの充実(便数、路線等)	70 歳代	男性
小廻りのできる交通網:利用者が依頼してその人数通りにバスなどを廻す。デジタル化。	80 歳代	男性
個人の車を使わなくても、楽に買い物ができるようになってほしい。バスを増やす、バス 100 円、交通の便を良く。	30 歳代	女性
小型バス(高齢者の免許証返納を良くする)や移動マーケットを増やす。	60 歳代	女性
高齢者の移動の為に公共交通整備	60 歳代	男性
交通網において、自動車道等を利用する道路と、歩いて散策できるようなまちづくり(例 金沢市)	60 歳代	男性
交通便の改善	20 歳代	女性
交通の便を良くして欲しい。	70 歳代	男性
交通の便をもっとよくする。	20 歳代	女性
交通機関の充実。いつでもどこでも車での移動手段が必要ですが、私は病気となり運転が出来なくなりました。病気の人、高齢者、1人暮らしの方々がバス、タクシー、電車などを利用しやすくしてほしい。仕事に行くにしても、公共交通機関を利用するようにすすめるなどで事故も少なくなり、住みやすい市となればありがたいです。	50 歳代	女性
交通関係の整備	60 歳代	男性

交通が便利…お年寄りは無料バスとタクシー。	40 歳代	女性
公共交通手段が（手軽に利用できる）充実すると良いと思います。	50 歳代	男性
公共交通が充実した町。高齢になっても親しくできる友達にふれ合えるまちづくりが良いと思います。	70 歳代	女性
現在車を運転し買い物や遊びに行ったりできるが、正直 20 年後も生きているとすれば、とても不自由な生活を送っているだろうと想像してしまう。これだけ車社会に浸かっているだけに、今は公共交通を使うこともないけれど、今後きっと頼りになってくると思う。歩けば良いところがいっぱい見えてくるはず。未来の移動手段とコミュニティは、私自身も考えなくてはいけないと思う。	60 歳代	女性
車を運転できない高齢者が雪の中を歩いている姿を見るとかわいそうになります。もっと何かできないでしょうか？	50 歳代	女性
車がなくても不自由しないように。どこの病院も迎え入れてくれるように。	70 歳代	男性
お買い物バスを運行してほしい（スーパー、日用品店、書店、衣料品店など）。お店を回って行くバスで市民が利用すれば、各自車を使用しなくても良くなるので、事故のリスクも減って色々な面で良いと思う。地域の人達のコミュニケーション促進にもつながると思う。	50 歳代	女性
今立地区の 100 円バスが今立町内しか回っていない。武生地区へ直接行く便が毎日あればお年寄りも都合がよいのでは？と思っています。	40 歳代	女性
今立⇄武生駅、白山地区⇄武生駅等外側から中心地への利便性向上（公共機関増など）越前たけふ駅と JR 武生駅間の利便性向上（山にトンネル等）、旧 8 号線の渋滞緩和	30 歳代	男性
移動手段が容易で平易にできる環境づくり（高齢者、障がい者等の円滑な移動を）	50 歳代	女性
粟田部の街中など、信号が多すぎる。また、信号は連携させるべきだと思う。不必要な道路のマーキングはやめてほしい。濡れると自転車が滑る。経費の無駄。	60 歳代	女性
20 年後というとは私は 70 代です。だとすれば、住みよい街で老後をごせたらいいなと思います。その頃は、無人車が走っていて、交通の便もよくなっているんだろうな。人口の少ない町には何か補助金を出して、人口増に向けた対策を考えないといけないですね。	50 歳代	女性
バスの運行を増やしてほしい。シャトルバス運行など。	50 歳代	男性
雪に強い越前市 ・交通の便	70 歳代	男性
都市の集中化 ・車がなくても生活できるような環境が整うといい	30 歳代	男性
大阪、京都に新幹線で通勤ができている。	60 歳代	男性



80歳以上の老人に免許を与えない(事故を防ぐ)。バス等の公共の移動手段を増やす(1日1本はおかしい)。	20歳代	女性
巡回バスも越前市内以外にも鯖江市に行けるルートがあるといいです。	60歳代	女性
公共交通機関がとても利用しづらい。(本数が少なすぎる、バスが大きすぎる(マイクロでいい)、市から市に繋がっていない)(遊具のようなバスの方が安全で利用しやすく目立つし、イライラしないかも)	40歳代	女性
免許を持っていない人のために、交通の便(コミュニティバス等)が良くなるといいなと思います。	50歳代	女性
100円バスも私の地区は利用無理。何回もなし、老人はバス亭まで歩けない。タクシー回数券で安くなったら良い。(病院にお世話にタクシー代が大変です)	80歳代	女性
また、運転できなくなった時に気軽に頼める交通手段があるといいと思います。	60歳代	女性
「越前たけふ」駅からのアクセスがまだ整備されていないので観光用にかわいい電気自動車をレンタルできるようにしてほしい。	70歳代	女性
移動時間の短縮を図る交通手段や道路網の整備。	70歳代	男性
その他、市の観光地へは定期タクシーというものがあれば、車のない人でも気軽に観光できるようなシステムを考えてみてはどうか。	20歳代	女性

⑩都市基盤	年代	性別
アスファルトの補修をお願いします。	50歳代	男性
武生駅前の店舗を利用するにあたって駐車場が分からない。平日なら市役所に止めて行けると思うが、休日はできないので、休日でも100円掛かっても良いので利用できたら飲食店など利用しやすくなる。	40歳代	女性
計画的な住居地区に開発・公園、河川敷等の魅力的な整備を行う。	60歳代	男性
より車社会になると思うので車道の整備、増設ができれば嬉しいです。	20歳代	男性
歩道の段差をなくして欲しい。坂道が多いので減らして欲しい。	30歳代	女性
歩行者、自転車の利用する歩道の段差を少なくしてほしい。	20歳代	男性
保育園、学校周辺の道路が非常に悪い(穴だらけ、狭すぎ)。	40歳代	女性
都市計画事業の再検討	70歳代	男性
道路の整備	60歳代	男性
統一感の無い街並みを整備した美しい街を望む。	60歳代	女性
上水道の配管が古くなっていて安心できない。	60歳代	女性
市街の道路をもっと広く通りやすくする。若者や子供が住みやすい街を作らないと越前市に未来はないと思う。	60歳代	男性

市街地にもっと樹木を増やす。街路樹には剪定をしないといけない様な木は植えないほうがよい。	70 歳代	女性
高齢化社会は益々進んでいくと思う。そこで、新幹線駅から村国山、武生市内、だるまちゃん広場、茶臼山へ歩いて行ける専用の遊歩道が完備される事を願っております。一般道は危ないので合せて自転車専用道路もあるとなおよいと思います。	70 歳代	男性
現在の武生中心にするならば、村国山トンネルで市街地と新幹線駅を結ぶべき。	60 歳代	男性
共同溝にして電柱を無くす。	70 歳代	男性
旧武生国道 8 号線（式部公園～武生トンネル）位までの景観・お店・道路整備	60 歳代	男性
旧市内の区画整理による道路問題の解決を望みます。	70 歳代	男性
区画整理・道路整備が行き届いた安全で物流が良く、自然の豊かさを失わず、災害も少ない、世代を超えた住みやすさを感じる「まち」であってほしい。	60 歳代	女性
安全運転が出来るように、もう少し道路の見通しが良くなるとありがたい。	50 歳代	女性
日野川の河川の中に「飛び石」などを置いて人が集う場所にして欲しい（京都の鴨川公園のように）。武生駅や街の中の歩道等に中央公園への道案内になるようなタイル等があると良い（かこさとしさんの「ガラスのパン屋さん」などを取り入れたカラスの足跡やだるまちゃんの絵など）。古い町並みの景観エリアを拡大してゆっくりと町街歩きができると良い。	50 歳代	女性
駐車場を増やして県外から来た人達に越前市の観光を楽しんでもらいたい。コインパーキングが少なすぎて不便。	40 歳代	女性
また、市内の道路のひび割れが目立ち観光客に悪いイメージを与えている様に感じます。日野川の河川敷を有効活用してほしい。	40 歳代	男性
三里山にトンネルが通ったらいいと考えます。	80 歳代	無回答

⑰空き家・空き地	年代	性別
全国的にもですが、空き家や空き地が目立ちます。特に空き家は淋しい気持ちになるので、良い活用法があれば良いと思います。	50 歳代	女性
市役所近辺の活性化。空き家・空テナントの賃貸も視野に入る。駐車場の整備等々。	40 歳代	男性
高齢者が多くなり、空き家も多くなってきている。鉄骨での空き家が近く（隣）にあり、借金の為に取りられたらしいが持主もわからず、何かその建物の物が落ちてきて修理しなければならなくなった時にも、自前でしなければならぬと、ある弁護士さんから聞いたことがある。桂町は武生の面影が残っている松並木があり、それを維持していこうと言われているが、景観（5 階建て）にもよくないし、何かいい方法がないものかな？…北隣の家も太陽は入らないし非常に迷惑をしています。	80 歳代	女性
近隣にすでに空き家が増えてきている。それらを解体 or 改修して市の為に活用していく仕組みづくり（市が率先してすすめなければ増えていく一方である）。空き家を緑化活用や公園、地域住民の憩いの場など休憩場にする（元気な高齢者やシルバー人材センターの活用）。このアンケートも、QR コードで読み取り、ネット上で回答できるようにペーパーレス化を進めるべきではないか？	40 歳代	男性
近所では、家の後継者がいないため空き家・廃屋が増えている。火災や事件、害獣被害が心配。今住んでいる私たちの不安を排除しないと若い人たちの流出は止められないと思う。	40 歳代	女性
20 年も経てば、高齢化する地区や空き家が増える地区が多くなる。反対に、今分譲している土地には若い人がいる。この両極端な状況をどうするのか課題である。	30 歳代	男性
土地を活用する、栄えているところをしぼる、キレイなまち	30 歳代	女性
空き家の有効活用も大切ですね。	50 歳代	女性
空き家の利活用。	40 歳代	男性
そのころには、都市や地方など関係なく、インターネットでどこでも繋がっているでしょうから、今のうちに空き家などを一か所に集め、古民家に再生して、これからの子育て世代や引退組に人達に安く住環境を整えて来てもらうなどいいと思う。近くに越前市ならではの物があれば、なおさら良いと思う。	60 歳代	女性

⑱住民・地域社会	年代	性別
仕事をやめたらボランティアをしたい。元美容師なので病の人の話を聞きながらカットをしてあげたい。	70 歳代	女性
町毎に名物を作る。山に特徴ある植物群をつくる。町内は変わった造形物をつくり町民が利用する。3世代家族のすすめ。	80 歳代	男性
高齢者や障がい者、小さな子供達が、安心安全に毎日暮らせるように、住環境を整えて欲しい。地域ごとに課題があると思うので、住民の意に沿って欲しいです。	60 歳代	女性
古い考えが根強いため、新しい事が全くできていない。	60 歳代	女性
越前市は他市に比べても保守的、現状維持な所があると思います。	30 歳代	女性
保守性が強すぎるので、変化する事はもっと大事だという価値観が市民にあってほしい。	50 歳代	男性
私は県外から嫁いできた身ですが、「知らない顔」だというだけでゴミ捨て場や散歩などでご近所さんと会って挨拶しても無視されたり、車が県外ナンバーだと良くないなど「よそ」からを受け入れる体制ができていないと思う。もっと越前市に住みたいと思って市外、県外から移住して来やすい環境を作って欲しい。	30 歳代	女性
私は3年前に他の町より転入してきたのですが、地域の方と関わる機会が少なく9-10ページの地域の方との交流などの質問はあまり実感がわきませんでした。転入者数も今後増えると思うので地域の方と関われる機会、イベントなどがあるとさらに越前市に愛着が沸き、ずっと住み続けたいまちになるのかなと思いました。	20 歳代	女性
優しい心で接し合える市になってほしい	60 歳代	女性
みんな親切で困った人がいたら、みんなで助け合える。心優しい人が多い越前市になってほしい。そうすれば、みんな生活しやすくなると思います。	80 歳代	男性
保守的な考えが強すぎると思う。20年前の越前市を知らないが、今からの20年はスピード感を持って変化していかなければ、外国人と老人だけの町になってしまう。古い考えの全てが悪いとは思わないが、未来を作っていく若い世代の意見をもっと取り入れるべきだ。	40 歳代	女性
保守的なイメージがあるので、あらゆる世代に受け入れてもらえるような改革を目指してほしい。	50 歳代	女性

自分は約 10 年前、今の住所に移ってきました。60 才半ばに住みかえた訳ですが、この地域は元々の住人の意識が強く、今になっては多少戸惑うことが多いと感じています。まわりは若い人ばかりで今後この地域としては年齢を超えた地区運営が必要ではないかと思います。そこらへんをうまくできる地区リーダーが必要ではないでしょうか。越前市の 20 年後は私としては見ることはできないと思いますが、子供もその親世代も年寄もみんなが幸福感を感じられる。豊かな街になっているといいと思います。	70 歳代	女性
各地区からの自主的な活動がさらに充実していることを期待します。もう少し、興味や関心を持ち参加する人達が多くなるような策が必要。それにもう少しお金を投入しても良いのでは。それが住みやすさの魅力に繋がる気がします。	50 歳代	男性
今は福祉関係でも役のある人、地域で見守りをする係の人が中心です。隣であっても、気になる事があっても関わると悪いような私のまわりです。高齢化してくると近くにいる人が一番分かりやすく、発見しやすいものです。隣、近所の繋がりがもっと温かくし合える社会になってほしい。	70 歳代	女性
生きることが楽しい、皆、幸せな人間になってほしい。情のある豊かな心、思いやりを持ち感謝を忘れず、心の優くなる教育をしてください。そうゆう心がない人は幸せになれません。	80 歳代	女性
家にこもりがちな人も出歩きたくなる、人と触れ合えるまちづくり。	50 歳代	女性
20 年前神奈川県から転居。まわりの越前市民の方々の人を見るものさしが小さすぎる。自分、自分の家族、仲良しの人を大事にして、他者の意見が違ふと受け入れない。自分達の意見が無いのであればまわり、日本、外国の良い所をまず吸収すべきなのでは？	60 歳代	女性
20 年後に自分は生存していないでしょうが、争いの無い住み易い、いい町になっている事を願うばかりです。今まで生きてきた人を尊敬できるような若者作り（教育）を真剣に取り組んでほしいものです。	70 歳代	女性
人間らしさをもったまちづくり。まずは SDGs の推進と実践。	60 歳代	女性
少子高齢化が進むことが考えられるので各地区の振興会や体育部、さらに町内の壮年会、自警隊等の様々な役割が一人にまかせられ負担が大きくなると思います。住みやすいまちづくりを考えるのであれば、既存のシステムや運営方法を見直して行く必要がある。しかし、高齢であればあるほど既存のシステムの変更を受け入れられない人が多くなると思うので、他県や他地域からモデルケースを紹介し、これからの社会でも実現可能な方法を周知したり、地域と対話することが必要だと思います。	60 歳代	男性
子供が安心して見知らぬ人ともあいさつできるまち。	40 歳代	女性

高齢者と子供たちが交流できるイベント	50 歳代	女性
かっこつけずに市民がより住みたいと思える町づくりでよい。地域の特性を生かす、育てるといった地道な対策でよい	70 歳代	女性
各町内の合併とコンパクト化。坂口、文室、中居などは市の中心部へ人口を集めて廃村にする。お寺、神社の統合。宗派が同じであれば一本化し、各檀家の負担軽減や町内の維持費の軽減。	50 歳代	男性
越前市に行けば何故か心（気持ち）がほっとするね、と言われるような市民・住民になってほしい。隣近所、何でも話し合える間柄、笑顔で挨拶できる市民・住民であってほしい。	80 歳代	女性
「地区の駅」を設置する。（武生市街～今立や川西山間部につながる市道に各地区民が育てた野菜・果実・手作り郷土料理等を直売する）案内マップや看板で告知する。	60 歳代	女性
子供から高齢者までの有償ボランティアを募り運営する。（世代間交流が生まれ、なにがしかの報酬を受け取ることモチベーションアップになる）	60 歳代	女性
人口が減少し、今まで通りの集落を形成していけないので集約した町づくりが必要。山間部の人や家を駅や主要道路へ移す支援をすべき。	30 歳代	男性

⑬ダイバーシティ	年代	性別
女子が地元に残りたくなるように男尊女卑の田舎を変えて欲しい。	40 歳代	男性
マイノリティの意見もしっかり聴いて判断する。	50 歳代	男性
パートナーシップ導入後、住みやすい街づくりや働く場、リラックス施設が充実しているといい。県外、市外からも遊びに来やすい田舎ならではのキャンプだったり、催しがあるといい。	40 歳代	女性
多様性を受け入れる。共生できる文化、風土づくり。	40 歳代	男性
外国人居住者が多い為、言語対応が誰でも出来る機械の設置	30 歳代	男性
ブラジル人を主とした外国人労働者にも住みやすく、働きやすい町。	60 歳代	男性
転入の際、外国人にゴミ出しマナーを守らせてください。車の運転マナーも注意してください。	60 歳代	男性
居住地域ではないが、集合住宅・団地等の乱立を目にする。災害があった時、集合住宅等の密集で即座に対応ができるのかと思う。また企業による外国人就労が多すぎる。文化や言葉が違うため、減り続ける越前市の穴埋めにならないようにしていただきたい。2005年に「越前市」が発足したが、近隣には南越前町、越前町があり非常にややこしい。是非、「武生（たけふ）」に戻していただきたい。	50 歳代	男性
外国人を受け入れる取り組みをして。日本（地域）のルールや慣習をもっときつく正確に指導すべき。	60 歳代	男性

外国人のマナーが悪い。外国の方を受け入れるのはいいが、マナーの問題等に対してももっと取り組み、昔からいる住民との関係が良好になるようにしないと人が離れていってしまう。	30 歳代	男性
外国人市民との共存社会	50 歳代	男性
外国人支援や他文化の受け入れの結構だが、この地域の生活スタイルや文化を守り、年寄が生活しやすいことが大切だと思う。	40 歳代	男性
外国人が多くなった。大声で話している。マナー（ゴミ出し）をもっと守って欲しい。	60 歳代	男性
外国人（研修生・家族）の教養、人口減少より町全体の整理、核家族が増加して、高齢者の集団住宅。	60 歳代	男性
越前市の全体人口が減少する中、外国人の人口割合は上昇していくことが予想されます。参政権も含めて日本人、外国人の差別のない町づくりが必要かと思います。	80 歳代	男性
日系ブラジル人を含め外国人も多いので彼らにも住みやすいまち	50 歳代	男性
多国籍の方とも子供だけでなく大人の交流にも、もっと良くなると思います。	40 歳代	女性

⑳行財政運営	年代	性別
紫ゆかりの館に、おしゃれな飲食店を。一度行ったら二度と行かないような、不要な公共施設を作らず、適正な財政運営を行ってください。	40 歳代	男性
まちづくりについてはよくわかりませんが、土地を売買すれば税金、建物を建てれば税金。行政にとって固定資産税はドル箱だが、一般市民にとってはコストである。某国の製造業のように労組が強く、賃金アップを求めれば企業は撤退するのは常識である。税務課を混成チームに作り進めなくては難しいのではないか。いつまでたってもお役所体質から脱却できなければ発展はしないと思う。	60 歳代	男性
日常生活の中で幸せを感じる事が大切。日本一幸福度の越前市を目指して、地に足の着いた市政と思い切った市政をバランス良く。	50 歳代	女性
何事も中途半端、年寄が集まって会議しても斬新なアイデアは浮かばない。そろそろ気が付いても良いと思うが。	60 歳代	男性
市役所の各課窓口が、市民 1 人 1 人の声を聞くべき。全てを区長任せはどうかと思う。	50 歳代	女性
鯖江市や南越前町・越前町などと連携し、丹南地区一本化を進めるべきだと思う。もちろん越前市にはそのリーダーとしてけん引して行く役割を担って欲しい。	70 歳代	男性

広域連携をし、行政の効率化とスリム化をはかり、デジタル社会と対応した住みやすい町づくり。高齢化社会と対応した介護環境の整備と生きがい作りは大切で、その視点での行政を期待したい。	70 歳代	男性
県特有の共働き世帯や外国人が多い中、行政も地域住民への負担も進化し続けてほしいです。伝統も大事だけれど時代の流れとともに新しく変わっていくべき。	60 歳代	女性
越前市はさまざまな取り組みをしており、とても住み良いまちである。第 1～4 章の取り組みで、あるあると思うものからあまり知らない取り組みもあるので、ぜひ情報発信に力を入れて届けてほしい。	30 歳代	女性
鯖江市のように新しい物を取り入れるべき。水道料などもクレジットカードが使えるなど、身近な所から変えてみてはいかがでしょうか？	40 歳代	男性
市の職員のレベルアップ	60 歳代	男性
日々、SNS で新しい事、取り組み、イベント、内容、支援、事業等、発信して行ってほしい。市のホームページではとても分かりづらく内容がハッキリしていない為、読むのをやめてしまう。インスタ、ツイッター、TikTok 等映像や箇条書きで分かりやすくしてほしい。	40 歳代	女性
市税、法人税が安いと人は集まり安いです。	50 歳代	男性

②I T・DX	年代	性別
リモートワーク、デジタル化社会、多文化共生社会、交通網の整備、人口減少を見据えたまちづくりが必要です。その上で社会的弱者は守り、無駄なものは削除していくことが必要かと思います。	60 歳代	男性
どの世代も住みやすい越前市にしてほしい。IT 技術が発展し、その頃の高齢者も IT リテラシーが高くなっていると思うので、IT を使ったまちづくりに期待しています。	50 歳代	女性
デジタル社会が益々進むと思うがついていけないと思う。アナログ発信を平行でお願いしたい。	60 歳代	女性
デジタル化が進んでも、人とひととが直に触れ合うことができる社会が続くことを願います。	80 歳代	女性
IT 化はどの地域でも行っている。越前市はこの中で先頭を行けるのか。埋もれてしまうのではないか。違う視点（例えば逆行してアナログの世界）で越前市が先頭を行けるまちづくりにしたらどうか。	50 歳代	男性
市役所などで要望や書類をネットで提出できるようにする。家にいてコンピューターで病院の受診：薬をドローンで配達。けがをした時、動画で送信して医師の診断を受ける（救急車が来る前に）→システム化する。	無回答	無回答
情報 IT 関連人材の育成	70 歳代	男性



②②新型コロナ	年代	性別
コロナ共生の社会にしていく。特に学生は制限がまだあるので、ある程度少しづつ、緩和してもとの生活に近づけてあげたい。海外渡航や県外学習など。	40 歳代	女性
コロナ禍で体調が悪くなり、20 年後生きているかわからない。	60 歳代	男性

②③その他	年代	性別
頭の固い古い市議会議員はいらない。市役所にいる若い職員に意見を聞いたほうがまし。越前市という名前が間違い、武生市でよかった。	40 歳代	男性
市議会議員の定数を半分に（多くいるだけで働きが見えない）	40 歳代	女性
市会議員の活躍が全く感じられない。町で会っても知らん顔。	70 歳代	男性
文化センター及び文化施設を活用し、市民が利用しやすい場所にしてほしい。文化センターは接客がなっていない。上から言うのではなく、もっと市民の目線にたってほしい。管理を民間に委託したほうがいい	50 歳代	男性
シピイはあまり活気が感じられません。あそこにポートピアを造るべき。イメージが悪いからと地域住民の反対でダメになるが考え方が古い。パチンコなら良い？越前市は三国競艇に協賛しているのでは。	60 歳代	男性
私たちのまちの顔とは、魅力とは、知恵とは何か。今一度逆に 20 年前の武生、今立のまちのかたちを思い起し、リセットしていただきたい（郷土教育の充実を含め）思いです。経済優先ではなく、まちの住人がアメニティを重視したまちづくりプログラムを再構築して欲しい。	60 歳代	女性
老若男女に対して親身になってくれるまち、住みやすいまち	20 歳代	男性
無難なまちづくりで新幹線が通っても、行きたい所に行けるわけでもなく何をどうしたいのか不明。	40 歳代	男性
先ず福井県が北陸ではなく関西に入るべき。その上で、近畿と連携しながら越前市も発展すれば良い。嶺南との結び付きも強化すべき。今より嶺南との行き来の機会を増やして行けばよい。	60 歳代	男性
本市に住んで数年経つが、未だ本市の特徴がよくわからない。他市に比べ、埋もれているような気がする。そのため、問 9 の施策に対する満足度と重要度では、3（どちらともいえない）回答が多くなった。	30 歳代	女性
平和であればよい。	20 歳代	男性
平和	60 歳代	男性
残すものを変えなければ。いけないものを考えてほしい！	30 歳代	女性
他を強くアピールできる事を 2～3 点作りそれを基軸に活性化する。	60 歳代	男性
せっかくできたアイデアがつぶれず具体的に生かして頂ける環境が大切な事。アイデアを求めるからには実行に向けて検討を。	50 歳代	女性

市名の変更（国府市、式部市、丹南市、武生市などの意見は無かったのか教えてほしい）	60 歳代	男性
市民の声を聞いて越前市の未来のためがんばってください。	40 歳代	男性
市会議員新旧交代！20 年は長すぎる	60 歳代	男性
このアンケートに何の意味があるのか。ナンセンスな気がする。	60 歳代	男性
高級住宅街を目指した方が良い。	70 歳代	女性
現実的にすべての地区の発展はないと思うので、コンパクトに集約しながら新しいまちづくりが必要。（分散しすぎている）	50 歳代	男性
現在より悪くならないで・・・。発展より現状維持の方が難しいと思う。	80 歳代	女性
居住地をある程度中心部に集めた方が良い。	30 歳代	女性
旧武生市以外の充実化	70 歳代	男性
管理がかかりますので、作り方を考えてほしい。	70 歳代	女性
大手企業「GAFA」でさえ、5 年後には全く違う企業に変化すると言われていています。20 年後の私の生活や価値観も激変してしまっているかと思えます。各個人が 20 年後を見据えて今何をするかが大切かと。	60 歳代	男性
越前市のメインとなるものを 1 つ作り、そこから輪になるようにしていく。それが工業なのか商業なのかわからない。	50 歳代	女性
越前市の東側は今後栄えていくと思えます。西側の方も、もっともっと見直してほしい。	50 歳代	女性
越前市になっても旧武生の方が中心になって、旧今立の方は何にもない。いろんな行事は越前市全体でして欲しい。今年は今立を中心にする、来年は白山の方です。みんなが身近に感じられるような行事にして欲しい。	70 歳代	女性
越前市から武生市に市名をもどす。	60 歳代	女性
田舎ならではの越前市にしてほしい。	50 歳代	女性
生きているかわかりませんが、2040 年どんな越前市になっているかとても楽しみです。アイデアは全くないですが、私は大好きな越前市に死ぬまでいたいと思えます。	50 歳代	女性
市街地（中心地）が老人街と言うようになった。昔のように町中に川が流れ、魚を放つ静かな街にするのもよし。	70 歳代	男性
伝統ある越前たけふ市が中心になって、近隣市町村との合併を常に思っています。丹南地区の鯖江市、南越前町、越前町との一体。	80 歳代	男性
姉妹都市を他県と結び、他から祭りや文化を紹介してもらおう。例えば、秋田のなまはげを越前市に呼んで子供達のところを訪問する。	60 歳代	男性
宗教用地を開放し（旧地主も含む）町の中を明るくする。	70 歳代	男性

## ワークショップ進捗について

### (1) ワークショップの実施概要

#### ①目的

市民意識調査で対象としなかった18歳未満の高校生や2040年に現役世代である若者世代や子育て世代などの多様な世代からの意見を総合計画に反映させること及び越前市の未来を考える機会を持ってもらうために、ワークショップを実施した。

#### ②日程

日付	対象世代	相手先	参加者数
6月17日	子育て世代	武生商工会議所青年部	46名
7月6日	高校生	武生商工高等学校（工業）2年生	31名
7月8日	高校生	武生商工高等学校（商業）2年生	30名
7月8日	子育て世代	市PTA連合会	29名
7月13日	高校生	武生東高等学校 2年生	14名
8月以降	若者世代	※調整中	30名程度
9月以降	高校生	武生高等学校 2年生	30名程度
合 計			210名

#### ③総括

高校生からの意見では、「強み」として「ボルガライス」「越前和紙」「越前おろしそば」などの名産品や、「だるまちゃん広場」「サンドーム」「タケフナイフビレッジ」などの賑わいに関連した施設の充実といった意見が見られた。「弱み」として、「デートスポットがない」「ウーバーイーツがない」といった高校生ならではの意見や、「電車やバスの本数が少ない」「歩道ががたがたで危ない」といった交通や公共インフラに関する意見が出た。

子育て世代からの意見では、「強み」として、「子育てしやすい環境」「共働きでも祖父母が近くにいるので子どもを預けられる」「大きな企業があり安定して働ける」といった意見が見られた。「弱み」として、「いいものはあるがPRが下手」「子育て支援の内容がわかりづらい」「若者の遊び場がない」「東西の交通網が不便」といった意見が見られた。将来像として、「高齢者に特化したまち」「魅力のある仕事があるまち」「市民に越前市の魅力が伝わってくるまち」「新婚世帯が住みたいまち」という意見が出た。



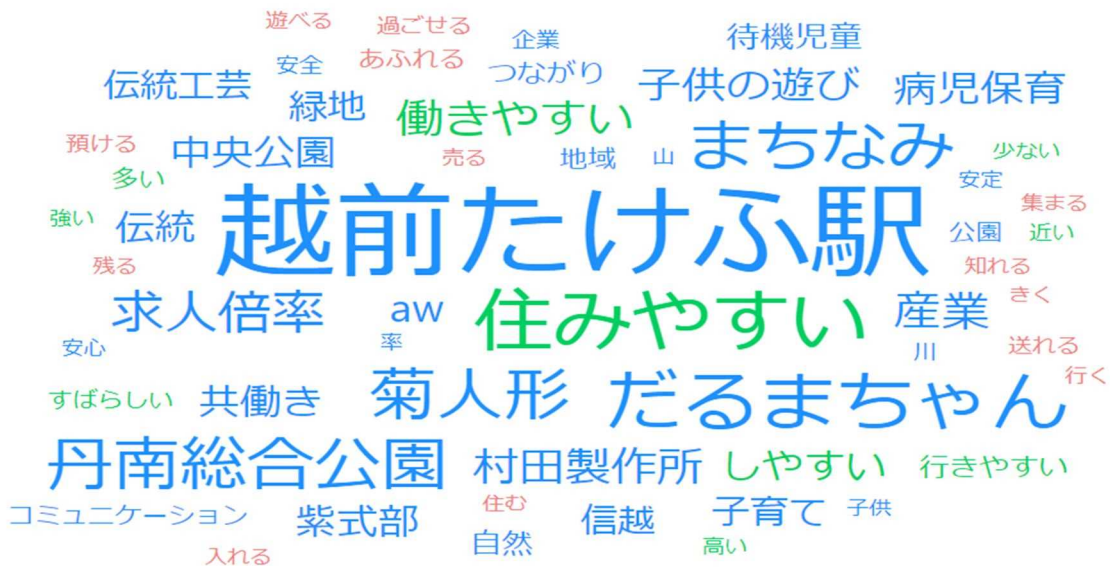




## ②子育て世代



### 1) 越前市の強み



#### 【具体例】

- ・ 山、川が身近にある
- ・ 住みやすい
- ・ のんびり過ごせる
- ・ 子育てしやすい環境にあふれている
- ・ 素晴らしい施設がたくさんある  
(だるまちゃん広場、丹南総合公園など)
- ・ 大企業があり、安定した生活を送れる
- ・ 工場が多く、求人倍率が高い
- ・ 伝統工芸がある
- ・ 共働きが多いが、近くに祖父母がいるので、安心して子どもを預けられる
- ・ 昔のまちなみがたくさん残っていること
- ・ 越前たけふ駅と高速のインターが近い
- ・ 車でどこに行くにも便利
- ・ 田舎ならではのコミュニケーション
- ・ 地域のつながりが強くて安心
- ・ 各地区それぞれの売りがある  
(歴史、自然、伝統産業、行事、まつり)



## その他の意見聴取について

### (1) 意見聴取とりまとめ

市民意識調査やワークショップの他に以下の取組みにより、市民からの意見聴取を実施している。また、今後基本計画の検討に向けた各種関係団体との分野別ミーティングを実施していく。

意見聴取方法	参加者数（回答数）
2022地域ミーティング	328名
仁愛大学 基礎演習ほか	84名
総合計画改定に向けたセミナー	60名
「みんなで考えよう！越前市の未来」	336名（8月15日時点）
分野別ミーティング	約400名（約40団体×約10名）予定
合 計	1,062名



## (2) 意見聴取の詳細

### ①地域ミーティング

#### ●概要

- ・総合計画改定の概要の説明
- ・各地区自治振興会の事業概要の説明
- ・意見交換会

※参加者に「みんなで考えよう！越前市の未来」シートを配布、回収

●対象者 各地区自治振興会役員など

●回数 8回

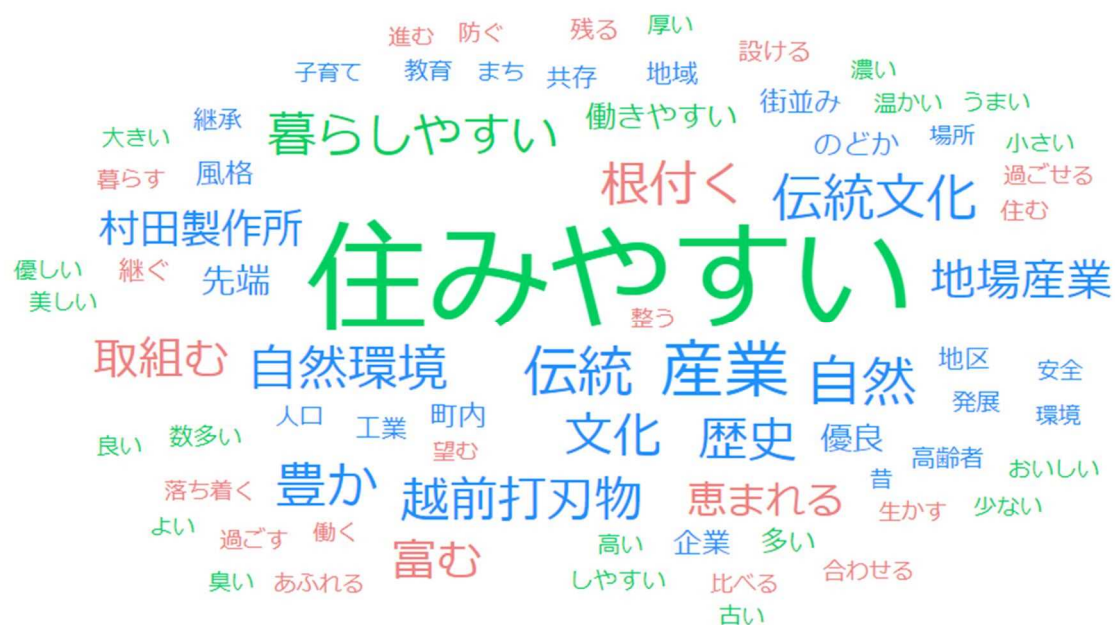


開催ブロック	開催日	参加者数
東・西・南	5月17日(火)	65名
神山・王子保	6月21日(火)	37名
吉野・大虫	5月11日(水)	25名
白山・坂口	7月26日(火)	36名
国高・北日野	8月9日(火)	62名
北新庄・味真野	6月30日(木)	26名
粟田部・岡本	6月29日(水)	41名
南中山・服間	7月22日(金)	36名
合計		328名

●アンケート：「みんなで考えよう！越前市の未来」シートでの主な意見

1) 越前市の強み

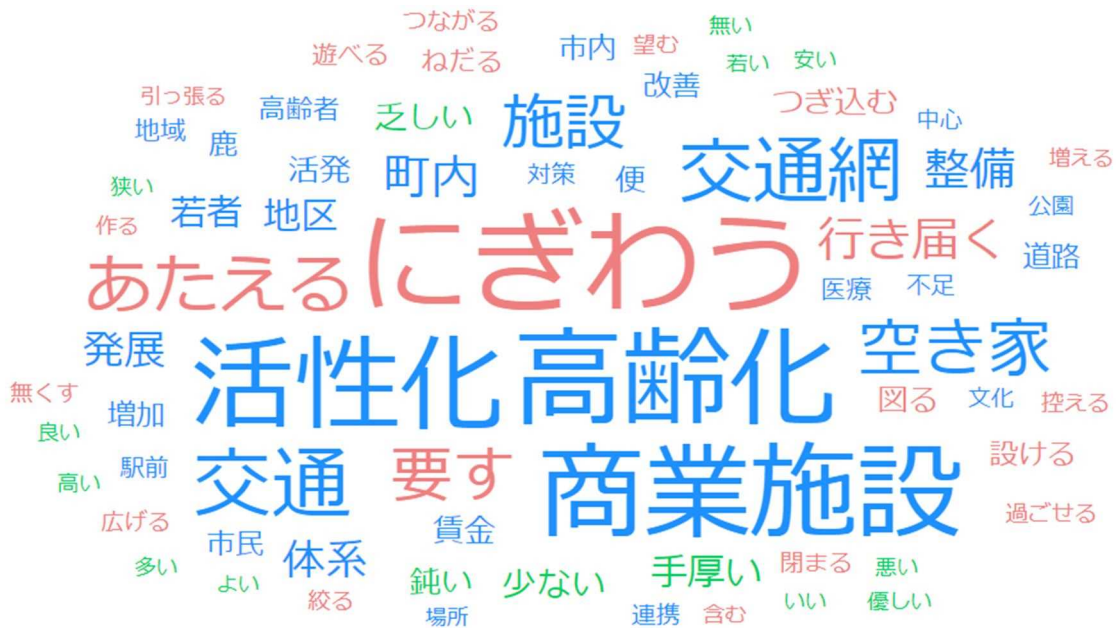
※「テキストマイニングツール」による表現



【具体例】

- ・自然が豊かで歴史的な文化が残っている
- ・コウノトリが身近に飛来する
- ・田舎風でのんびりとした感じがあるところ
- ・伝統的な行事が各地区で継承されている
- ・落ち着いた風格がある
- ・先端産業と伝統産業が共存
- ・大きすぎず小さすぎず、大企業もあり雇用の面に恵まれている
- ・交通が便利（鉄道、高速道路）
- ・教育が充実している
- ・子育てに良い施設が多い
- ・高齢化が進行する中、高齢者、障がい者、子どもみんなが一体でのまちづくりをしているところ
- ・町内地域の自治活動が活発であるところ

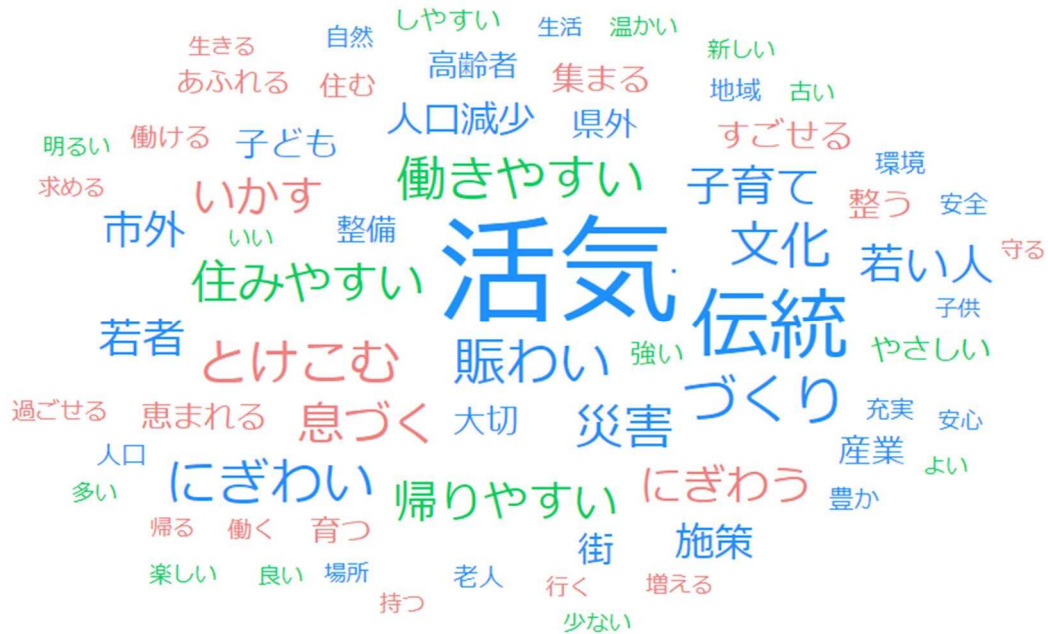
## 2) 越前市の課題



### 【具体例】

- ・産業が盛んであるが、県外の人にアピール不足
- ・若者が遊ぶ場所がない
- ・若い人がいろんな取組みに参加できる仕組みづくりが必要
- ・結婚適齢期の方で独身の方が多い
- ・まちのにぎわいが少ない
- ・大河ドラマのPRが弱い
- ・市街地の空き家が多い
- ・道路や河川などのインフラ環境整備が不足
- ・歩道除雪が遅く児童生徒が通学の際に車道を歩いている
- ・新規住宅街に公園が少ない
- ・多くの市民が気楽に過ごせるエリアの拡大と施設の充実
- ・市民の憩いの場が足りない（村国山を鯖江の西山公園のようにする）
- ・限界集落で鹿等の農業被害防止の防護柵を設置する人員が不足している
- ・65歳以上が高齢者という一括りにした対策ではなく、もっと細分化した対策を
- ・高齢者の移動手段の確保
- ・文化施設が少ない
- ・住民自治組織の世代交代が困難であり、事業継続が難しい
- ・町内における住民の価値観が変わってきている
- ・保守的なところ

### 3) 2040年の越前市の望ましい将来像



#### ■ 「若者」「住みやすい」「帰ってきたい」

- ・若者が希望を持てるまち
- ・どの世代も住みやすいまち
- ・若者が住みたくなるまち
- ・子どもが都会に行っても帰ってきたいと思えるまち

#### ■ 「安全」「災害」

- ・災害に強いまち
- ・子どもからお年寄りまで安全で安心して過ごせるまち

#### ■ 「自然」「環境」

- ・人と自然の共生するまち

#### ■ 「歴史」「文化」「観光」

- ・歴史・観光をいかしたまち
- ・伝統や文化を大切にすまち

#### ■ 「活気」「賑わい」

- ・活気と賑わいのあるゾーンと自然環境に恵まれているゾーンのメリハリのあるまち
- ・まちなかにも郊外にも人が集まる賑わいがあるまち

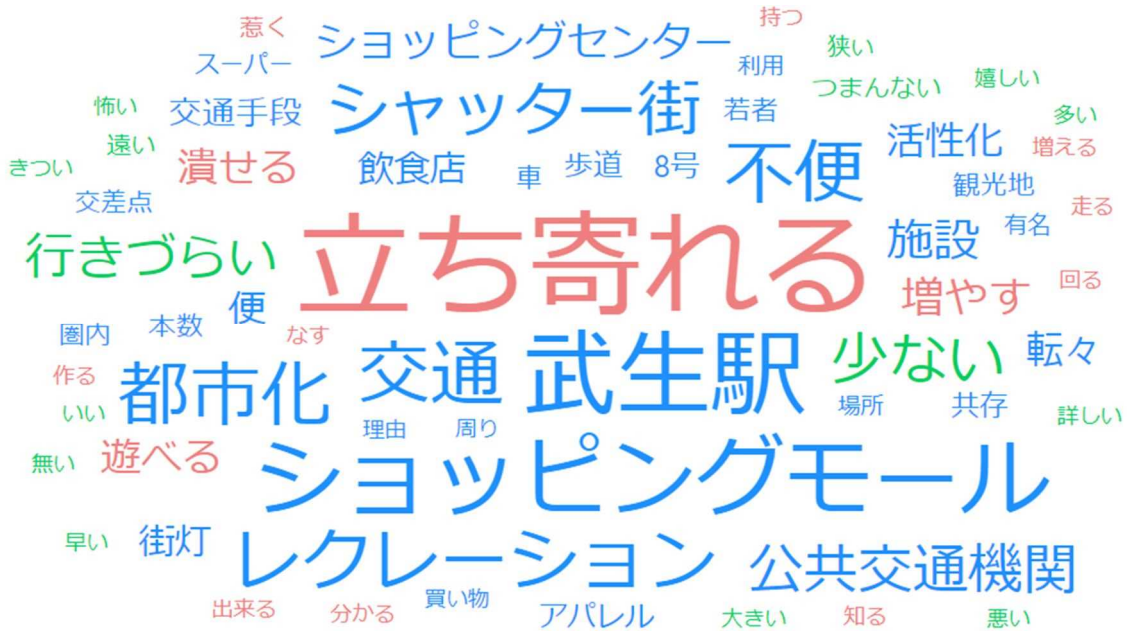
#### ■ 「地域」「市民」「交流」

- ・外国人労働者との交流が活発に行えるまち
- ・市民のアイデアをいかすまち
- ・すべての人が地域で活躍し支え合って生きるまち
- ・人との触れ合いが温かいまち





## 2) 越前市の課題



### 【具体例】

- ・シャッター街などの活性化
- ・都市化と昔のまちづくりの共存
- ・カフェやショッピングモールなどを増やした方がいい
- ・有名アパレル、美容院、コンビニが少ない
- ・場所により街灯が少なく、夜危険だと感じることもある
- ・遊べるような場所が少ないところ
- ・スーパーや飲食店も増えたが休みの日に立ち寄れる場所がない
- ・武生駅周辺に時間をつぶせる場所がない
- ・観光地がない
- ・何もなさすぎるので、何か若者が興味を惹くものを作ってほしい
- ・交通が不便
- ・道路がガタガタしている
- ・電車が1時間に1本しかない
- ・歩道が狭いところがある
- ・信号のない交差点が多い
- ・車がないと絶対に生活できないのがつらい
- ・市ホームページのポルトガル語訳が拙い
- ・移住定住施策のPRが弱い











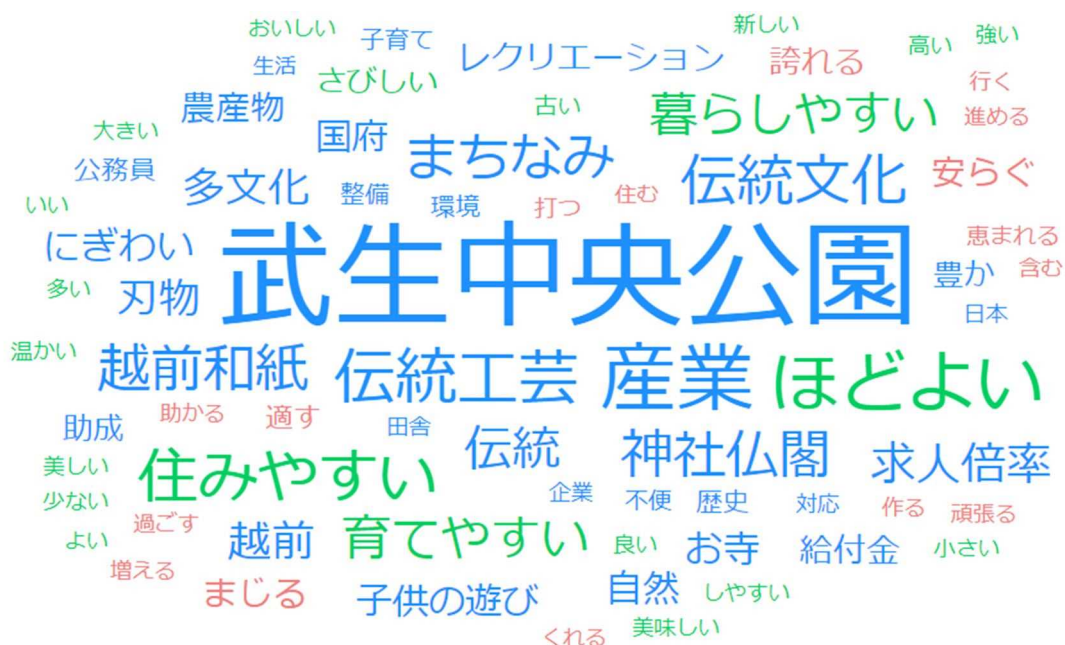


#### ④「みんなで考えよう！越前市の未来」

市広報、市ホームページ、各種会合で周知し、7月26日現在〇〇名から回答があった。

##### ●主な意見

##### 1) 越前市の強み



##### 【具体例】

- ・歴史と文化の伝統が今に引き継がれている
- ・歴史を調べると面白い
- ・和紙、打ち刃物、指物などの伝統工芸が盛んなところ
- ・レクリエーション施設、神社仏閣、美しい名所等があり、安らげる
- ・先端産業を活かしている
- ・武生中央公園など子どもの遊び場が充実している
- ・ほどよい田舎感、衣食住どれもさびしくなく、子育てにもいい環境
- ・品質の良いもの（農産物含む）を作っているところ
- ・自然が多く住みやすい
- ・人が集まる場所がある
- ・町内それぞれで集いをしていて高齢者の方々が元気
- ・町内自治がしっかりしている
- ・地域の繋がりが強い
- ・自然災害が少なく安全
- ・暮らしやすく、古さと新しさがほどよく交じり合っている
- ・外国人にとっても住みやすい





